

Wisenet Viewer

ユーザーマニュアル

VER 1.05

ユーザーマニュアル案内

本文書は**Wisenet Viewer**プログラムの運営者のための使用説明書です。本製品を使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みのうえ、製品の正しいご使用をお願い致します。

- 本マニュアルは製品の基本値と基本画面をもとにして使用法を説明しています。
- 本マニュアルに記載された内容は、製品のソフトウェアアップデートと当社のポリシー等により異なる場合があります、ユーザーに事前予告なく変更されます。

対象読者の案内

本マニュアルは**Wisenet Viewer**プログラムを使用する運営者のための内容を記載しています。

製品使用案内

本製品の使用者は、下記のような作業を遂行できます。

- **Wisenet Viewer**に登録されたネットワークデバイスをリアルタイムで監視する
- ネットワークレコーダーに保存された映像を検索、または再生する
- ネットワークデバイスで発生したライブイベントを監視、またはイベントログを検索する

本製品を使用する前に、まず製品が最新のソフトウェアバージョンであるかをご確認ください。

Hanwha Vision製品のホームページ(<http://www.HanwhaVision.com>)で、ソフトウェアのバージョンを確認しダウンロードできます。

著作権の案内

©2023 Hanwha Vision Co., Ltd. All rights reserved.

Trademark

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書は著作権によって保護されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanwha Visionは取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。

この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。Hanwha Visionは、本書の内容を予告なく変更することができます。

目次

ユーザーマニュアル案内.....	2
対象読者の案内.....	2
製品使用案内.....	2
著作権の案内.....	3

Wisenet Viewerの紹介..... 10

主な機能.....	10
用語詳細.....	11

Wisenet Viewerインストール..... 12

システム要求事項.....	12
ダウンロード及びインストール.....	12

Wisenet Viewerの開始..... 13

Wisenet Viewer実行.....	13
デスクトップ画面のアイコンで実行.....	13
スタートメニューで実行.....	13
Wisenet Viewerの管理者パスワードの設定.....	14
Wisenet Viewerにログイン.....	15
画面構成の確認.....	16
レイアウトタブの詳細.....	17
機能ボタンパネルの詳細.....	18
リソースツリーの詳細.....	19
レイアウトツリーの詳細.....	20
タイムラインパネルの詳細.....	21
レイアウトパネルの詳細.....	22
イベントパネルの詳細.....	23
情報/通知の詳細.....	25

システム状態の確認.....	26
ショートカットキーの詳細.....	29

デバイスの管理30

デバイスの登録.....	30
オート登録する	30
手動登録.....	33
DDNS及びP2Pに登録	37
グループの管理.....	39
グループのショートカットメニューの使用	39
グループの作成	40
グループの削除	41
チャンネルの管理.....	42
チャンネルのショートカットメニューの使用.....	42
チャンネルの移動.....	43
チャンネル名の変更	44
チャンネルの削除.....	44
チャンネルの設定.....	45
ウェブページの管理.....	47
ウェブページの登録	47
ウェブページ名の変更	48
ウェブページの削除	48
ウェブページの設定	48
メディアファイルの確認.....	50
メディアファイルフォルダのルート変更.....	50
メディアファイルの割り当て	51
デバイスの管理.....	53
デバイスの設定	53
デバイスの削除	55
デバイスの検索	56
ファームウェアのアップデート	57
デバイスのバックアップ.....	59
デバイスのリストア.....	61
デバイスのパスワード変更.....	64

レイアウトの使用66

ダイナミックレイアウトの使用	66
グリッドにチャンネル追加	66
チャンネルの移動.....	67
映像タイルサイズの変更.....	68
Autofitの使用	68
レイアウトの作成.....	69
チャンネルの追加.....	71
レイアウトビデオの確認.....	74
画面制御メニューの使用.....	74
ショートカットメニューの使用	82
映像の確認	85
レイアウトの管理.....	87
レイアウトロック機能の使用.....	87
レイアウト名の変更	87
レイアウトの保存.....	88
レイアウトの削除.....	88
シーケンスの使用.....	89
シーケンスの設定.....	89
シーケンスの実行.....	90
シーケンスの編集.....	91
シーケンス名の変更	91
シーケンスの削除.....	91

ユーザー設定92

ユーザー追加	92
ユーザーグループ追加.....	94
ユーザー及びグループの管理	96
ユーザー/グループリストの確認.....	96
ユーザー/グループ情報の変更.....	98
ユーザー/グループの削除	100
LDAPの使用	102
LDAPサーバーの接続.....	102
LDAPユーザーの追加	104

イベント監視 106

イベントルールの追加.....	106
イベントトリガーの詳細.....	109
イベントアクションの詳細.....	111
イベントルールの管理.....	112
イベントルールの確認.....	112
イベントルールの変更.....	113
イベントルールの解除.....	114
イベントルールの削除.....	114
イベントスケジュールの設定.....	115
イベントスケジュールの設定.....	115
イベントスケジュールの変更.....	116
イベントスケジュール名の変更.....	116
イベントスケジュールの削除.....	117
E-mailの設定.....	118
SMTPの設定.....	118
E-mail転送の確認.....	118
リアルタイムイベント監視.....	120
イベントの確認.....	120
デバイス別に検索.....	122
イベントタイプで検索.....	123

イベント映像の検索 125

イベント録画映像の検索.....	125
AI検索.....	128
AI映像の検索.....	128
特定のBestShotプロパティにフィルタリング.....	132
スマート検索.....	133

録画映像の管理 135

再生モードに切り替え	135
タイムラインの使用	136
タイムラインの詳細	136
再生の制御	139
区間の選択	141
録画映像の検索	142
日付で検索	142
録画タイプで検索	143
録画映像のエクスポート	145
ブックマークの使用	148
ブックマークの追加	148
ブックマークの管理	150
ブックマークの検索	153
ブックマーク映像のエクスポート	156
ローカル録画ファイルの設定	158
ローカル録画ファイルの位置設定	158
ローカル録画時間の設定	159
ローカル録画ファイルのタイプ設定	160

ログの確認 161

イベントログの確認	161
システムログの確認	163
監査ログの確認	164
ログデータのエクスポート	165

システム設定 166

言語設定	166
自動スタートの設定	167
ハードウェア加速使用の設定	168
コントローラーの使用設定	169

通知設定	170
イベント通知設定.....	170
システム通知設定.....	171
システム管理.....	172
ソフトウェアのアップデート	172
システムログの確認	173
システムバックアップ	175
システムリストア.....	176
システムリセット.....	177

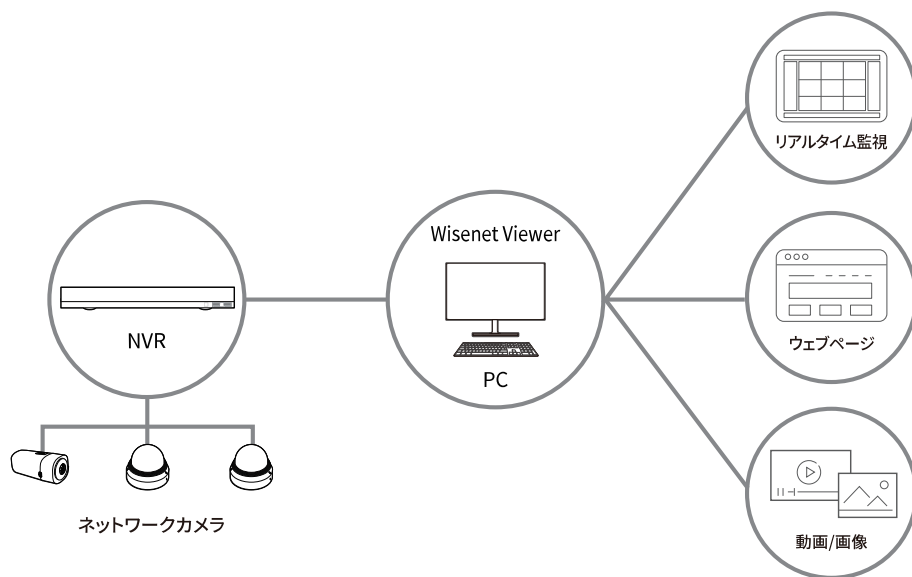
問題解決 178

付録 180

製品仕様	180
対応デバイス	183
システムコントローラーの使用	184
SPC-2000/2001	184

Wisenet Viewerの紹介

Wisenet Viewerは、PCを通じてネットワークに接続されたデバイスの映像をリアルタイムで監視・制御できるビューアプログラムです。デバイスのリアルタイムイベント及び録画映像を検索・再生でき、映像をPCにファイルで保存できます。



主な機能

- 登録されたデバイス及びウェブページをグループにまとめてレイアウトに設定する

ネットワークに接続されたデバイスを1つのグループに構成し、希望する位置に各タイルを配置してレイアウトに保存できます。また、ウェブページを登録してデバイスと一緒に監視できます。

- デバイスのライブ映像をダイナミックレイアウトで監視する

マウスでタイルを自由に調整・配置できるダイナミックレイアウト機能を使えば、デバイスに受信されるライブ映像を希望する位置とサイズで監視できます。

- デバイスに保存された録画映像を日付/イベント/客体別に検索して再生する

デバイスに保存された通常/イベント映像を特定の日付やイベントタイプ、客体タイプを選択して検索したり再生できます。

- デバイスのライブ映像や録画映像をPCにファイルで保存する

ライブ映像やデバイスに保存された映像をPCにファイルで保存できます。

- **デバイスのシステム/イベント/監査ログを検索する**

デバイスで検知したイベントやプログラム使用履歴などのログデータを検索してファイルで保存できます。

- **イベントルールに従ってイベントを管理する**

事前に設定されたイベントルールを適用してデバイスで検知されるイベントを確認できます。

- **ユーザーグループ別に権限を管理する**

ユーザーグループ別にアクセス権限を設定すれば、グループに属したユーザーは権限が付与されたメニューのみ使用できます。

用語詳細

Wisenet Viewerプログラムの使用において、知っておくべき用語の説明です。

項目	詳細
レイアウト	複数のデバイスを各タイルに配置して一度に監視できる機能を意味します。
ブックマーク	デバイスに保存された録画映像の特定部分をクリップする機能です。
タイル	1つの映像が表示されるエリアのことです。タイルでデバイスのライブ映像、録画映像またはウェブページやイメージを表示できます。
イベント	映像とデバイスに特定な変化が現れたらそれを検知するようにルールを設定し、監視者に通知する機能を意味します。
デバイス	NVR、ネットワークカメラなどのネットワーク映像監視デバイスを意味します。

Wisenet Viewerインストール

Wisenet Viewerをインストールするには、Hanwha Visionのホームページからインストールプログラムをダウンロードしてください。

Wisenet ViewerをインストールするPCのハードウェア及びシステムOSバージョンを確認した後、インストールプログラムを実行してください。

システム要求事項

Wisenet Viewer プログラムのインストール前にシステム要求事項を確認してください。

最小仕様が満たされなかった場合、プログラムが正常に動作しないことがあります。

項目	最小仕様	推奨仕様
CPU	Intel i3以上、Apple M1	Intel i7-11700 2.5GHz以上
RAM	4 GB以上	16 GB以上
HDD	200 GB以上	200 GB以上
VGA	512 MB以上 (OpenGL 2.1 対応必要)	NVIDIA T600 (OpenGL 2.1 対応必要)
LAN	1 GB NIC推奨	1GB NIC推奨
モニター	1366x768	FHD、4K 対応(High DPI Display)、 マルチモニター対応
OS	Windows 8.1/10/11 64 bit macOS 11.0 / 12.0 / 13.0 Ubuntu 22.04 LTS/ 20.04 LTS	



注意

Wisenet Viewerは最小システム要件を満たす環境で正常に動作するように設計されていますが、ユーザーのハードウェア構成、ソフトウェア環境、使用方法および、その他の要因によってプログラムの性能や安定性に影響を与えることがあります。

それらの要因で生じた機能低下、エラー及びその他の問題については当社は一切の責任を負いかねます。



参考

- Windows OSにプログラムをインストールする場合、対応するOSを表示します。
macOSはインストールプログラムがなく、対応するOSを表示していません。
- Windows、macOSの未対応OSバージョンにもプログラムをインストールできますが、プログラムが正常に動作しないことがあります。
- Apple M1 CPU使用時の注意事項は以下の通りです。
 - Rosetta 2のインストール後にプログラムを実行できます。
 - PCを再起動したり、Rosetta 2のインストール後に初めて Wisenet Viewerを実行すると、動作が遅くなる可能性があります。

ダウンロード及びインストール

Wisenet ViewerプログラムをダウンロードしてPCにインストールします。

<https://www.hanwhavision.com/en/products/surveillance-software/viewer/>

Wisenet Viewerの開始

Wisenet Viewerのインストールが完了したらプログラムを実行してログイン情報を設定してください。プログラムを使用する前に基本画面構成を確認しましょう。

Wisenet Viewer実行

Wisenet Viewer のインストールが完了されたら、プログラムを実行できます。

デスクトップ画面のアイコンで実行

デスクトップ画面で**Wisenet Viewer** プログラムのアイコンをダブルクリックします。

スタートメニューで実行

 > **Wisenet Viewer**を選択します。



参考

mac OSでWisenet Viewerを初めて実行する場合、ライセンス同意のポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウの**I accept the license.**をチェックして、**OK**を選択してください。

- ライセンス使用同意をしないと、Wisenet Viewerプログラムを使用できません。

Wisenet Viewerの管理者パスワードの設定

Wisenet Viewerプログラムを実行して初めてログインする時に管理者(admin)パスワードを設定しなければなりません。

1. 下段の言語選択オプションで言語を選択します。
2. **管理者パスワードの設定**ウィンドウが表示されたらパスワードを入力します。



- パスワードの登録条件は以下の通りです。
 - パスワードの長さが8～9文字の場合、次のうち3種類以上を組み合わせる必要があります：大文字または小文字のアルファベット、数字、記号。
 - パスワードの長さが10文字以上の場合、次のうち2種類以上を組み合わせる必要があります：大文字または小文字のアルファベット、数字、記号。
 - IDをパスワードに使用できません。
 - 記号の使用には制約がありません。
 - 連続する文字を4つ以上使用できません(例：1234、abcdなど)。
 - 同じ文字を4回以上繰り返して使用できません(例：!!!!、1111、aaaaなど)。
 - 空白は使用できません。
- 3. 入力したパスワードと同じようにもう一度入力します。
- 4. **OK**ボタンをクリックします。



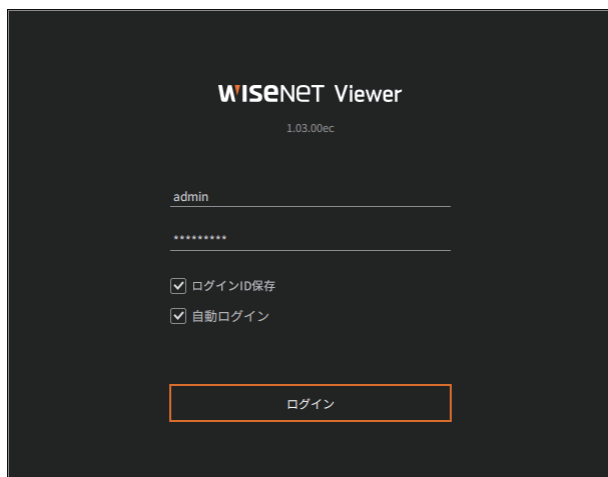
参考

- パスワードを忘れたらパスワードの再設定はできません。必ずパスワードを記録して保管してください。
- パスワードを忘れた場合は、Wisenet Viewerプログラムを再インストールしなければなりません。
- パスワードの変更に関する詳細は、[ユーザー/グループ情報の変更\(98 ページ\)](#)を参照してください。

Wisenet Viewerにログイン

Wisenet Viewerのログイン画面が表示されたらIDとパスワードを入力してログインします。

1. IDとパスワードを入力します。



2. ログインボタンをクリックします。

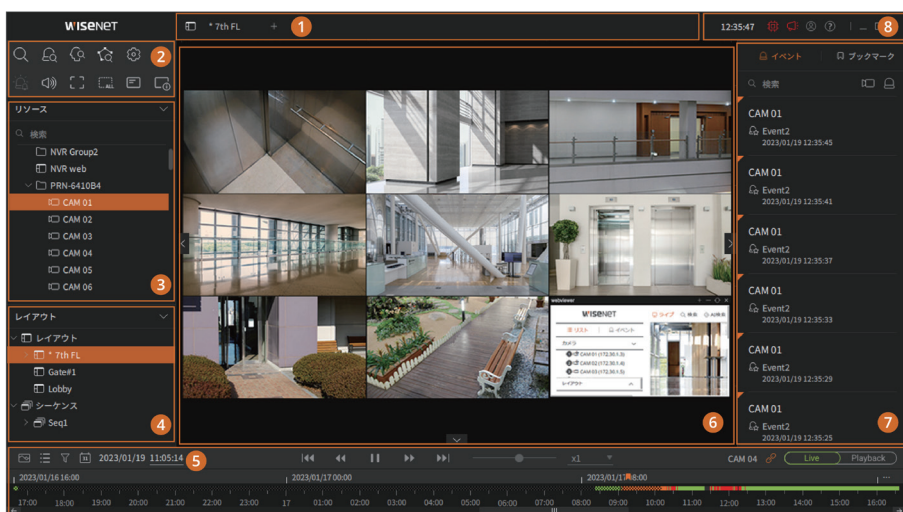


参考

- ログインID保存をチェックするとID情報が保存されます。
- 自動ログインをチェックしたらプログラムを実行する時、自動でログインされます。

画面構成の確認

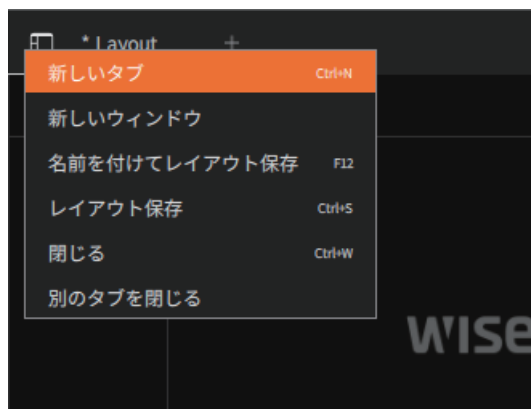
Wisenet Viewerにログインしたら基本画面が表示されます。Wisenet Viewerの画面は以下の通りに構成されています。



番号	画面構成	機能詳細
①	レイアウトタブ	現在開かれているレイアウトタブを確認できます。
②	機能ボタンパネル	映像とオーディオを除き、録画映像のイベントを検索できます。 また、デバイスを登録したりユーザー環境を設定するなど、Wisenet Viewerが提供する様々な機能が使用できます。 ・機能ボタンパネルにマウスを置くと、  が表示されます。  をクリックするとパネルに表示したい項目を編集できます。
③	リソースツリー	Wisenet Viewerに登録されたデバイス、ウェブビューア、メディアファイルを確認できます。 また、デバイスを検索したりグループに設定できます。
④	レイアウトツリー	レイアウトを構成して登録したり、名前を変更したり、ロック機能を使用できます。 また、登録したレイアウトをシーケンスに設定できます。
⑤	タイムラインパネル	再生モードを選択したら録画された映像のタイムラインが見られます。 また、再生中に区間を選択して保存できます。
⑥	レイアウトパネル	レコーダーに接続されたカメラが撮影している映像をリアルタイムで監視して、タイトル別に映像を制御できます。
⑦	イベントパネル	・イベントタブ：デバイスで発生するイベントをリアルタイムで確認・検索できます。 ・ブックマークタブ：ブックマークリストを確認・再生できます。
⑧	情報/通知表示	Wisenet Viewerが提供するシステム通知やWisenet Veiwew制御機能を使用できます。

レイアウトタブの詳細

レイアウトタブでマウスの右ボタンをクリックすると、レイアウトの詳細メニューを使用できます。開かれているレイアウトタブをクリックしてからドラッグすると、タブの順番を変更できます。



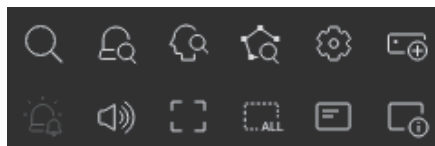
- レイアウトタブの右側の **+** ボタンをクリックすると、レイアウトタブが追加されます。
- 開かれているレイアウトタブの **×** ボタンをクリックすると、レイアウトタブが閉じられます。
- レイアウトの構成要素が変更されると、レイアウト名の横に ***** アイコンが表示されます。レイアウトを保存しないでタブを閉じると、変更事項は保存されません。

レイアウトタブのショートカットキーメニューの詳細

新しいタブ	新しいレイアウトタブを開きます。 新しいレイアウトタブを開くには、キーボードのCtrl + Nを押してください。
新しいウィンドウ	新しいウィンドウでレイアウトタブを開きます。
名前を付けてレイアウト保存	レイアウトを違う名前で保存します。 レイアウトを違う名前で保存するには、キーボードのF12を押してください。
レイアウト保存	現在のレイアウトの変更事項を保存します。 レイアウトの変更事項を保存するには、キーボードのCtrl + Sを押してください。
閉じる	現在のレイアウトタブを閉じます。 レイアウトタブを閉じるには、キーボードのCtrl + Wを押してください。
別のタブを閉じる	現在選択されたレイアウトタブを除き、すべてのタブを閉じます。

機能ボタンパネルの詳細

機能ボタンパネルをクリックすると、以下のような機能を使用できます。



	検索	検索メニューを選択できます。
	イベント検索	イベント映像を日付またはイベントタイプで検索できます。
	AI検索	AIイベント映像を日付または客体タイプで検索できます。
	スマート検索	イベント映像を含有エリア、除外エリア、仮想ラインで検索できます。
	設定	デバイス登録、ユーザー登録、イベントルール登録など、プログラム使用環境を設定できます。また、設定ホーム画面の検索ウィンドウで希望するメニューや機能を検索して、すぐに移動できます。
	登録	・オート登録：ネットワークに接続されたデバイスを検索して自動で登録します。 ・DDNS及びP2P登録：ネットワークに接続されたデバイスの製品IDとログイン情報を入力して登録します。
	優先通知	優先通知イベント発生時にイベントタブが閉じられていると、アイコンがアクティブ化されます。アイコンをクリックすると、 イベントタブ でリアルタイムイベントを確認できます。
	音量	映像のオーディオ音量を調整できます。
	全画面	レイアウトに設定された映像を全画面で表示します。 全画面モードを終了するには、キーボードのF11を押してください。
	すべてのタイルを削除	選択されたレイアウトのすべてのタイルを削除します。
	チャンネル名	すべての映像タイルにチャンネル名を表示します。
	状態	映像タイルの上にコーデック、解像度、fpsなどの映像情報を表示します。



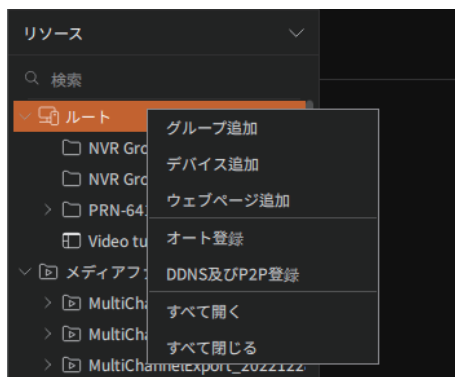
参考

機能ボタンパネルにマウスを置くと、パネルの右側にが表示されます。をクリックするとパネルに表示したい項目を選択したり解除できます。

リソースツリーの詳細

リソースツリーでは、デバイスとウェブページを登録して、保存された動画ファイルを読み込みできます。また、登録されたデバイスを検索したり、グループに構成して管理できます。

グループ構成及び管理に関する詳細は、[グループの管理\(39 ページ\)](#)を参照してください。



- **ルート**：Wisenet Viewerに登録されたデバイスとウェブページを確認できます。登録されたデバイスをグループに構成して登録できます。
- **メディアファイル**：メディアファイルフォルダに保存された動画ファイルを確認できます。動画ファイルはルートのグループには追加できず、レイアウトに追加して構成できます。

■ デバイスアイコンの詳細

チャンネル		📺：レコーダーのカメラが接続されると表示されます。 📺✕：レコーダーのカメラと接続が切れる则表示されます。
🌐	ウェブページ	ウェブページが登録されるとルート項目の下に表示されます。
📁	メディアファイル	保存フォルダのイメージ、動画ファイルが保存されている場合、メディアファイル項目の下に表示されます。 ▶：保存フォルダに保存されている動画ファイルを表示します。 🖼️：保存フォルダに保存されているイメージファイルを表示します。



参考

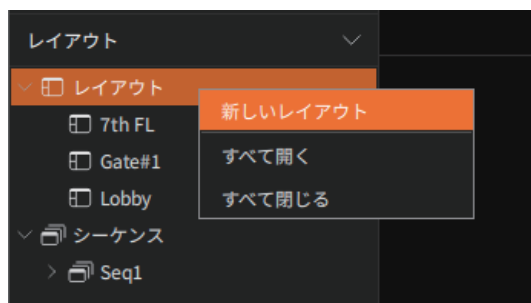
メディアファイルフォルダの確認に関する詳細は、[メディアファイルフォルダのルート変更\(50 ページ\)](#)を参照してください。

レイアウトツリーの詳細

レイアウトツリーでは、レイアウトを構成して登録でき、登録されたレイアウトの変更や削除ができます。

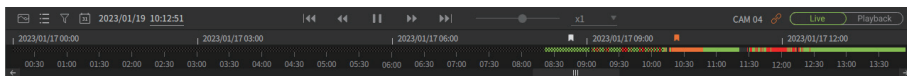
レイアウトの追加及び管理方法に関する詳細は、[レイアウトの使用\(66 ページ\)](#)を参照してください。

また、登録されたレイアウトをシーケンスに設定できます。シーケンス設定に関する詳細は、[シーケンスの設定\(89 ページ\)](#)を参照してください。



タイムラインパネルの詳細

タイムラインパネルでは、デバイスに保存された映像を検索して再生できます。また、検索された映像をファイルで保存できます。



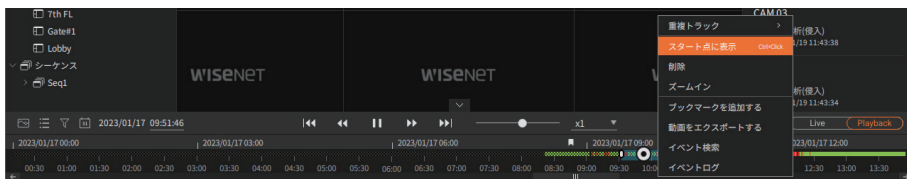
- PCに保存された動画ファイルをタイルに追加して選択すると、タイムラインで再生を制御できます。

■ 録画映像の再生

デバイスに保存された映像を日付またはイベントタイプで検索し、再生できます。映像再生に関する詳細は、[再生の制御\(139 ページ\)](#)を参照してください。

■ ショートカットメニューの使用

映像の再生中に、タイムラインの上でマウスを右クリックすると、ショートカットメニューを使用できます。タイムラインのショートカットメニューに関する詳細は、[タイムラインの詳細\(136 ページ\)](#)を参照してください。

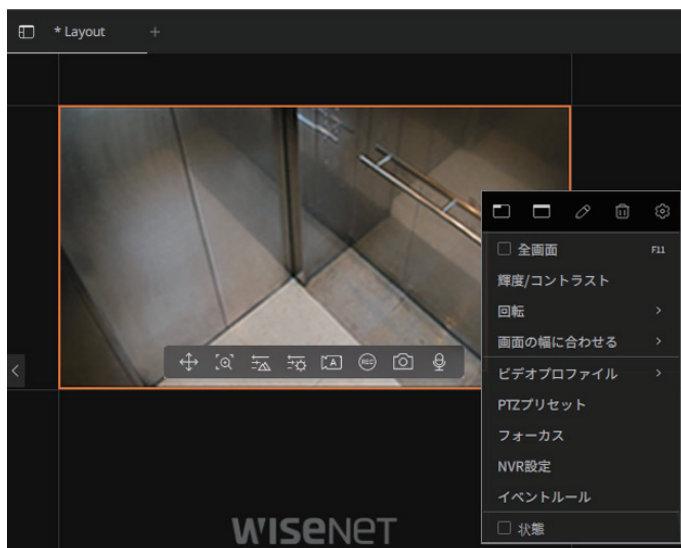


レイアウトパネルの詳細

デバイスから受信される映像を監視しながらタイル上の映像を制御できます。タイルを選択すると、該当タイルがオレンジラインで表示されます。

リソースツリーやレイアウトツリー項目をマウスでドラッグしたりダブルクリックして、レイアウトツリーに追加し監視できます。また、PCに保存された動画やイメージファイルをマウスでドラッグして追加できます。

映像制御及びショートカットメニューに関する詳細は、[レイアウトビデオの確認\(74ページ\)](#)を参照してください。



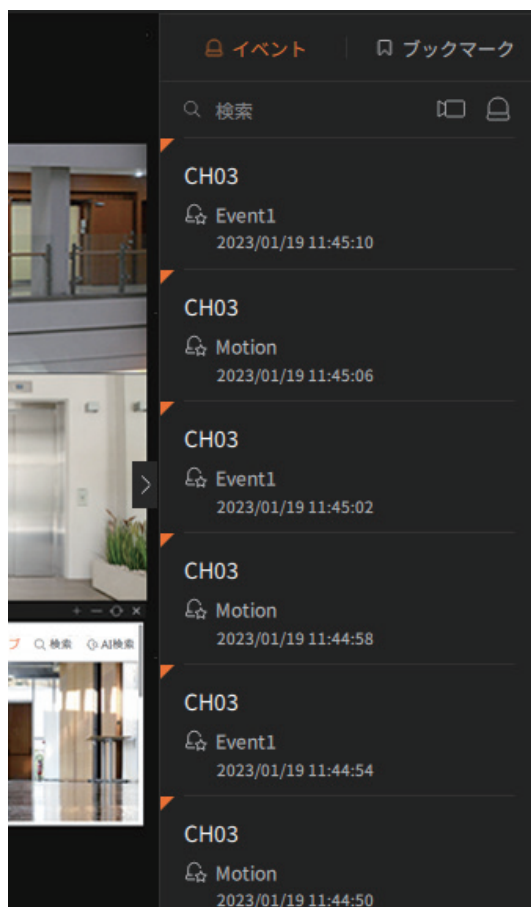
- レイアウトパネルにデバイスやファイル項目を追加・削除できます。
 - リソースツリーに登録されたチャンネルの映像追加及び削除
 - PCの指定フォルダに保存されている動画/イメージファイル追加及び削除
 - リソースツリーに登録されたウェブページ追加及び削除
- レイアウトパネルに表示される映像タイルの位置やサイズを変更できます。また、グリッドやタイルのショートカットメニューで様々な機能を使用できます。
 - タイルを選択したあと、ドラッグして位置を移動
 - 空いてるタイルを選択したあと、ドラッグして複数の映像を同時に選択
 - タイルのショートカットメニューで明るさ、焦点、PTZなどの映像制御
 - マウスのスクロールホイールを回してグリッドをズームアウトまたはズームイン
 - **Autofit**ボタンを押して画面オート揃え機能を使用

イベントパネルの詳細

イベントパネルでは、リアルタイムイベントとブックマークリストを確認できます。

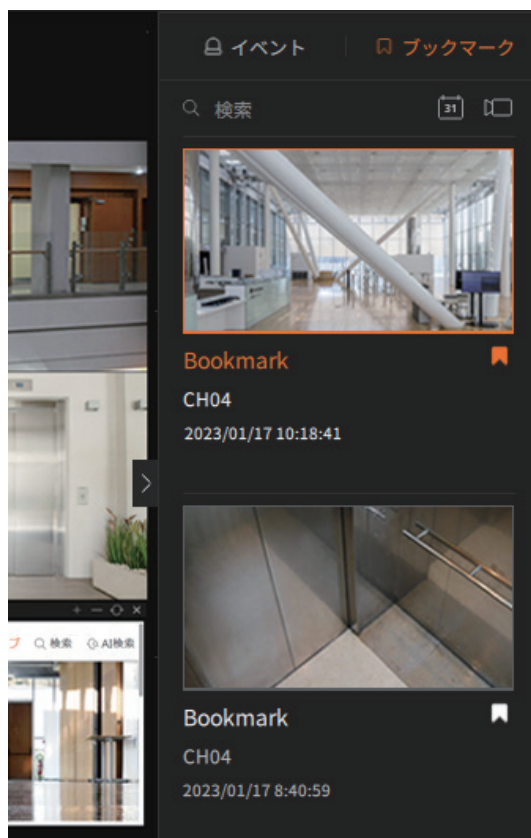
■ イベントタブの使用

新しいイベントが発生すると、リアルタイムでイベントリストに追加されます。チャンネルまたはイベントタイプ別にイベントを検索できます。イベントタブ使用に関する詳細は、[リアルタイムイベント監視\(120 ページ\)](#)を参照してください。



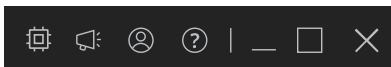
■ ブックマークタブの使用

ブックマークリストを確認できます。ブックマークは、日付またはチャンネル別に検索できます。ブックマークタブ使用に関する詳細は、[ブックマークの使用\(148 ページ\)](#)を参照してください。



情報/通知の詳細

プログラムが提供する情報/通知表示機能を使用してウィンドウを制御できます。



	CPU/RAM使用量	Wisenet ViewerがインストールされたPCの性能を確認できます。 • CPU: 現在PCのCPU使用量を表示します。 • RAM: 現在PCのメモリ使用量を表示します。 • PCのCPU/RAM使用量によってアイコンの色が変わります。 – 0~60%：灰色、60~90%：黄色、90%以上：赤色
	通知	システム通知事項が発生するとアイコンがアクティブ化されます。 通知が発生したら、情報/通知表示アイコンの下に通知履歴が表示され、アクティブ化されたアイコンをクリックすると詳細を確認できます。 • 通知履歴の上で右クリックしたあと、リスト全部削除を選択すると、全ての通知を削除できます。設定を選択すると、通知設定画面に移動します。
	ユーザー情報	ログインされたユーザーのIDを確認できます。ログアウトをクリックすると、現在のユーザーがログアウトされます。
	ヘルプ	Wisenet Viewer のヘルプページを確認できます。アイコンをクリックすると、ヘルプページが表示されます。
	画面最小化	Wisenet Viewer画面を最小化できます。
	画面最大化	Wisenet Viewer画面を最大化できます。
	終了	Wisenet Viewerを終了できます。終了の確認ウィンドウのプログラムを終了するをクリックすると、ウィンドウが閉じられます。

システム状態の確認

Wisenet Viewerの使用中にデバイスやシステムにエラーが発生すると、通知アイコンが赤色に表示されます。

通知アイコンが表示されたら、エラー内容を確認して必要な措置を行ってください。



電源エラー

項目	詳細
デュアルパワースystemエラー	電源に問題が発生しました。電源LEDを確認してください。

ファンエラー

項目	詳細
ファンエラー	ファンが正常に作動しません。ファンの接続状態を確認してください。
CPUファンエラー	CPUファンが正常に作動しません。CPUファンの接続状態を確認してください。
Frameファンエラー	Frameファンが正常に作動しません。Frameファンの接続状態を確認してください。
左側のファンエラー	左側のファンが正常に作動しません。左側のファン接続状態を確認してください。
右側のファンエラー	右側のファンが正常に作動しません。右側のファン接続状態を確認してください。

• 録音エラー

項目	詳細
ディスクがいっぱいです	ディスクがいっぱいで、映像の保存ができません。ディスクの状態を確認してください。
SDカードがいっぱいです	SDカードがいっぱいで、映像の保存ができません。SDカードの状態を確認してください。
NASフル状態	NASがいっぱいで、映像の保存ができません。ディスクの状態を確認してください。
ディスクなし	接続されているHDDがありません。デバイスを確認してください。
ディスク失敗	HDDに問題があります。HDDの状態を確認してください。
SDカード失敗	SDカードに問題があります。SDカードの状態を確認してください。
NAS失敗	NASに問題があります。NASの状態を確認してください。
ディスクエラー	HDDに問題があります。HDDの状態を確認してください。
RAIDエラー	RAIDに装着されたHDDに問題があります。HDDの状態を確認してください。
RAID再構築	Degrade状態のRAID配列を復旧しています。
RAID失敗	ディスクエラーまたはRAID構成問題によりRAID配列をこれ以上使用できません。RAIDの状態を確認してください。
iSCSI切断	iSCSIの接続状態を確認してください。
NAS切断	NASの接続状態を確認してください。
許容ビットレート超過	チャンネル別に保存できるデータ量が超過され、Iフレームのみ保存されます。保存設定を確認してください。
録音エラー	カメラの問題で、映像保存に問題があります。カメラの状態を確認してください。

• オーバーロード発生

項目	詳細
再転送オーバーロード	リモート転送中にデータ量がデバイスの転送帯域幅を超過しました。一部チャンネルがIフレームで再生されます。監視するユーザー数やチャンネル数を減らしてください。
ネットワークオーバーロード	
CPUオーバーロード	システムのオーバーロードです。ウェブビューアまたはVMSでリモートで監視するユーザー数を制限するか、リモートまたはレコーダーで再生するチャンネル数を調整してください。
VPUエラー	
メモリエラー	

- 接続関連

項目	詳細
接続	デバイスに接続されました。
切断	ネットワーク品質低下により再生を終了します。
	ユーザーが接続を解除しました。
	デバイス接続に問題が発生しました。ネットワークまたはデバイス状態を確認してください。
	デバイスの認証情報に問題があります。デバイスの認証情報を確認してください。

- ファームウェア関連

項目	詳細
最新ファームウェア使用可能	アップデートサーバーに最新ソフトウェアがあります。最新バージョンにアップグレードしてください。
デバイスファームウェアアップデート	ファームウェアのアップグレードを進行中です。アップグレード中には映像再生ができません。

- アラーム入力関連

項目	詳細
アラーム入力	アラーム入力が発生しました。

ショートカットキーの詳細

Wisenet Viewerプログラムで使用できるショートカットキーを説明します。

項目	Windows	MAC	Linux
リソースツリー及びレイアウトツリー項目名の変更ウィンドウを表示	F2 * Enter: 変更事項の適用後に閉じる ESC: 閉じる	F2 * Enter: 変更事項の適用後に閉じる ESC: 閉じる	F2 * Enter: 変更事項の適用後に閉じる ESC: 閉じる
Autofit実行	F5	Command + R	Ctrl + R
全画面/ウィンドウモードに切り替え	F11	Control + Command + F	Ctrl + F11
メディアファイルを開く	Ctrl + O	Command + O	Ctrl + O
レイアウトの保存	Ctrl + S	Command + S	Ctrl + S
名前を付けてレイアウトを保存	F12	Ctrl + Shift + S	Ctrl + Shift + S
レイアウトタブを閉じる	Ctrl + W	Command + W	Ctrl + W
選択対象削除	DeleteまたはBackspace	Del	DeleteまたはBackspace
新しいレイアウトタブを開く	Ctrl + N	Command + N	Ctrl + N
再生/一時停止	Space Bar	Space Bar	Space Bar
逆方向に再生	Ctrl + [←]	Command + [←]	Ctrl + [←]
再生	Ctrl+ [→]	Command + [→]	Ctrl + [→]
タイムラインのズームイン	Ctrl + [↑] または [+]	Command + [↑] または Command + [+]	Ctrl + [↑] または [+]
タイムラインのズームアウト	Ctrl + [↓] または [-]	Command + [↓] または Command + [-]	Ctrl + [↓] または [-]
前のイベント	z	z	z
次のイベント	x	x	x

デバイスの管理

Wisenet Viewerに登録されたデバイスをグループに構成して管理できます。また、登録されたデバイスのファームウェアをアップデートしたりバックアップできます。

デバイスの登録

Wisenet Viewerにデバイスを登録する時、以下の3つの方法があります。

- **オート登録**

ネットワークに接続されたデバイスを自動的に検索して登録します。

- **手動登録**

登録したいデバイスのネットワーク情報を直接入力して登録します。

- **DDNS及びP2Pに登録**

デバイスの製品IDを入力して登録します。

オート登録する

ネットワークに接続されたデバイスをWisenet Viewerに自動で登録できます。

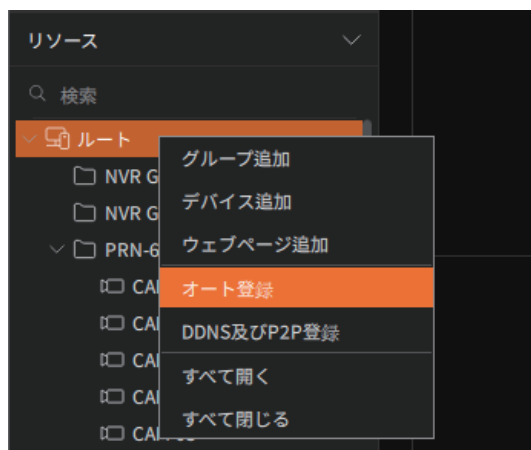
■ 機能ボタンパネルで登録

1. 機能ボタンパネルで Ⓢ ボタンをクリックして**オート登録**を選択します。
2. 情報入力ウィンドウが表示されたら、デバイスのログインIDとパスワードを入力します。
3. **OK**ボタンを選択します。

- Wisenet ViewerにID/パスワード情報が登録されてないと、ログイン情報入力ウィンドウが表示されます。
ID/パスワード情報が登録されていたらルート項目にオート登録されたデバイスが表示されます。
- **ID及びパスワード保存**をチェックしたらログイン情報が保存されます。

■ リソースツリーで登録

1. リソースツリーのルート項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**オート登録**を選択します。



- Wisenet ViewerにID/パスワード情報が登録されてないと、ログイン情報入力ウィンドウが表示されます。
- ルートに登録されたデバイスが表示されます。デバイスが登録されると、デバイス名でグループが自動生成され、接続されたチャンネルも一緒に表示されます。

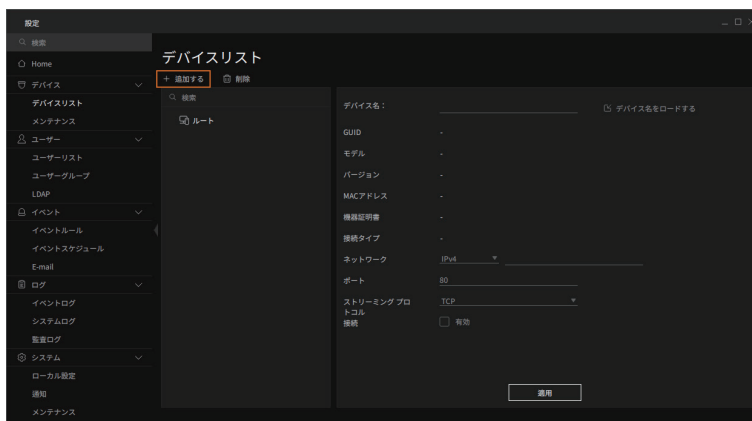


参考

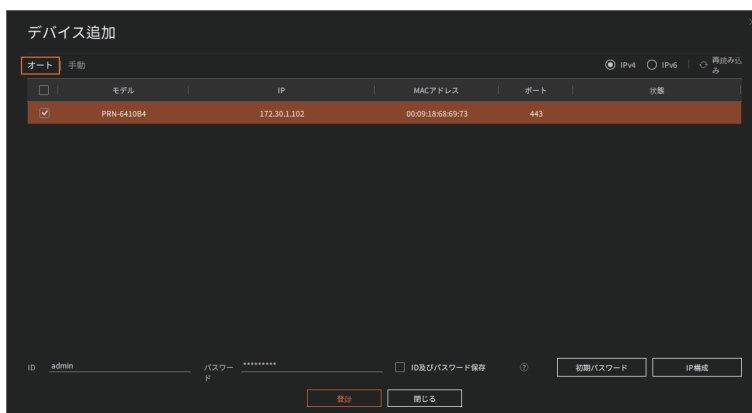
ショートカットメニューで**デバイス追加**を選択すると、デバイス追加ウィンドウでデバイスを登録できます。

■ 設定メニューで登録

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
 - 設定ホーム画面の下段にある**デバイス追加**を選択すると、デバイス追加ウィンドウにすぐ移動できます。
3. **追加する**を選択します。

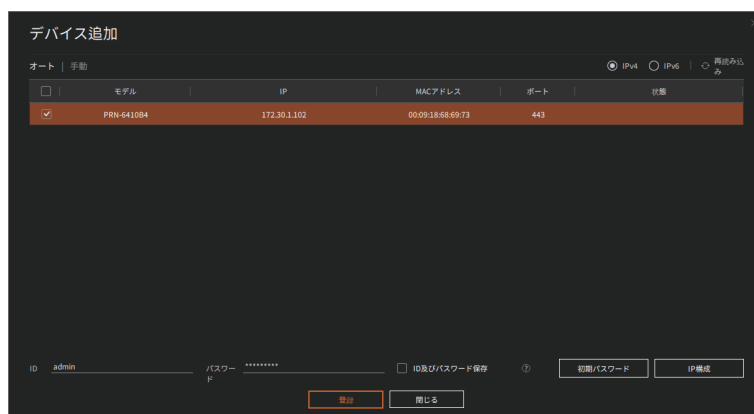


4. **デバイス追加**ウィンドウが表示されたら、**オート**タブを選択します。



5. リストから登録したいデバイスをチェックします。
6. デバイスのIDとパスワードを入力します。
 - デバイスが検索されない場合は、**再読み込み**を選択します。
 - **初期パスワード**：デバイスの初期パスワードを入力します。
ID及びパスワード保存をチェックすると、Wisenet ViewerにIDとパスワード情報が保存されます。
 - **IP構成**：検索されたデバイスのIP及びポートなど、ネットワーク情報を変更します。
 - IDとパスワードが同じデバイスは、複数選択して一括登録できます。

7. 登録ボタンを選択します。



- デバイスを登録できなければ、状態カラムにエラーメッセージが表示されます。
- デバイスを登録すると、状態カラムに**成功**と表示されます。

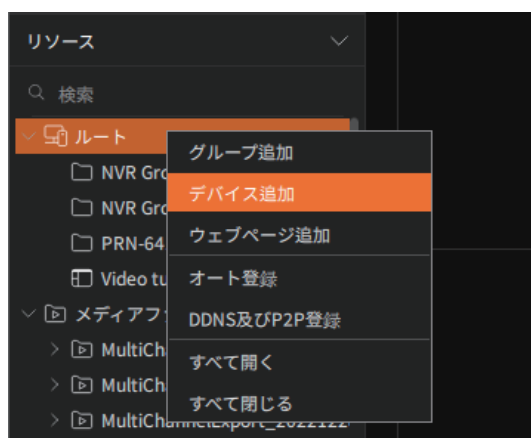
8. デバイス追加ウィンドウを閉じるには、閉じるボタンを選択します。

手動登録

Wisenet Viewerにデバイス情報を直接入力して登録できます。

■ リソースツリーで登録

1. リソースツリーの**ルート**項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**デバイス追加**を選択します。



3. 設定メニューのデバイス追加画面が表示されたら、**手動**タブを選択します。

デバイス追加

オート | **手動** | IPv4 | IPv6 | 再読み込み

モデル	IP	MACアドレス	ポート	状態
PRN-641084	172.30.1.100	00:08:18:68:69:71	443	

ID: admin | パスワード: ***** | ☐ ID及びパスワード保存 | ① | 初期パスワード | IP構成

登録 | 閉じる

4. 登録するデバイスの情報を入力します。

5. 登録ボタンを選択します。

デバイス追加

オート | 手動

IPタイプ: IPv4 | ID: admin | パスワード: ***** | ☐ ID及びパスワード保存 | ①

IP: 172.30.1.102 ~ 172.30.1.102 | ポート: 80 | 登録

IP	ポート	状態
172.30.1.102	80	成功

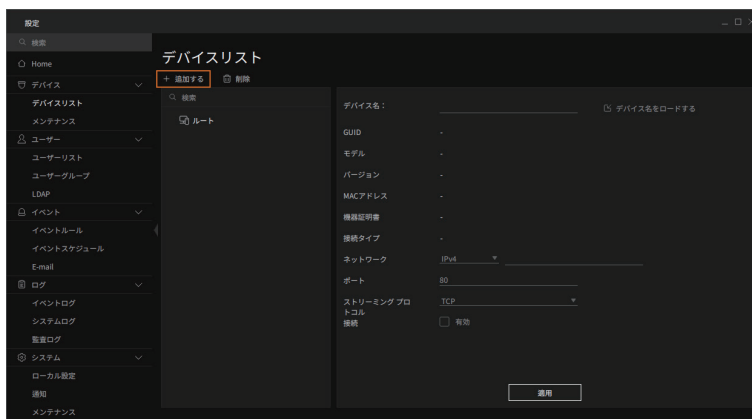
閉じる

6. デバイス追加ウィンドウを閉じるには、**閉じる**ボタンを選択します。

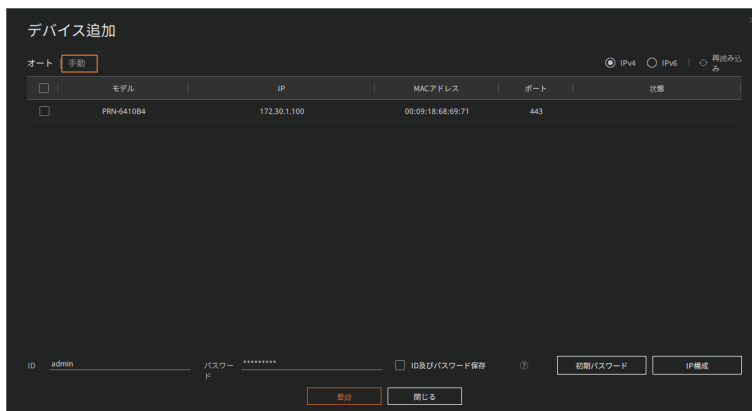
■ 設定メニューで登録

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
 - 設定ホーム画面の下段にある**デバイス追加**を選択すると、デバイス追加ウィンドウにすぐ移動できます。

3. 追加するを選択します。



4. デバイス追加ウィンドウが表示されたら、手動タブを選択します。



5. 登録するデバイスのIPタイプ及びログイン情報などを入力します。

- **IPタイプ:** デバイスのIPタイプを選択します。
 - **IPv4:** IPv4タイプのIPを入力します。
 - **IPv4+SSL:** IPv4/SSLを入力します。
 - **IPv6:** IPv6タイプのIPを入力します。
 - **IPv6+SSL:** IPv6/SSLを入力します。
 - **URL:** URLを入力します。
 - **URL+SSL:** URL/SSLを入力します。
 - **DDNS/P2P:** 製品IDを入力して、DTLS有効可否を選択します。

- **ID/パスワード:** デバイスのIDとパスワードを入力します。**ID及びパスワード保存**をチェックしたらログイン情報が保存されます。
- **IP:** IPの開始/終了範囲を入力します。
入力したIP範囲内の複数のデバイスを一度の登録できます。
- **ポート:** 選択してIPタイプに合うポート情報を入力します。



参考

Windows OSのみIPv6タイプに対応します。

6. 登録ボタンを選択します。

IP	ポート	状態
172.30.1.102	80	成功

- デバイスを登録できなければ、状態カラムにエラーメッセージが表示されます。
- デバイス登録が完了すると、状態カラムに**成功**と表示されます。

7. デバイス追加ウィンドウを閉じるには、閉じるボタンを選択します。

DDNS及びP2Pに登録

製品IDを入力してWisenet Viewerにデバイスを登録できます。

■ 製品IDの確認

接続されたレコーダーでDDNSアドレスを設定すると、リモートで接続可能な製品IDの情報が表示されます。

1. レコーダーの**設定 > ネットワーク > IP及びポート > ポートメニュー**で**プロトコルタイプ**を**TCP**に設定してください。
2. レコーダーの**設定 > ネットワークメニュー**で**Wisenet DDNS及びP2P項目**を**有効**に設定してください。



参考

クイックコネクト(UPnP)機能を使用するには、レコーダーをUPnPルーターに接続させ、**クイックコネクト(UPnP)項目**を**有効**に設定してください。

■ 機能ボタンパネルで登録

1. 機能ボタンパネルで ㊦ ボタンをクリックして**DDNS及びP2P登録**を選択します。
2. 情報入力ウィンドウが表示されたら、製品ID、デバイスのログインIDとパスワードを入力し、DTLS有効可否を選択します。
3. **登録**ボタンを選択します。

製品 ID: 製品 ID

ID: admin

パスワード: *****

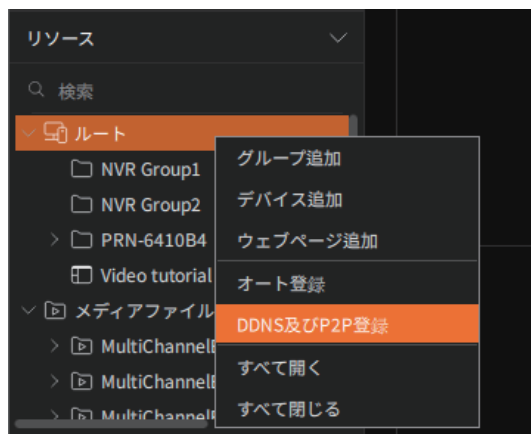
☒ ID及びパスワード保存 ⓘ

DTLS: ☒ 使用済み(セキュリティ優先) ☐ 使用されていません(性能を優先とする優先度)

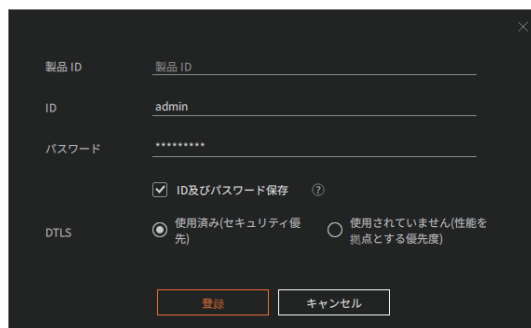
登録 キャンセル

■ リソースツリーで登録

1. リソースツリーの**ルート**項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**DDNS及びP2P登録**を選択します。



3. 登録ウィンドウが表示されたら、製品ID、デバイスのログインIDとパスワードを入力し、DTLS有効可否を選択します。
4. **登録**ボタンを選択します。



■ 設定メニューで登録

デバイスを手動に追加する時、IPタイプを**DDNS/P2P**に選択して登録できます。
詳細は、[手動登録\(33 ページ\)](#)を参照してください。

グループの管理

リソースツリーで登録されたチャンネルやウェブページをグループに構成できます。グループに含まれたチャンネルを変更したり別のグループに移動、またはグループ削除ができます。

複数のデバイスをグループに構成すれば、グループに含まれたチャンネルを一度の移動させたり削除できます。

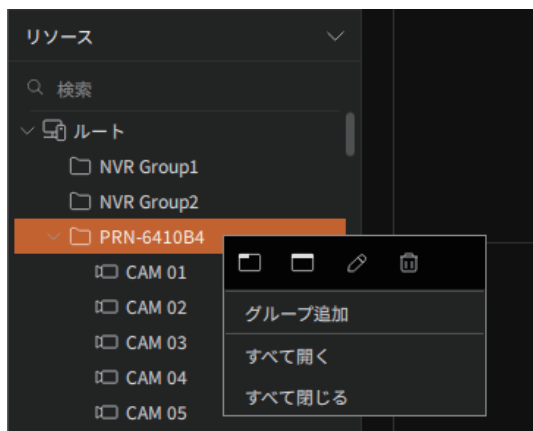


参考

管理者権限を持つユーザーのみグループの生成と管理ができます。

グループのショートカットメニューの使用

グループが生成されたら、以下のようなメニューが使用できます。



	開く	選択したグループを現在のレイアウトタブで開けます。
	新しいウィンドウで開く	選択したグループを新しいウィンドウで開けます。
	修正	選択したグループの名前を変更できます。
	削除	選択したグループを削除できます。
グループ追加		現在のグループ内に下位グループを追加できます。
チャンネル並び		チャンネルを番号順や名前順にソートできます。
すべて開く		ルート項目に含まれたグループとメディアファイルの詳細項目をすべて開くことができます。
すべて閉じる		ルート項目に含まれたグループとメディアファイルの詳細項目をすべて閉じることができます。

グループの作成

登録されたデバイスとウェブページを割り当て、グループを生成できます。

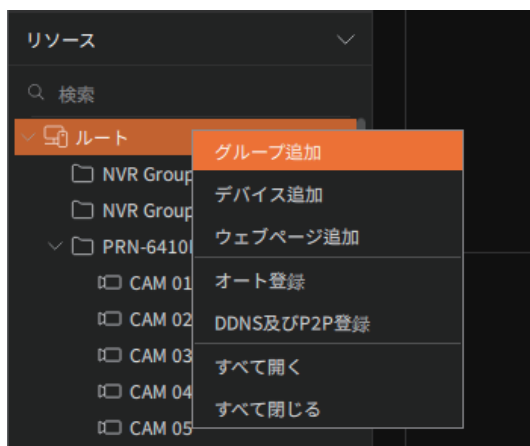


参考

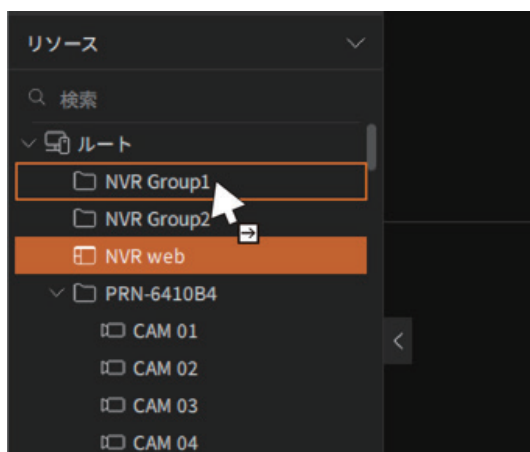
メディアファイルの動画はグループに追加できません。

■ グループの構成

1. リソースツリーのルートまたは既に生成されたグループ項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**グループ追加**を選択します。



3. グループが生成されたら、登録されたチャンネルやウェブページをグループ項目の上にドラッグします。
カーソルの下に矢印が表示されます。



- グループに追加されたチャンネルは名前を基準に自動ソートされます。

**参考**

- グループ項目のショートカットメニューで下位グループを追加できます。下位グループを生成すると、デバイスに割り当てられたチャンネルを分離して管理できます。
- 登録されたチャンネルが多い場合、検索ボックスにチャンネル名を入力すれば、該当チャンネルのみ表示されます。

■ グループ名の変更

1. リソースツリーのグループの上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。
 - グループを選択し、F2キーを押して名前を変更できます。
ショートカットキー使用に関する詳細は、[ショートカットキーの詳細\(29 ページ\)](#)を参照してください。
3. ポップアップウィンドウで名前を変更して**OK**ボタンを選択します。

グループの削除

生成されたグループを削除できます。

1. リソースツリーのグループ項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。
 - グループが削除されたら、含まれているチャンネルはルートの下に移動します。
削除されたグループに含まれた下位グループは一緒に削除され、チャンネルはルートの下に移動します。

チャンネルの管理

グループに割り当てられたチャンネルを移動したり、グループから解除できます。また、選択されたチャンネルの設定情報を変更したり、イベントを検索できます。

チャンネルのショートカットメニューの使用



	開く	選択したチャンネルを現在のレイアウトタブで開けます。
	新しいウィンドウで開く	選択したチャンネルを新しいウィンドウで開けます。
	修正	選択したチャンネルの名前を変更できます。
	削除	選択したチャンネルを削除できます。
	設定	チャンネルの設定情報を確認・変更できます。
グループ移動		選択したチャンネルを別のグループに移動できます。
グループ解除		選択したチャンネルを現在のグループから解除できます。
イベント検索		選択したチャンネルで発生したイベントを検索できます。
NVR設定		選択したチャンネルが含まれたレコーダーの設定を確認・変更できます。
イベントログ		選択チャンネルのイベントログを検索できます。
動画をエクスポートする		選択したチャンネルの録画映像をPCにファイルで保存できます。

接続	選択したチャンネルが含まれたデバイスに接続します。
切断	選択したチャンネルが含まれたデバイスの接続を解除します。
チャンネル並び	チャンネルを番号順や名前順にソートできます。
すべて開く	ルート項目に含まれたグループとメディアファイルの詳細項目をすべて開くことができます。
すべて閉じる	ルート項目に含まれたグループとメディアファイルの詳細項目をすべて閉じるすることができます。

チャンネルの移動

グループに割り当てられたチャンネルを別のグループに移動したり、該当グループから解除できます。

■ 別のグループにチャンネル移動

1. リソースツリーのチャンネル項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**グループ移動**を選択します。
3. グループリストの中から移動したいグループを選択します。



- 選択したグループにチャンネルが移動します。移動したチャンネルは名前を基準に自動ソートされます。

■ グループからチャンネル解除

1. リソースツリーのチャンネル項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**グループ解除**を選択します。
 - グループから解除されたチャンネルはルートの下に移動します。

チャンネル名の変更

1. リソースツリーのチャンネル項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。
 - チャンネルを選択し、F2キーを押して名前を変更できます。
ショートカットキー使用に関する詳細は、[ショートカットキーの詳細\(29 ページ\)](#)を参照してください。
3. ポップアップウィンドウで名前を変更して**OK**ボタンを選択します。



参考

リソースツリーでチャンネル名を変更したら、**設定 > デバイス > デバイスリスト**に同様に適用されます。

チャンネルの削除

1. リソースツリーのチャンネル項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。



参考

リソースツリーでチャンネルを削除すると、保存されたレイアウトからも削除されます。削除したチャンネルを再登録するには、**設定 > デバイス > デバイスリスト**で**アクティブ化するの有効**をチェックします。

チャンネルの設定

Wisenet Viewerに登録されたチャンネルの詳細情報を確認して、情報を変更できます。

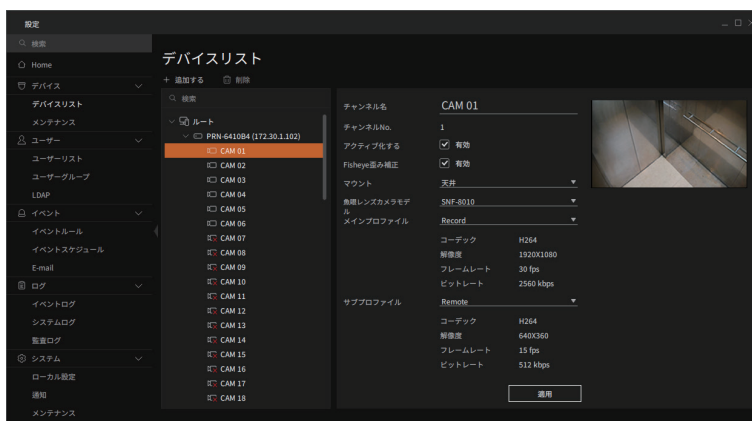


参考

Wisenet Viewerでは、登録されたチャンネルの一部設定のみ変更できます。レコーダーの詳細設定を変更するには、接続されたデバイスのウェブビューアで変更してください。

■ チャンネル情報の確認

1. リソースツリーのチャンネル項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで⚙️ボタンをクリックします。
3. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
4. チャンネルを選択します。
デバイス情報が表示されたら、設定情報を確認します。



- **チャンネル名:** 選択したチャンネル名を表示します。ユーザーが希望する名前に変更できません。
- **チャンネルNo:** 選択したチャンネルのNo.を表示します。
- **アクティブ化する:** チャンネルの有効可否を選択します。**有効**のチェックを解除すると、リソースツリーに該当チャンネルが表示されません。
- **Fisheye歪み補正:** Fisheye映像の歪み補正可否を選択します。
但し、接続されたカメラがFisheyeビューに対応する場合にのみ使用できます。
 - **マウント:** 天井/壁/地面の中からマウントモードを選択します。
 - **魚眼レンズカメラモデル:** 魚眼レンズカメラモデルを選択します。
 - **魚眼回転:** Fisheye映像を回転するための回転設定値を入力します。Fisheye歪み補正映像に適用されます。プレビュー画面の下の**回転**をクリックすると**魚眼回転**ウィンドウが表示されます。

- **メインプロファイル/サブプロファイル**：映像のメイン/サブプロファイルを選択します。
 - **コーデック**: 映像のコーデック情報を表示します。
 - **解像度**: 映像の解像度情報を表示します。
 - **フレームレート**: 映像のフレームレート情報を表示します。
 - **ビットレート**: 映像のビットレート情報を表示します。



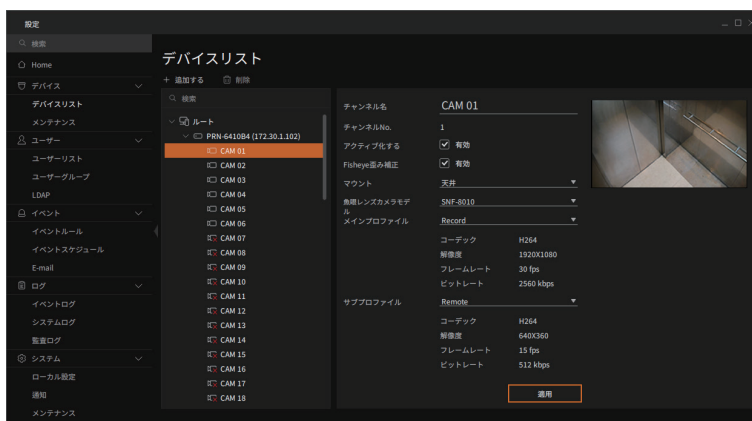
参考

チャンネルのFisheye歪み補正をアクティブ化すると、画面制御メニューでPTZアイコンが表示されます。

Fisheyeビューモードを実行すると、シングル、4分割、パノラマモードでPTZ機能を使用できます。

■ チャンネル情報の変更

1. リソースツリーのチャンネル項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。
3. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
4. チャンネルを選択して設定情報を変更します。



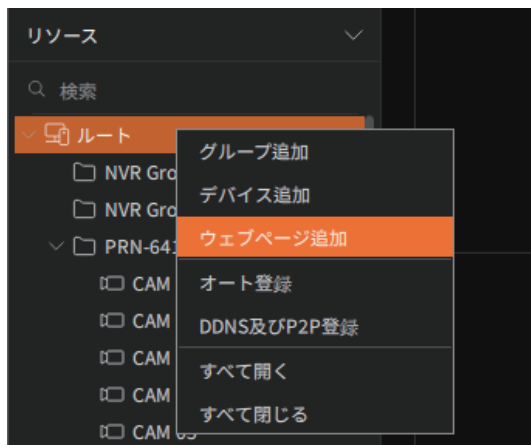
- チャンネルの詳細情報は、レコーダーで変更でき、変更できない項目は設定値のみ確認できます。
5. **適用**ボタンを選択します。
 - 画面の右上に変更結果が表示されます。

ウェブページの管理

URLを入力してウェブページを登録できます。登録されたウェブページは映像タイルに割り当てて監視できます。

ウェブページの登録

1. リソースツリーのルート項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**ウェブページ追加**を選択します。



3. **ウェブページ追加**ウィンドウが表示されたら、登録したいウェブページ情報を入力します。

 A screenshot of a dialog box titled 'ウェブページ追加' (Add Web Page). The dialog has a dark background with white text. It contains the following fields:

- 名前 (Name): NVR web
- URL: http://
- ダイジェスト認証 (Digest Authentication): ☒ 有効 (Enabled)
- ID: admin
- パスワード (Password): *****

 At the bottom, there are two buttons: 'OK' (highlighted with an orange border) and 'キャンセル' (Cancel).

- **名前:** リソースツリーに登録するウェブページ名を入力します。
 - **URL:** ウェブページのアドレスを入力します。
 - **ダイジェスト認証:** ウェブページのIDとパスワードを入力します。**有効**をチェックすると、ウェブページをタイルに割り当てるとき、自動ログインされます。
4. **OK**ボタンを選択します。
 - ウェブページは、ルートの下に追加されます。登録されたウェブページをグループに割り当てるには、ドラッグして追加してください。

ウェブページ名の変更

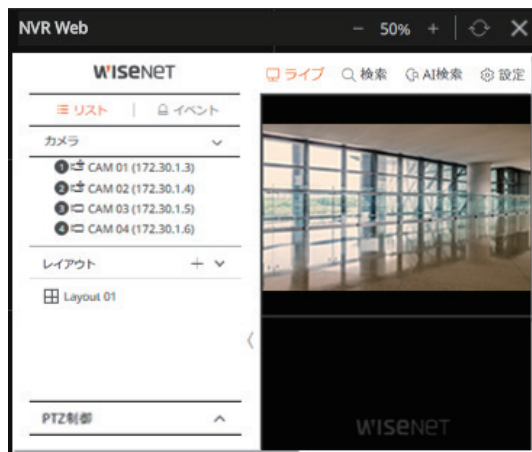
1. リソースツリーのウェブページ項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。
 - ウェブページを選択し、F2キーを押して名前を変更できます。
ショートカットキー使用に関する詳細は、[ショートカットキーの詳細\(29 ページ\)](#)を参照してください。
3. ポップアップウィンドウで名前を変更してOKボタンを選択します。

ウェブページの削除

1. リソースツリーのウェブページ項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。

ウェブページの設定

ウェブページを登録すると、割り当てたタイルに表示されます。映像タイルにウェブページが表示されたら、タイル内のウェブページをズームインまたはズームアウト、再読み込み機能を使用できます。また、登録したウェブページ情報を変更して保存できます。



-  : ウェブページをズームアウトできます。
- **ウェブページ比率** : 現在のウェブページの比率を確認できます。
-  : ウェブページをズームインできます。
-  : ウェブページを再読み込みできます。
-  : ウェブページタイルを閉じられます。タイルを閉じたら該当レイアウトから削除されます。



参考

映像タイルにウェブページが割り当てられると、マウスを右クリックしてショートカットメニューを使用できます。

- **全画面**：ウェブページを全画面で見ることができます。
- **ウェブブラウザで開く**：ウェブページをウェブブラウザで見ることができます。
- **戻る**：次のページに移動します。
- **前に**：前のページに移動します。
- **再ロード**：ウェブページを再読み込みできます。
- **200%/100%/75%/50%**：ウェブページ比率を選択できます。

■ ウェブページ情報の変更

1. リソースツリーのウェブページ項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで⚙️ボタンをクリックします。
3. **ウェブページ修正**ウィンドウで情報を変更します。
4. **OK**ボタンを選択します。

メディアファイルの確認

PCに保存されたイメージや動画ファイルを読み込み、Wisenet Viewerで確認できます。

メディアファイルフォルダのルート変更

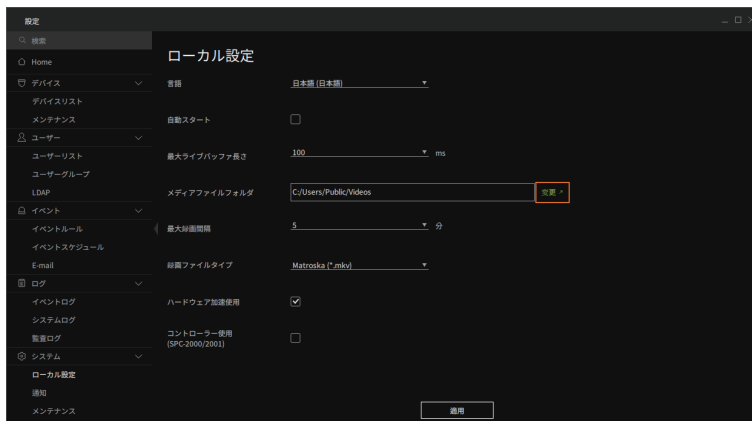
メディアファイルが保存されたフォルダを変更できます。メディアファイルフォルダには、Wisenet Viewerでキャプチャしたイメージや録画した映像が保存され、Wisenet Viewerで使用するイメージや動画を保管できます。



参考

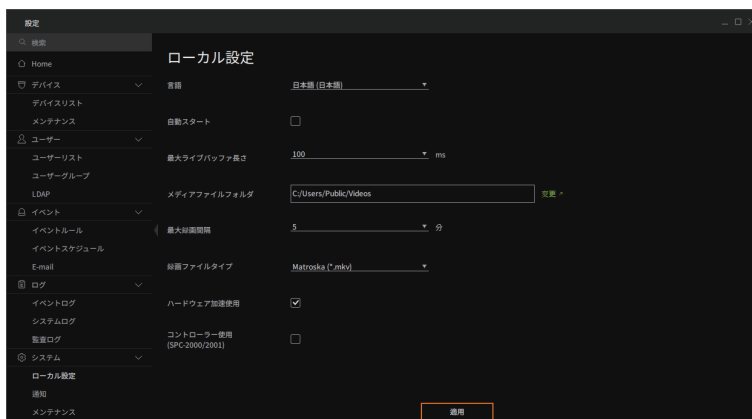
- リソースツリーのメディアファイルには、Wisenet Viewerで対応するタイプの動画ファイルのみ表示されます。
- PCに保存されたファイルを直接ドラッグして追加した動画やイメージは、リソースツリーのメディアファイルに表示されません。

- 機能ボタンパネルで  ボタンを選択します。
- 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > ローカル設定**を選択します。
- ローカル設定ウィンドウが表示されたら、**メディアファイルフォルダ**項目の**変更**を選択します。



- フォルダ選択ウィンドウで希望のルートを設定して、**フォルダ選択**をクリックします。

5. 適用ボタンを選択します。



6. 確認ウィンドウの閉じるボタンを選択します。



参考

- メディアファイルのフォルダルートを変更してWisenet Viewerを再起動しないと、変更されたフォルダ内の動画やイメージファイルがルート項目の下に表示されません。
- メディアファイルフォルダのファイルリストは自動的にアップデートされます。

メディアファイルの割り当て

動画やイメージファイルをドラッグしてタイルにすぐ割り当てできます。また、レイアウトに構成して保存できます。



参考

Wisenet Viewerで確認できるメディアファイルの種類は以下の通りです。対応しないファイルの場合、正常動作しないことがあります。

- 動画：mkv、avi、mp4、wisenet media file(wnm)、SEC
 - ビデオ映像コーデック：H264、H265、MJPEG
 - 音声コーデック：AAC、G.711、G.726
- イメージ：png、jpeg、jpg、bmp

■ リソースツリーの動画/イメージファイル追加

リソースツリーのメディアファイル項目に表示された動画/イメージファイルをドラッグしてタイルに追加します。

■ PCから動画/イメージファイル追加

PCに保存されてる動画やイメージファイルをドラッグしてタイルに追加します。



参考

- グリッドの空のタイルで右クリックすると、表示されるショートカットメニューの**メディアファイルを開く**を選択してもメディアファイルをタイルに追加できます。
または、空のタイルの上でCtrl + Oを押してもメディアファイルを追加できます。
- 動画ファイルがタイルに割り当てられたら、ショートカットメニューでFisheye設定ができます。
Fisheyeの使用及びタイプ、マウントを選択して適用できます。
- メディアファイルが割り当てられたタイルを終了したら、該当レイアウトから削除されます。

■ WNM映像ファイルのデジタル署名検証

デジタル署名を追加してWNM映像を保存した場合、該当映像のデジタル署名を検証できます。

1. リソースツリーのメディアファイルの下でWNMファイルを選択し、右クリックします。
2. ショートカットメニューで**デジタル署名検証**を選択します。
 - 検証が完了したら、画面の右上に**検証済み**と表示されます。
 - デジタル署名検証が完了したら、ファイルのアイコンが変更されます。選択したファイルのアイコンで変造状態を確認できます。
 -  **ファイルの変造**: 映像をエクスポートする際、デジタル署名機能を使用した証明書が含まれていますが、ファイルが異常に変造されているため、認証情報を確認できません。
 -  **検証完了**: 映像をエクスポートする際、デジタル署名機能を使用した証明書が含まれており、該当の認証情報は正常に確認されました。
 -  **証明書なし**: 映像をエクスポートする際、デジタル署名機能を使用していないため、証明書情報が含まれてないファイルで、ファイルの変造可否を判断できません。



参考

デジタル署名が追加されたWNMファイルを保存するには、映像をエクスポートする際にデジタル署名項目を**有効**に選択してください。動画のエクスポートに関する詳細は、[録画映像のエクスポート\(145 ページ\)](#)を参照してください。

デバイスの管理

Wisenet Viewerに登録されたデバイス情報を変更・検索できます。

デバイスの設定

Wisenet Viewerに登録されたデバイスの詳細情報を確認して、設定を変更できます。



参考

Wisenet Viewerでは、デバイスの一部設定のみ変更できます。デバイスの詳細設定を変更するには、該当デバイスやウェブビューアで変更してください。

■ デバイス情報の確認

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
3. デバイスを選択します。
デバイス情報が表示されたら、設定情報を確認します。



- **デバイス名:** 選択したデバイス名を表示します。ユーザーが希望する名前に変更できます。
 - デバイス名をロードする：Wisenet Viewerのデバイス/チャンネル名を、デバイスに設定されたデバイス/チャンネル名に変更します。
- **GUID:** 選択したデバイスのGUIDを表示します。
- **モデル:** デバイスのモデル名を表示します。
- **バージョン:** デバイスのファームウェアバージョンを表示します。
- **MACアドレス:** デバイスのMACアドレスを表示します。
- **機器証明書:** デバイスの機器証明情報を表示します。
- **接続タイプ:** デバイスのネットワーク接続タイプを表示します。
- **ネットワーク:** ネットワークの種類を選択して情報を変更できます。

- **ポート:** ポートの情報を変更できます。
- **ストリーミングプロトコル:** デバイスのストリーミングプロトコルを変更できます。
- **接続:** デバイスの有効可否を選択できます。**有効**を解除すると、リソースツリーに表示されません。
- **認証:** **変更**を選択すると、ポップアップウィンドウでデバイスのID/パスワードを変更できます。
- **ウェブビューア:** **開く**を選択すると、デバイスのウェブビューアを新しいウィンドウで確認できます。

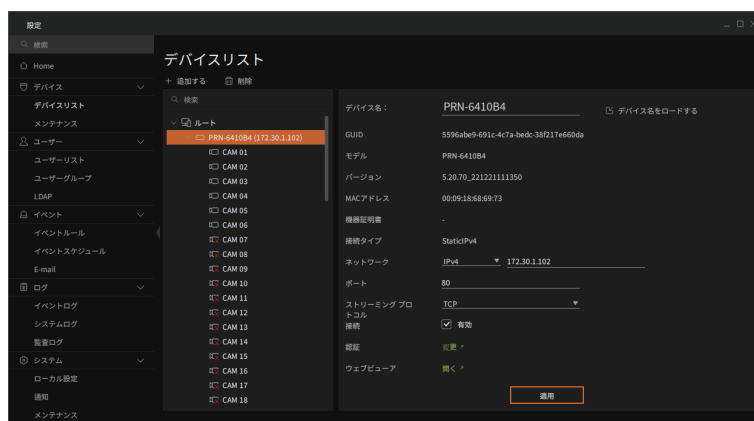


参考

デバイスを複数選択すると、ストリーミングプロトコル、接続、認証の項目のみ表示されます。

■ デバイス情報の変更

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
3. デバイスを選択して設定情報を変更します。



- デバイスの詳細情報は、レコーダーで変更でき、変更できない項目は設定値のみ確認できます。
4. **適用**ボタンを選択します。
 - 画面の右上に変更結果が表示されます。

デバイスの削除

Wisenet Viewerに登録されたデバイスを削除できます。

1. 機能ボタンパネルで  ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
3. デバイスを選択して、**削除**を選択します。



4. 削除の確認ウィンドウの**OK**ボタンを選択します。
 - **今後確認しない**をチェックすると、以降のデバイスの削除時に確認ウィンドウが表示されません。但し、Wisenet Viewerを再起動したら、削除の確認ウィンドウが再び表示されます。
 - 画面の右上に削除結果が表示されます。



参考

デバイスが削除されたら、グループ/レイアウトに割り当てられたデバイス及びチャンネルがすべて削除されます。

デバイスの検索

1. 機能ボタンパネルで  ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > デバイスリスト**を選択します。
3. デバイスリストウィンドウの検索ボックスで検索したい名前を入力すると、該当項目のみ表示されます。



ファームウェアのアップデート

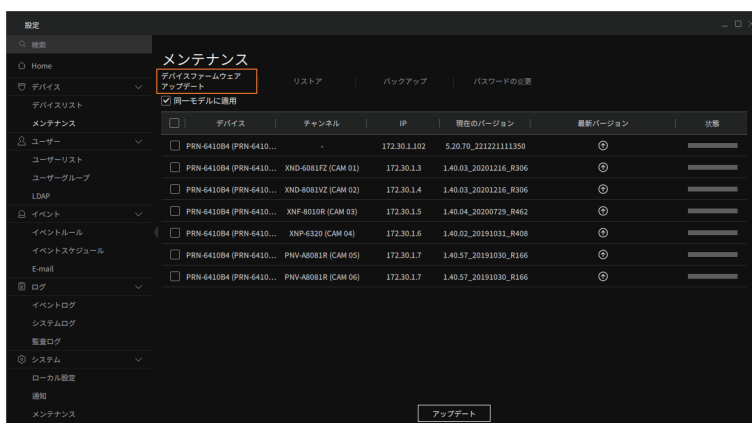
Wisenet Viewerに登録されたデバイス及びカメラのファームウェアをアップデートできます。ネットワークに接続された場合、アップデートサーバーと同期して最新バージョンのファームウェアを確認し、アップデートできます。



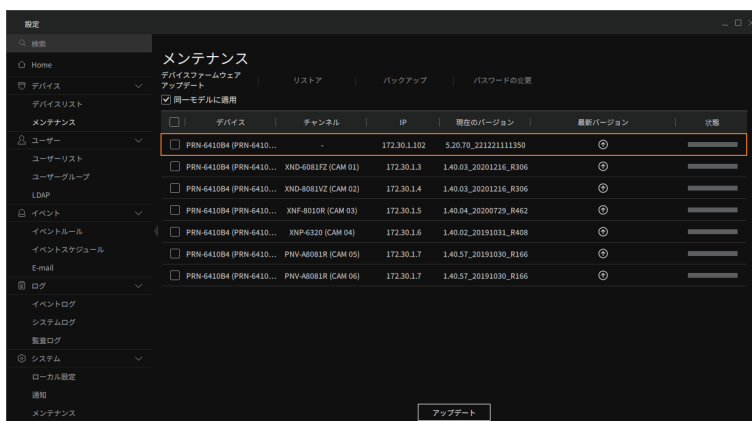
参考

デバイスがカメラのファームウェアアップデートに対応する場合のみ、下位カメラ項目が該当デバイスリストの下に表示されます。

1. 機能ボタンパネルで $\{\}$ ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > メンテナンス**を選択します。
3. **デバイスファームウェアアップデート**タブを選択します。

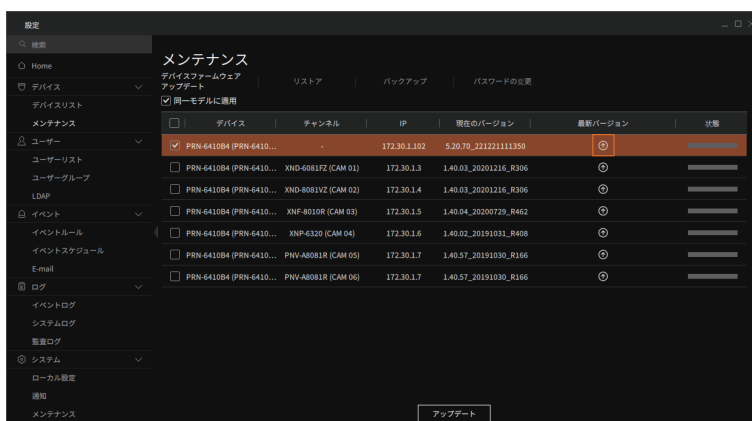


4. アップデートするデバイスを選択します。



- 同一モデルに適用をチェックしたら、該当ファームウェアが適用される複数の同一モデルのデバイスを一度にアップデートできます。同一なファームウェアが適用されてもデバイスのモデルが異なる場合は該当しません。

5. ①を選択します。



6. ファームウェアファイルを選択して、開くボタンをクリックします。

7. アップデートボタンを選択します。

- ファームウェアアップデートの進行状況が状態コラムに表示されます。
- ファームウェアアップデートが完了すると、状態カラムに**成功**と表示されます。



参考

状態カラムに表示される項目は以下の通りです。

- **成功**：デバイスのファームウェアアップデートが無事に完了したら表示されます。
- **アップデート失敗**：ファームウェアアップデートが完了できなかった場合に表示されます。
- **互換性のないファイル**：選択したファームウェアアップデートのファイルがデバイスと互換できない場合に表示されます。
- **失敗**：デバイスからの応答がないか、ネットワーク接続エラーなど、アップデートが実行されなかった場合に表示されます。

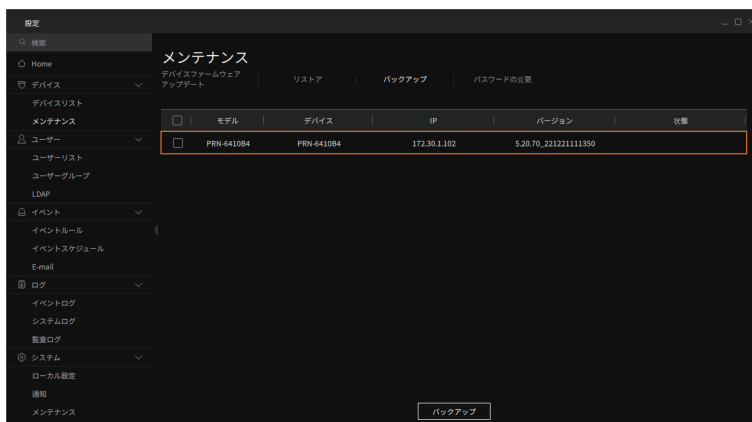
デバイスのバックアップ

Wisenet Viewerに登録されたデバイスのバックアップファイルをPCに保存できます。

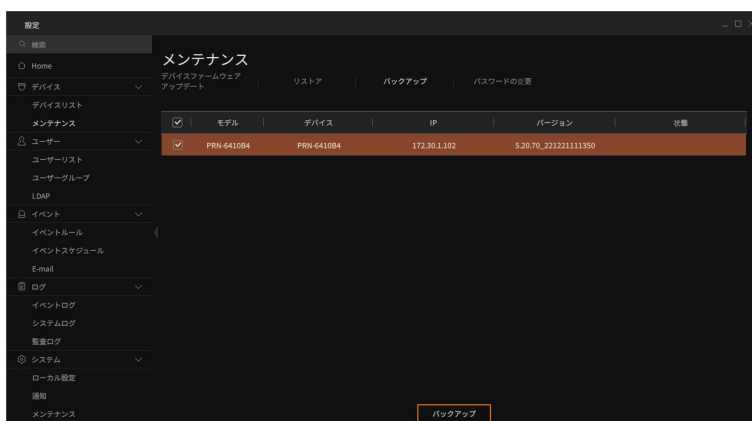
1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > メンテナンス**を選択します。
3. **バックアップ**タブを選択します。



4. バックアップするデバイスを選択します。



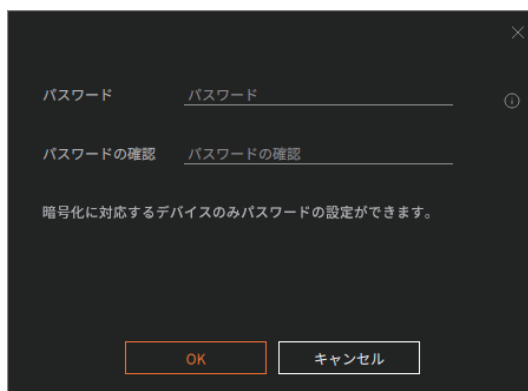
5. バックアップボタンを選択します。



6. バックアップファイルを保存するルートを設定し、フォルダ選択ボタンを選択します。

7. パスワードの入力ウィンドウが表示されたらバックアップ用のパスワードを入力します。

8. OKボタンを選択します。



- パスワードの入力ウィンドウは暗号化に対応するデバイスが接続された場合のみ表示されます。
- バックアップファイルを保存する際に入力したパスワードは、デバイスの復元時に入力しなければなりません。
- デバイスのバックアップファイルは、.datタイプで選択したフォルダに保存されます。
- デバイスのバックアップが完了したら、状態コラムに**成功**と表示されます。



参考

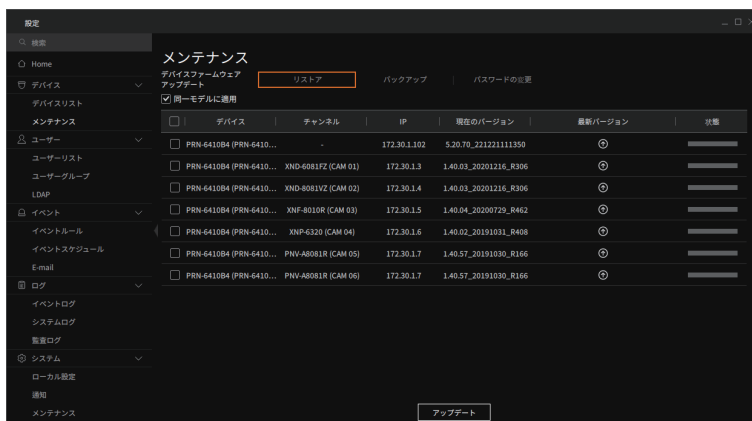
状態コラムに表示される項目は以下の通りです。

- **成功**: デバイスのバックアップファイルが無事に保存できたら表示されます。
- **失敗**: デバイスのバックアップファイルが保存できなかった場合に表示されます。

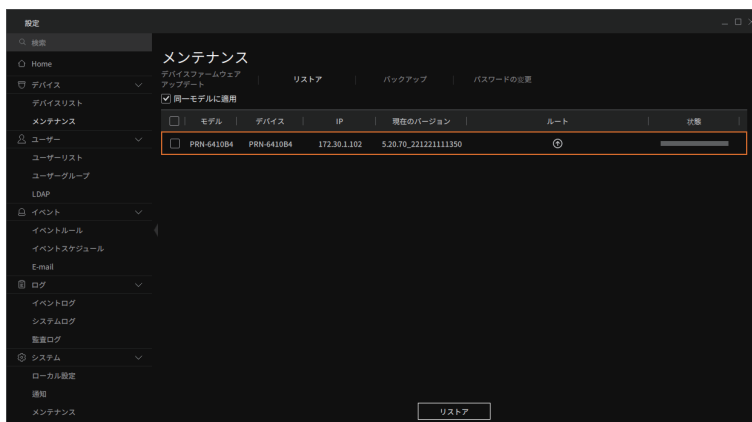
デバイスのリストア

PCに保存されたバックアップファイルをを読み込み、デバイスをリストアできます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > メンテナンス**を選択します。
3. リストアタブを選択します。

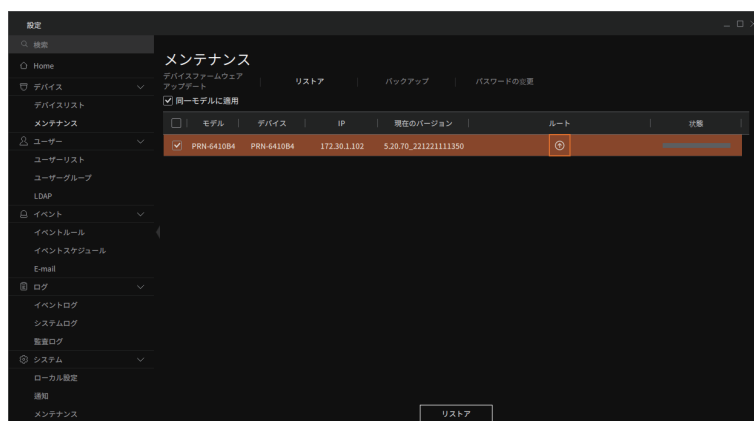


4. リストアするデバイスを選択します。



- 同一モデルに適用をチェックしたら、該当バックアップファイルが適用される複数の同一モデルのデバイスを一度にリストアできます。

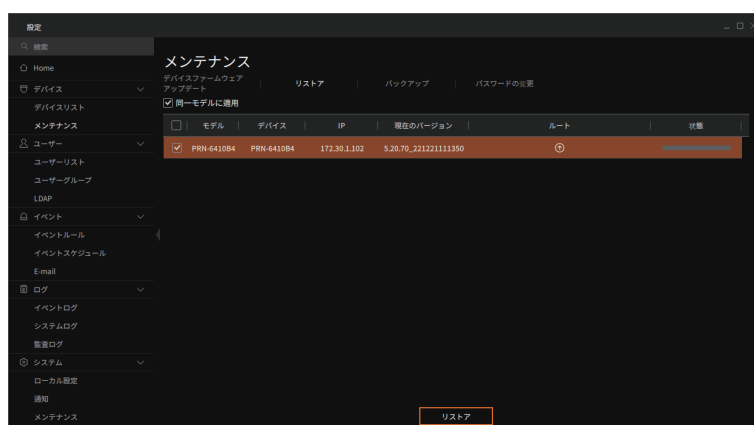
5. ①を選択します。



- デバイスをリストアする時、.binまたは.datタイプのバックアップファイルを適用できます。

6. バックアップファイルを選択して、開くボタンをクリックします。

7. リストアボタンを選択します。



8. パスワードの入力ウィンドウが表示されたらバックアップの際に設定したパスワードを入力してください。
9. **OK**ボタンを選択します。



- パスワードの入力ウィンドウは暗号化に対応するデバイスが接続された場合のみ表示されます。
- デバイスの復旧状況が状態カラムに表示されます。
- デバイスのリストアが完了したら、状態カラムに**成功**と表示されます。



参考

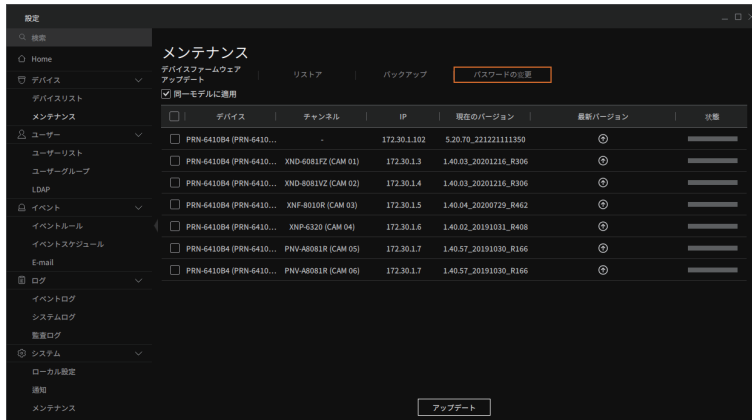
状態カラムに表示される項目は以下の通りです。

- **成功**：デバイスのリストアが無事に完了したら表示されます。
- **互換性のないファイル**：選択したリストアファイルがデバイスと互換できない場合に表示されます。
- **失敗**：デバイスからの応答がないか、ネットワーク接続エラーなど、デバイスのリストアが実行されなかった場合に表示されます。

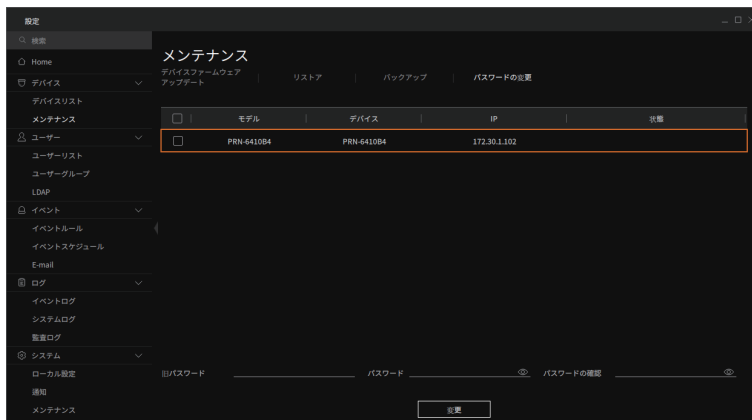
デバイスのパスワード変更

Wisenet Viewerに登録されたデバイスのパスワードを変更できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**デバイス > メンテナンス**を選択します。
3. **パスワードの変更**タブを選択します。

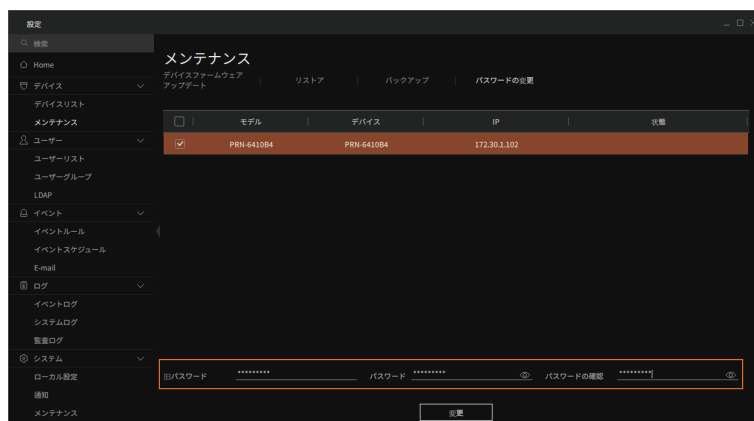


4. パスワードを変更したいデバイスを選択します。

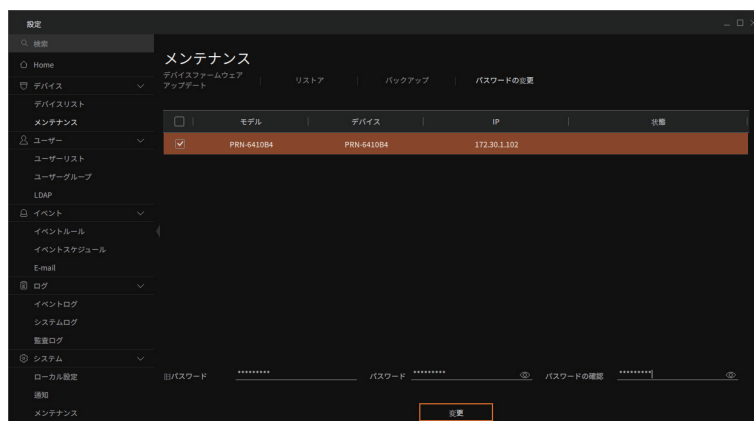


- 複数のデバイスを選択してパスワードを一括変更すると、選択したデバイスにすべて適用されます。

5. デバイスの現在のパスワードを入力します。
6. 変更するパスワードを入力します。
パスワードの確認項目に同じようにもう一度入力してください。



7. 変更ボタンを選択します。



レイアウトの使用

映像タイルのサイズ変更と移動が自由なダイナミックレイアウトを活用して、Wisenet Viewerに登録されたデバイス、ウェブページ、動画やイメージを希望するレイアウトに構成できます。また、特定場所の平面図上にデバイスを配置したマップレイアウトで、効率的な監視システムを運営できます。

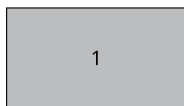
ライブ映像を監視したり、録画映像を再生する時に様々な制御メニューを活用してユーザーが望む設定に変更できます。

ダイナミックレイアウトの使用

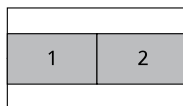
Wisenet Viewerでは、映像のタイルサイズ変更と移動が自由なダイナミックレイアウトを使用できます。グリッド上でマウスのスクロールホイールを使用して、タイルのサイズと個数を素早く変更でき、自動でタイルのサイズ調整が可能なAutofit機能を使用できます。ダイナミックレイアウトの基本的な使用方法を説明します。

グリッドにチャンネル追加

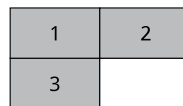
グリッドに1つ、または複数のデバイスを一度に追加できます。始点となるグリッドから自動的に映像タイルが追加され、映像タイルはグリッドの左から右、上から下の順に追加されます。



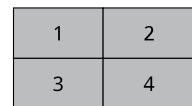
1チャンネル割り当て



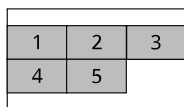
2チャンネル割り当て



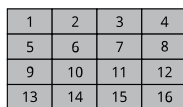
3チャンネル割り当て



4チャンネル割り当て



5チャンネル割り当て



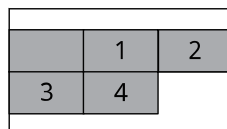
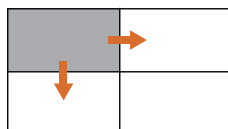
16チャンネル割り当て



64チャンネル割り当て

また、映像が追加されているグリッドの上にデバイスをドラッグすると、映像のない空のタイルが自動追加されます。

空のタイルに追加される時は、右側と下の方向の順に追加されます。

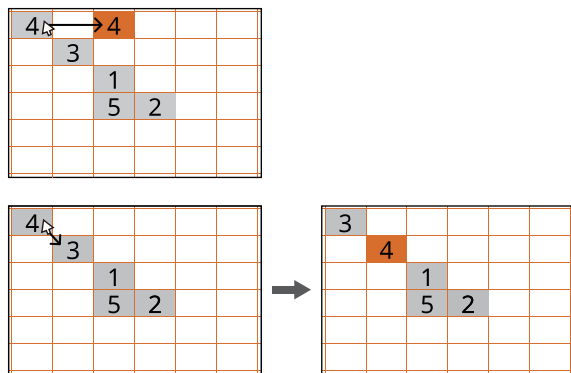


参考

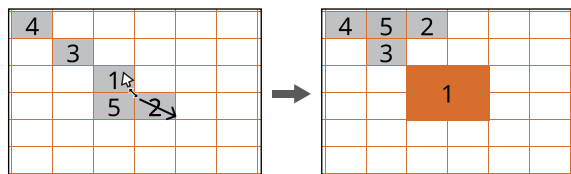
ユーザーがレイアウトタブで設定した映像比率によってグリッドが生成されます。レイアウトタブのショートカットメニューに関する詳細は、[グリッドのショートカットメニューの使用\(82 ページ\)](#)を参照してください。

チャンネルの移動

グリッドに追加されたチャンネルを自由に移動して配置できます。空のタイルに映像をドラッグして移動でき、映像が追加されたタイルの上にドラッグすると、2つのタイルの位置が変更されます。

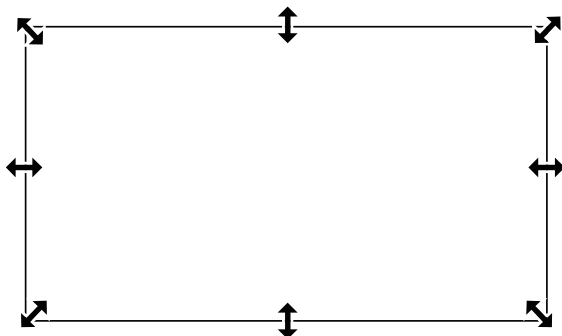


また、タイルのサイズをズームインして移動できます。映像が追加されたタイルの位置にドラッグすると、既存のタイルは別の場所に移動し、該当位置にズームインされたタイルが配置されます。



映像タイルサイズの変更

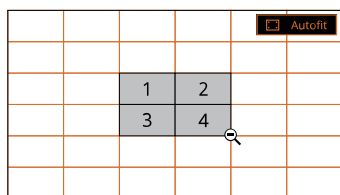
グリッドに追加された映像タイルのサイズをズームイン・ズームアウトできます。映像タイルにマウスを当てると、サイズ変更の矢印が表示されます。矢印をドラッグして上下、左右または斜めにタイルのサイズを自由に変更できます。



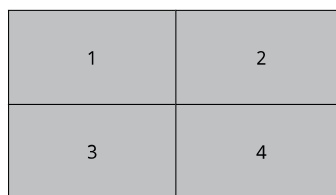
また、タイルをダブルクリックすると、該当タイルがレイアウト画面に合わせて最大サイズで表示されます。

Autofitの使用

マウスのスクロールホイールでグリッドをズームイン・ズームアウトできます。この時、レイアウトの右上にAutofitボタンが表示されます。Autofitボタンをクリックすると、現在レイアウトのすべての映像を一目で確認できるように、自動的にサイズを合わせます。



ズームアウト



Autofit実行



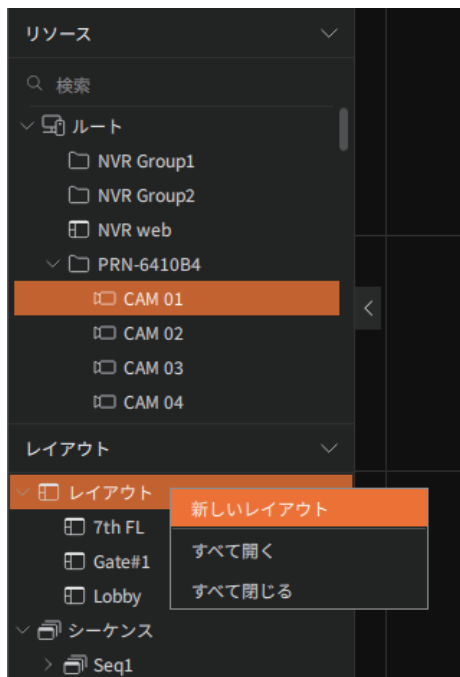
参考

グリッドから別の所へ移動するには、マウスの右ボタンをクリックした状態でドラッグしてください。

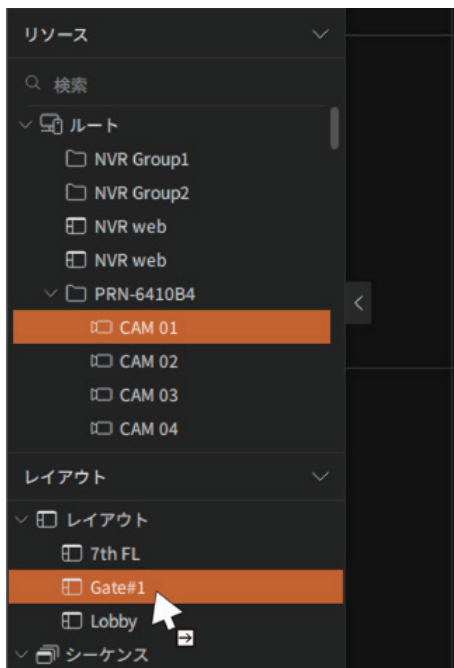
レイアウトの作成

監視者の使用目的や利便性に合わせて分類された様々なデバイスやウェブページ、動画、イメージを1つのレイアウトに構成し、素早くかつ簡単に監視できます。

1. レイアウトツリーの**レイアウト**項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**新しいレイアウト**を選択します。



3. レイアウトが生成されたら、リソースツリーからチャンネルやウェブページなどを生成されたレイアウト項目の上にドラッグします。
カーソルの下に矢印が表示されます。



- または現在レイアウトのグリッドに登録されたチャンネルをドラッグして追加できます。
チャンネルの割り当てに関する詳細は、[チャンネルの追加\(71 ページ\)](#)を参照してください。
4. チャンネルが追加されたら、グリッドに映像が表示されます。



参考

レイアウトタブでレイアウトを保存しても、レイアウトを作れます。

チャンネルの追加

レイアウトが生成されると、リソースツリーに登録されたチャンネル、ウェブページ、動画、またはイメージをレイアウトに追加できます。

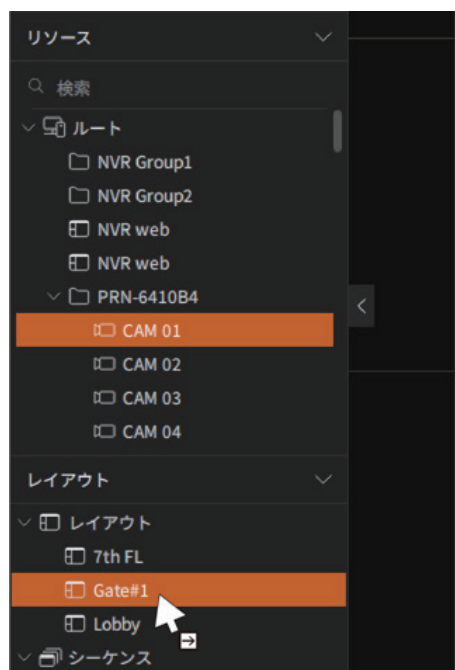
■ レイアウトにチャンネル追加

リソースツリーからチャンネルを生成されたレイアウト項目にドラッグしたり、グリッドにドラッグして追加できます。また、チャンネルを1つまたは複数を一度にドラッグしてレイアウトに追加できます。

レイアウトツリーのレイアウトに割り当て

リソースツリーから1つまたは複数のチャンネルを選択して、レイアウトツリーのレイアウト項目の上にドラッグします。カーソルに矢印が表示されたら、希望するレイアウトにドラッグしてください。

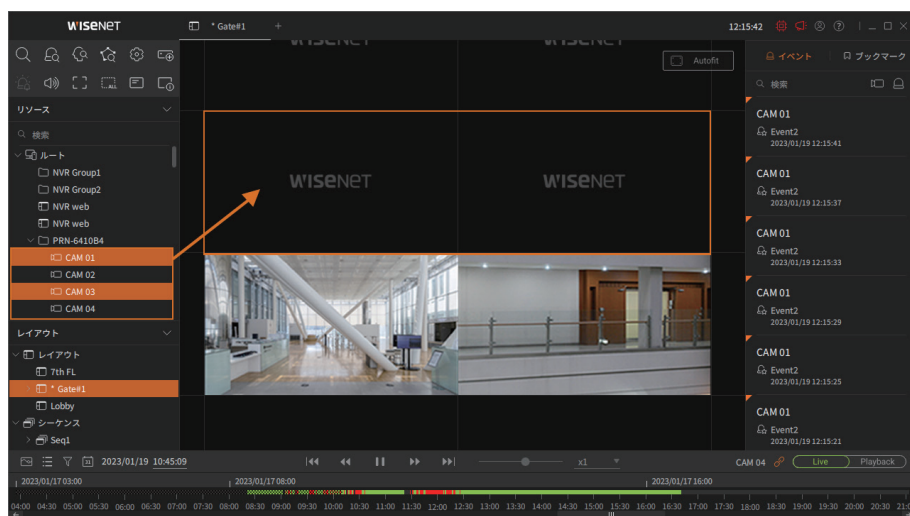
チャンネルをレイアウトツリーにドラッグして追加する場合、変更履歴が自動的に保存されます。



グリッドに割り当て

リソースツリーから1つまたは複数のチャンネルを選択して、グリッドの空のタイルにドラッグします。

- チャンネルリストで連続する複数の項目を選択する場合には、Shiftキーを押しながら選択してください。
- 離れている複数の個別項目を選択する場合には、Ctrlキーを押しながら選択してください。



■ レイアウトにウェブページ追加

リソースツリーで登録されたウェブページを選択して、空のタイルにドラッグしたり保存されたレイアウト項目の上にドラッグします。

■ レイアウトに動画ファイル追加

リソースツリーでメディアファイルの下にある動画ファイルを選択して、空のタイルにドラッグしたり保存されたレイアウト項目の上にドラッグします。

- 空のタイルでショートカットメニューのメディアファイルを開くを選択してもレイアウトに動画ファイルを追加できます。

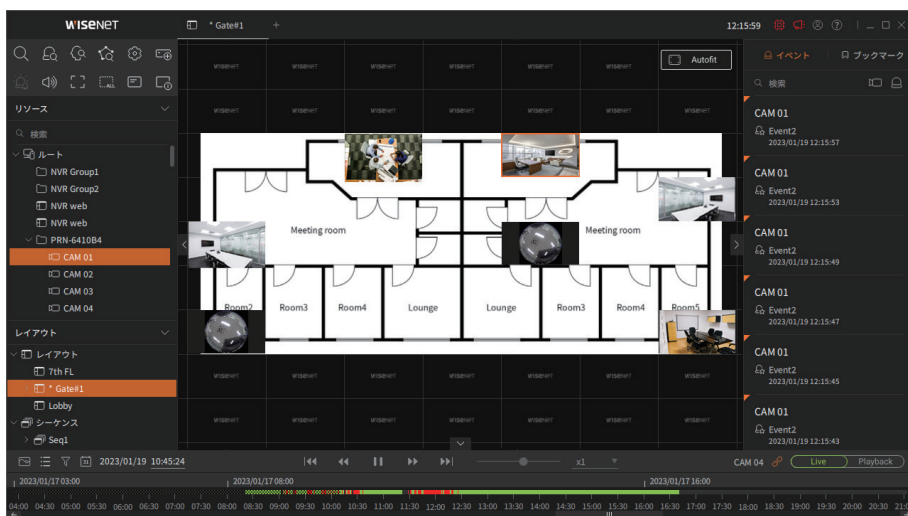
■ レイアウトにイメージファイル追加

イメージファイルをタイルに追加するには、保存されたファイルを選択したりドラッグします。

マップレイアウトの構成

地図や平面図などのイメージファイルを背景画面に設定し、レイアウトに含まれている他のチャンネルを希望の位置に配置して構成できます。

1. イメージファイルをドラッグしてタイルに追加します。
2. タイルのショートカットメニューで**背景イメージに設定**を選択します。
3. イメージのサイズを調整したあと、イメージの上にタイルを配置します。



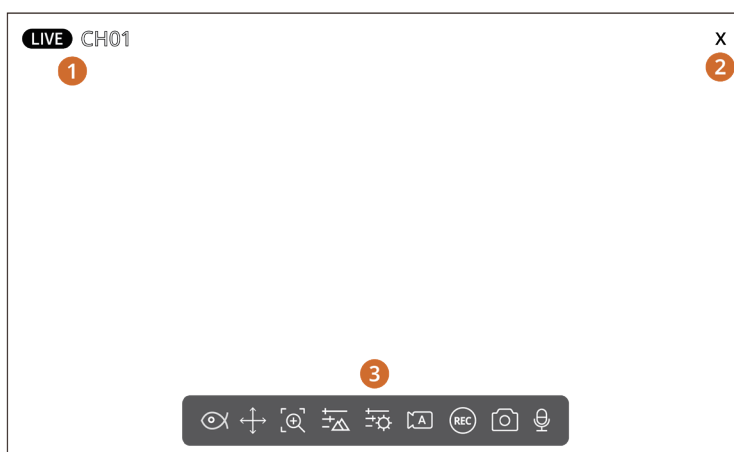
4. レイアウト項目のショートカットメニューで**レイアウト保存**を選択します。
 - レイアウト変更事項は自動的に保存されません。プログラムを終了する前に変更事項を保存してください。

レイアウトビデオの確認

希望するレイアウトでチャンネルを構成し、ライブ映像を監視したり録画映像を再生できます。画面制御メニューとショートカットメニューを使用して映像の画質を設定し、PTZモードを制御するなど、様々な機能を使用できます。

画面制御メニューの使用

レイアウトに映像が表示されると、タイル別に画面を制御できます。PTZモードを使用して映像をズームイン・ズームアウトできます。また、該当チャンネルの映像をPCに保存したり、キャプチャーできます。



番号	画面構成	機能詳細
①	チャンネル情報	チャンネル名とライブ状態が表示されます。
②	映像削除	現在の映像タイルを削除します。
③	映像制御機能	🌀: Fisheye映像の歪みを補正し、様々なモードで監視できます。 📏: PTZモードの動作を制御してプリセットを設定できます。 🔍: デジタルズームで映像をズームインし、新しいタイルで見れます。 🔧: 映像のフォーカスを調整できます。 🔧: 映像の輝度/コントラストを調整したり初期値に設定できます。 📄: 現在のチャンネルのビデオプロファイル設定を表示し、変更できます。 📄: ライブ映像をPCに保存できます。 📷: 映像をキャプチャーしてpngファイルで保存できます。 🎤: カメラのマイクで選択したチャンネルに音声を出力できます。

■ Fisheye歪みの補正

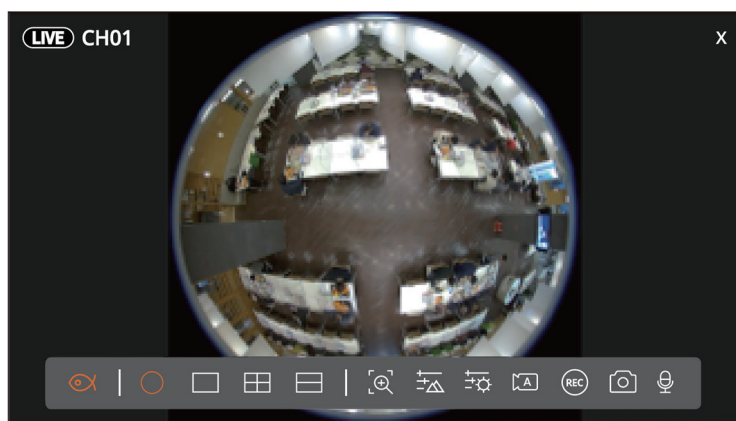
Fisheyeカメラが接続された場合、歪み補正機能を使用して、様々なモードで監視できます。Fisheye歪み補正画面を複数のタイルに割り当ててレイアウトに保存すると、一目で全サイトを監視できます。

• Fisheyeビュー

Fisheyeビューのすべての映像を確認できます。

クロップ機能を選択すると、空のタイルに歪み補正されたズームイン映像が表示されます。希望するクロップエリアと角度を選択して監視できます。

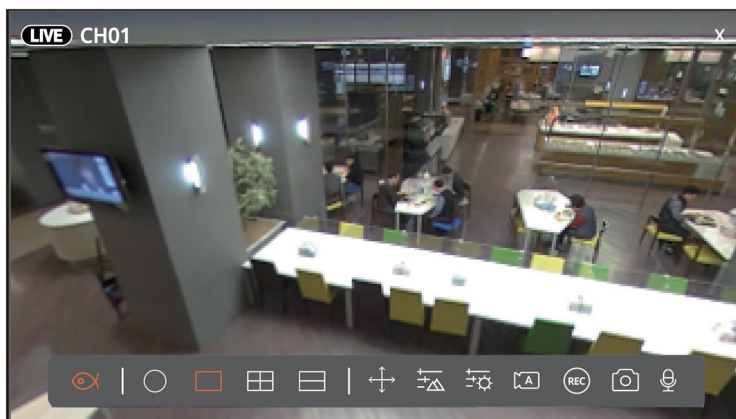
– Fisheyeビューモードを選択すると、PTZモードは対応されません。



• シングルビュー

Fisheyeビューを単一画面で確認できます。

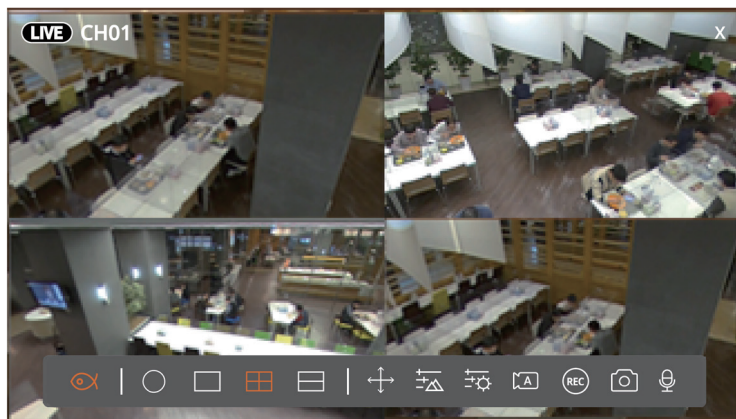
PTZモードを選択すると、マウスを上下左右にドラッグしたり、マウスのスクロールホイールを利用して画面を移動・ズームインして監視できます。



- 4分割ビュー

Fisheyeビューを4分割画面で確認できます。

PTZモードを選択すると、マウスを上下左右にドラッグしたり、マウスのスクロールホイールを利用して画面を移動・ズームインして監視できます。

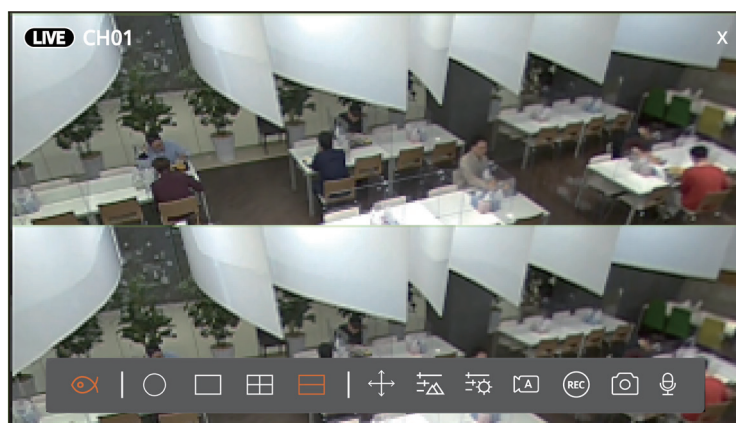


- パノラマビュー

Fisheyeビューをパノラマ画面で確認できます。

PTZモードを選択すると、マウスを左右にドラッグして画面を移動しながら監視できます。

- マウントタイプを壁に選択した場合、単一パノラマ画面が表示され、天井/地面を選択した場合、ダブルパノラマ画面が表示されます。



参考

- レコーダーに登録されたカメラの中で、Fisheyeビューに対応するカメラのみ使用できます。
- 動画ファイルをチャンネルに割り当てて再生する場合、**Fisheye設定**を選択してタイプとマウントの種類を設定できます。

■ PTZモード制御



参考

- Fisheye歪み補正 機能がアクティブ化されていると、PTZモード制御アイコンは表示されません。
- Fisheyeビューモードの中、シングル、4分割、パノラマモードでPTZモード制御機能を使用できます。
- カメラの性能によりPTZの一部機能のみ使用できる場合があります。



• PTZ映像の方向制御

⬆️を選択したあと、画面の上にマウスを置くと、方向キーが表示されます。方向キーをクリックして、方向の調整ができます。また、⊕を選択して、希望の方向にドラックしたら素早く移動できます。

• PTZ映像のズームイン

PTZ画面でマウスのスクロールホイールを利用して、映像のズームイン・ズームアウトができます。または、画面右側の⊕ / ⊖ を選択して映像をズームイン・ズームアウトできます。

• PTZプリセットの設定

⬆️を選択したあと、**プリセット**をクリックします。PTZリストでプリセットを選択して適用できます。

• PTZプリセット追加

1. ⬆️を選択したあと、**プリセット**をクリックします。
2. PTZリストで**追加**を選択します。
3. ポップアップウィンドウでプリセットNo.と名前を入力して、**適用**を選択します。

• PTZプリセット削除

1. ⬆️を選択したあと、**プリセット**をクリックします。
2. PTZリストで🗑️を選択します。

- **PTZスウィング制御**
 1. を選択したあと、**スウィング**をクリックします。
 2. リストから機能を選択します。(Pan/Tilt/PanTilt)
 3. **開始/中止**を選択して実行します。
- **PTZグループ制御**
 1. を選択したあと、**グループ**をクリックします。
 2. **開始/中止**を選択して実行します。
- **PTZツアー制御**
 1. を選択したあと、**ツアー**をクリックします。
 2. **開始/中止**を選択して実行します。
- **PTZトラッキング制御**
 1. を選択したあと、**トラッキング**をクリックします。
 2. **開始/中止**を選択して実行します。



参考

PTZ機能制御の際、プリセット項目に開始プリセット番号/終了プリセット番号が表示されます。
但し、Wisenet Viewerに接続された録画デバイスのファームウェアバージョンに応じてはプリセット番号が表示されない場合があります。

■ フォーカス設定

-  **近距離**
近くにフォーカスを設定します。
-  **遠距離**
遠くにフォーカスを設定します。
- **[AF] オートフォーカス**
自動的にフォーカスを設定します。



参考

オートフォーカス機能は、レコーダーに接続されたカメラの仕様により対応しない場合があります。

■ 映像の輝度/コントラスト設定

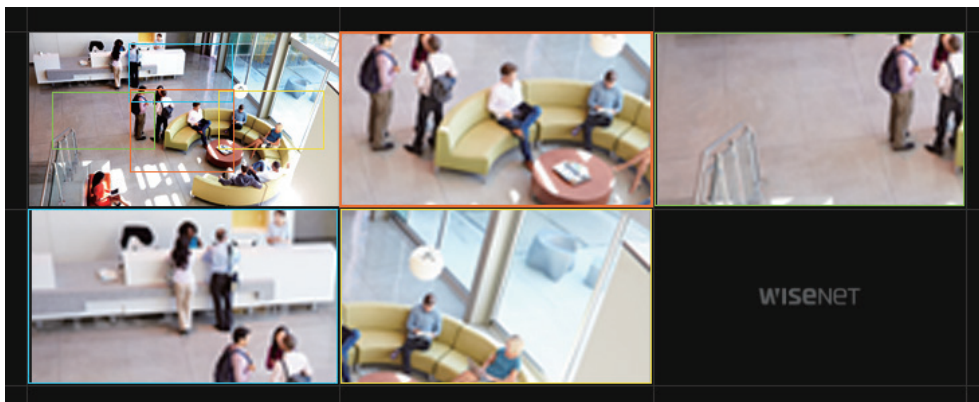


- **明るさ**
-/++を選択して映像の明るさを調節します。
- **コントラスト**
-/++を選択して映像のコントラストを調節します。
- **リセットする**
映像の明るさとコントラストを初期値で設定します。

■ クロップで画像をズームイン

[Q]を選択すると、空のタイルにズームインされた画面が表示されます。

1つの映像で[Q]を選択するたびに、クロップ映像が他のタイルに生成され続けます。クロップ映像が複数ある場合、映像に表示された色でクロップ映像を区別でき、一番最後に生成されたクロップ映像が画面の一番上に位置します。また、クロップ領域のサイズを調節して、ズームイン画面で確認できます。



■ ライブ映像の保存

[REC]を選択すると、PCの指定フォルダにライブ映像が保存されます。

[REC]をもう一度選択すると、映像の保存が終了され、画面の上段に**ビデオファイル保存済み**と表示されます。

- **フォルダーを開く**を選択すると、ファイルが保存されたフォルダを開けます。



参考

映像が保存されるフォルダの位置は、**設定 > システム > ローカル設定**で確認できます。

映像は、PCのマイドキュメントフォルダに<C:/User/user/Documents>自動的に保存されます。映像保存フォルダに関する詳細は、[ローカル録画ファイルの位置設定\(158ページ\)](#)を参照してください。

■ カメラ画像の保存

[📷]を選択すると、映像をキャプチャーしてpngファイルに保存します。

キャプチャーが完了したら、画面の上段に**イメージファイル保存済み**と表示されます。

- **フォルダーを開く**を選択すると、ファイルが保存されたフォルダを開けます。



参考

キャプチャーイメージが保存されるフォルダの位置は、**設定 > システム > ローカル設定**で確認できます。

■ マイクの使用

🎤を選択すると、該当チャンネルのマイクで音声を出力できます。



参考

- マイクを使用するには、登録されたレコーダーの**設定 > カメラ > チャンネル設定**画面でオーディオ項目を**オン**に設定してください。
- ユーザーがマイク制御権限のあるユーザーグループに属している場合にのみ、マイクを使用できます。
- PCが音声入力に対応しなかったり、該当チャンネルのカメラがマイク機能に対応しない場合、マイクを使用できません。

ショートカットメニューの使用

レイアウトタブで映像を監視したり再生する時、グリッドとタイルで利用できるショートカットメニューを説明します。

■ グリッドのショートカットメニューの使用

グリッドでショートカットメニューを設定すると、すべてのタイルに同じように適用されます。

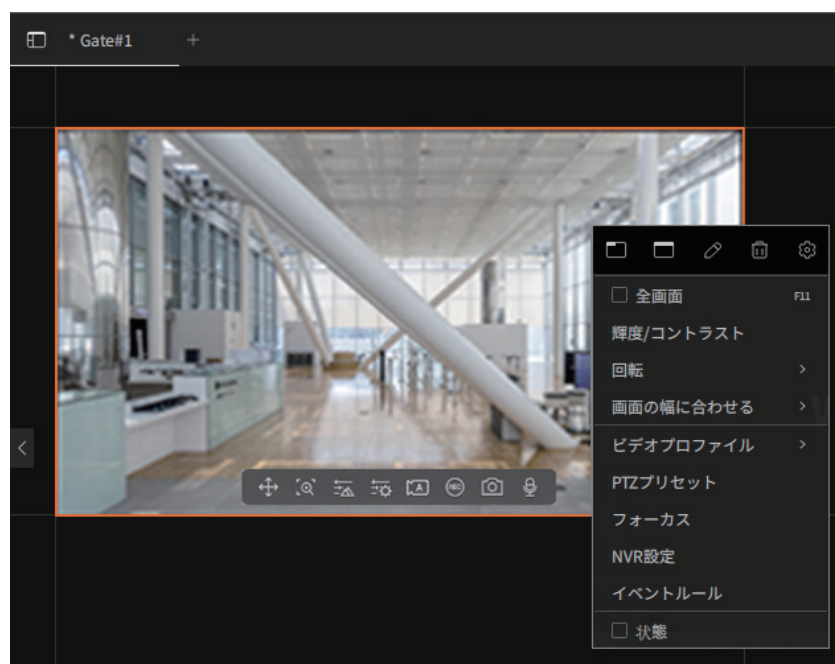


オート揃え	現在レイアウトのすべての映像を一目で確認できるよう、タイルのサイズを自動的に調整します。 グリッドの上でマウスのスクロールホイールを使用して映像をズームイン・ズームアウトすると、右上に Autofit ボタンが表示されます。オート揃え機能が設定された状態でマウスのスクロールホイールを使用し、映像をズームイン・ズームアウトすると、オート揃え機能は自動的に解除されます。 オート揃え機能を使用するには、キーボードのF5を押してください。
全画面	現在のレイアウトを全画面で見ることができます。 機能ボタンパネルで[]を選択して映像を全画面で見ることができます。 全画面モードを終了するには、キーボードのF11を押してください。
レイアウト保存	現在のレイアウトを保存できます。 レイアウトを保存するには、キーボードのCtrl + Sを押してください。
名前を付けてレイアウト保存	現在のレイアウトを名前を付けて保存できます。 レイアウトを違う名前で保存するには、キーボードのF12を押してください。
メディアファイルを開く	イメージや動画が保存されたフォルダからファイルをタイルに読み込みます。 メディアファイルを開くには、キーボードのCtrl + Oを押し、ファイルを選択してください。

ロック	現在のレイアウト設定を変更できないようにロック設定ができます。
画面の幅に合わせる	タイルの映像表示モードを選択できます。 ・映像サイズに合わせる：デバイスから受信される映像をタイルの比率に合わせて表示します。 ・映像比率固定：デバイスから受信される映像比率通りにタイルに表示します。
ビデオプロファイル	映像プログラムを選択できます。 ・オート：映像タイルのサイズによって自動的にプロファイルを変更して表示します。 ・メインプロファイル：映像のメインプロファイル設定で表示します。 ・サブプロファイル：映像のサブプロファイル設定で表示します。
グリッドの比率	タイルの映像比率を選択できます。
状態	タイルの映像情報を表示できます。

■ タイルのショートカットメニューの使用

個別タイルでショートカットメニューを使用できます。



全画面	選択したレイアウトを全画面で見ることができます。 機能ボタンパネルで[]を選択して映像を全画面で見ることができます。 全画面モードを終了するには、キーボードのF11を押してください。
輝度/コントラスト	映像の輝度/コントラストを調整したり初期値に設定できます。

回転	映像を回転させて見ることができます。 • タイルに割り当てられたチャンネルのFisheye歪み補正機能がアクティブ化された場合、回転メニューが表示されません。
画面の幅に合わせる	タイルの映像表示モードを選択できます。
ビデオプロファイル	映像プログラムを選択できます。
PTZプリセット	PTZプリセットを設定できます。 PTZプリセット登録に関する詳細は、PTZモード制御(77 ページ)を参照してください。 • タイルに割り当てられたチャンネルのFisheye歪み補正機能がアクティブ化された場合、PTZプリセットメニューが表示されません。
フォーカス	映像のフォーカスを設定できます。 映像のフォーカス設定に関する詳細は、フォーカス設定(78 ページ)を参照してください。
NVR設定	チャンネルアクティブ化、プロファイル設定など、チャンネル別に詳細設定ができます。 チャンネル設定に関する詳細は、チャンネル情報の変更(46 ページ)を参照してください。
イベントルール	現在適用されたイベントルールを確認・追加・削除することができます。 イベントルール設定に関する詳細は、イベントルールの追加(106 ページ)またはイベントルールの管理(112 ページ)を参照してください。
状態	タイルの映像情報を表示できます。

映像の確認

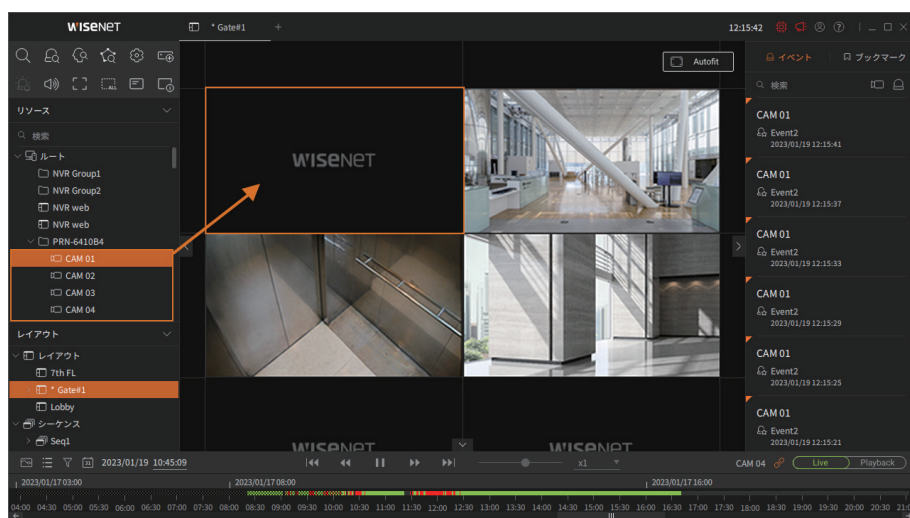
リソースツリーでチャンネルを選択、または保存されたレイアウトを選択してWisenet Viewerに登録されたチャンネルのライブ映像を監視したり録画映像を再生できます。また、PCに保存されたイメージや動画ファイルをレイアウトに追加して確認できます。

■ タイルアイコンの詳細

WISENET	該当タイルに映像が割り当てられなかった場合、表示されます。
	該当タイルに映像をロード中の場合、表示されます。
	デバイスでライブ映像が受信されない場合、表示されます。
	デバイスに保存された映像やPCに保存された映像が再生されない場合、表示されます。
	再生権限のない場合、表示されます。
	現在接続中のユーザー数が超過した場合、表示されます。
	デバイスとの接続が切れた時、表示されます。
	パスワードが設定されたメディアファイルを割り当てる場合、表示されます。パスワードを間違えて入力すると、映像が表示されません。

■ リソースツリーでチャンネルを選択して映像を確認する

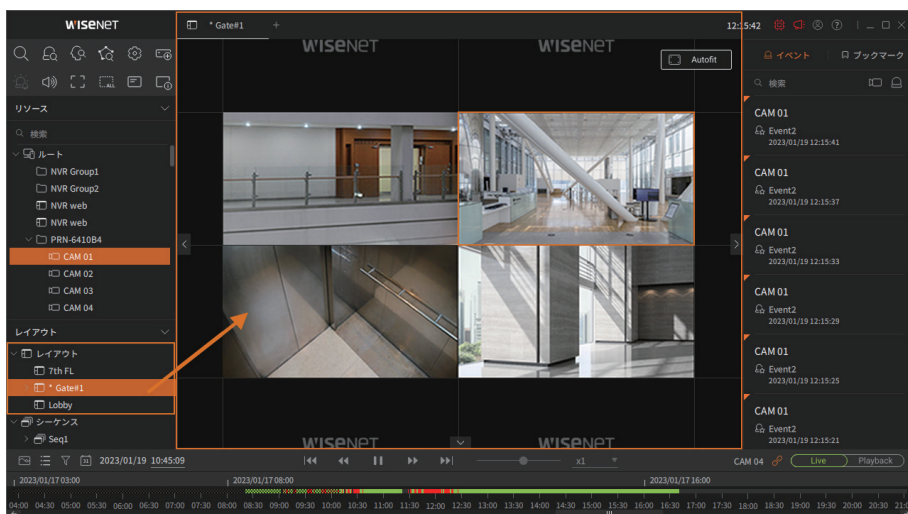
リソースツリーからチャンネルをドラッグしてタイルに追加し、映像を確認できます。



- チャンネルの割り当てに関する詳細は、[チャンネルの追加\(71 ページ\)](#)を参照してください。

■ レイアウトを選択して映像を確認する

レイアウトツリーで保存されたレイアウトをダブルクリックすると、レイアウトタブが開きます。グリッドでレイアウトに構成された複数のチャンネル映像を一目で確認できます。



■ 全画面で映像を確認する

機能ボタンパネルで[]を選択すると、選択したレイアウトを全画面で見ることができます。

- 全画面モードを終了するには、キーボードのF11を押すか、グリッド/タイルのショートカットメニューで全画面モードを解除してください。ショートカットキー使用に関する詳細は、[ショートカットキーの詳細\(29 ページ\)](#)を参照してください。

レイアウトの管理

監視者は使用目的や利便性に合わせて映像をレイアウトに設定して監視できます。また、レイアウトの設定を変更・保存でき、設定を変更できないようにロック機能で管理できます。

レイアウトロック機能の使用

レイアウトの映像タイルの位置を移動したり、タイルを削除または映像を割り当てるなど、設定を変更できないようにロック機能を使用できます。

■ レイアウトロック

1. レイアウトツリーのレイアウト項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**ロック**を選択します。



参考

- ロック機能が設定されると、グリッドの上段に**レイアウトがロックされました。**とメッセージ表示されます。
- レイアウトロック設定がされていると、レイアウトを保存できません。レイアウトを保存するには、まず、ロックを解除してください。

■ レイアウトロックの解除

1. レイアウトツリーのレイアウト項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**ロック解除**を選択します。

レイアウト名の変更

1. レイアウトツリーのレイアウト項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。
 - レイアウトを選択し、F2キーを押して名前を変更できます。
ショートカットキー使用に関する詳細は、[ショートカットキーの詳細\(29 ページ\)](#)を参照してください。
3. ポップアップウィンドウで名前を変更して**OK**ボタンを選択します。

レイアウトの保存

レイアウトのタイル構成や個別タイルのサイズを変更した場合、レイアウトタブを閉じるか、Wisenet Viewerを終了する前に変更されたレイアウトを保存してください。レイアウトの設定が変更されると、レイアウトの横に★と表示されます。

1. 現在のレイアウトから映像タイルの構成を変更します。
2. レイアウトツリーのレイアウト項目の上で右クリックします。
3. ショートカットメニューで**レイアウト保存**を選択します。



参考

- レイアウトタブのショートカットメニューで**レイアウト保存**を選択してもレイアウトを保存できません。
- 変更されたレイアウトを違う名前で保存するには、ショートカットメニューで**名前を付けてレイアウト保存**を選択します。

レイアウトの削除

1. レイアウトツリーのレイアウト項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューでボタンをクリックします。

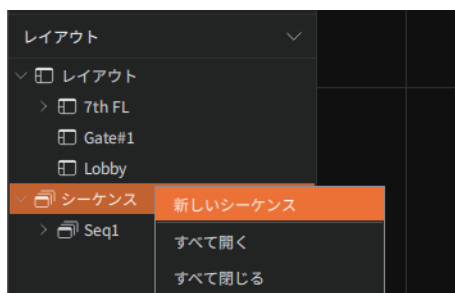
シーケンスの使用

定期的にモニタリングが必要な地点をレイアウトにまとめてシーケンスを設定できます。設定したシーケンスを実行すると、一定の時間間隔でレイアウトが自動的に切り替えられ、効果的にモニタリングできます。

シーケンスの設定

登録されたレイアウトを選択してシーケンスを設定できます。

1. レイアウトツリーのシーケンス項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで**新しいシーケンス**を選択します。



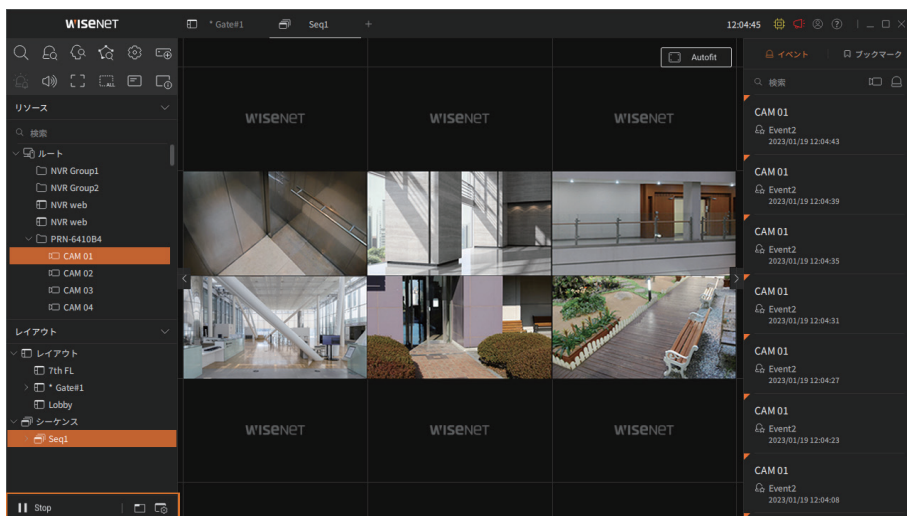
3. 新しいシーケンスのウィンドウが表示されたらシーケンス名を入力します。



4. ⊕を選択してレイアウトを追加し、間隔を設定します。
 - **レイアウト選択**: 登録されたレイアウトを選択します。
 - **間隔**: レイアウトリストの切り替え時間を設定します。5～60秒の範囲内で選択できます。
 - レイアウトを追加した順番にリストが切り替えされます。レイアウト手順を変更するには、右側のへ/✓を選択します。
 - ⊖を選択すると、該当レイアウトを削除できます。
5. OKボタンを選択します。

シーケンスの実行

レイアウトツリーのシーケンス項目からシーケンスを選択すると、新しいレイアウトタブでモニタリングできます。



- ▶ **Play:** 選択したシーケンスを再生します。
- || **Stop:** 再生中のシーケンスを停止します。
- 📄 **新しいタブで開く:** 選択したシーケンスを新しいタブで再生します。
- ⚙️ **シーケンス編集:** 選択したシーケンスのレイアウトや間隔を変更できます。



参考

- シーケンスが実行されるレイアウトタブでは、チャンネルを追加したり位置の変更ができないようにレイアウトをロックしています。シーケンスに含まれたレイアウトを修正するには、該当レイアウトを変更したあと、シーケンスの 設定をし直してください。
- シーケンスのレイアウト映像では、画面制御メニュー、グリッド及びタイルのショートカットメニューのうち一部の機能が使用できません。

シーケンスの編集

設定されたシーケンスのレイアウトリストや間隔を変更できます。

1. レイアウトツリーの下にあるシーケンス制御メニューで  を選択します。
2. シーケンス編集ウィンドウで情報を変更します。



3. OKボタンを選択します。

シーケンス名の変更

1. レイアウトツリーのシーケンス項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。
 - シーケンスを選択し、F2キーを押して名前を変更できます。
ショートカットキー使用に関する詳細は、[ショートカットキーの詳細\(29 ページ\)](#)を参照してください。
3. ポップアップウィンドウで名前を変更してOKボタンを選択します。

シーケンスの削除

1. レイアウトツリーのシーケンス項目の上で右クリックします。
2. ショートカットメニューで  ボタンをクリックします。

ユーザー設定

Wisenet Viewerでユーザーグループを追加したり、ユーザーグループの権限を設定できます。また、登録されたユーザー/グループ情報を修正したり削除でき、LDAP(Lightweight Directory Access Protocol)サーバーに接続してユーザーを追加できます。

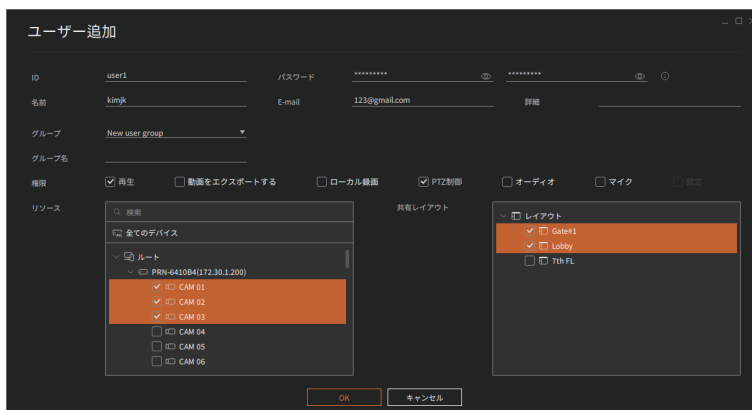
ユーザー追加

ユーザー情報を入力してアカウントを追加できます。

1. 機能ボタンパネルで $\odot$ ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー** > **ユーザーリスト**を選択します。
 - 設定ホーム画面の下段にある**ユーザー追加**を選択すると、ユーザー追加ウィンドウにすぐ移動できます。
3. **追加する**を選択します。



4. **ユーザー追加**ウィンドウが表示されたら、ユーザー情報を入力します。



- **ID:** ユーザーIDを入力します。
- **パスワード:** パスワードを入力します。
- **名前:** ユーザーの名前を入力します。
- **E-mail:** ユーザーのE-mailアドレスを入力します。
- **詳細:** ユーザーに関する説明を入力します。
- **グループ:** ユーザーを登録するグループを選択します。ユーザーグループ追加に関する詳細は、[ユーザーグループ追加\(94 ページ\)](#)を参照してください。
 - **New user group**を選択すると、新しいグループを追加してグループ名の設定とユーザー登録ができます。新しいグループを追加する場合、権限、リソースまたは共有レイアウトを選択できます。
- **グループ名:** 選択したグループ名が表示されます。
- **権限:** 選択したグループの使用権限が表示されます。
 - **再生:** グループのユーザーが保存された録画映像を検索・再生できます。
 - **動画をエクスポートする:** グループのユーザーが検索した録画映像をPCにファイルで保存できます。再生項目を選択しないと動画エクスポート権限の選択ができません。
 - **ローカル録画:** グループのユーザーがライブ映像を保存できます。
 - **PTZ制御:** グループのユーザーがライブ映像のPTZモードを制御できます。
 - **オーディオ:** グループのユーザーが音響を制御できます。
 - **マイク:** グループのユーザーがマイクを制御できます。
 - **設定:** システムを設定できる権限で、管理者グループのみ使用できます。
- **リソース:** グループのユーザーがアクセスできるリソースリストが表示されます。グループに属するユーザーは、選択されたリソースにのみアクセスできます。
- **共有レイアウト:** グループのユーザーがアクセスできるレイアウトリストが表示されます。グループに属するユーザーは、選択されたレイアウトにのみアクセスできます。

**参考**

既に登録されているグループにユーザーを追加する場合、追加されたユーザーは該当グループと同じ権限、リソース、共有レイアウトで設定されます。

5. OKボタンを選択します。**参考**

adminアカウントは基本的に提供される管理者権限で、IDとグループ、権限は変更できません。

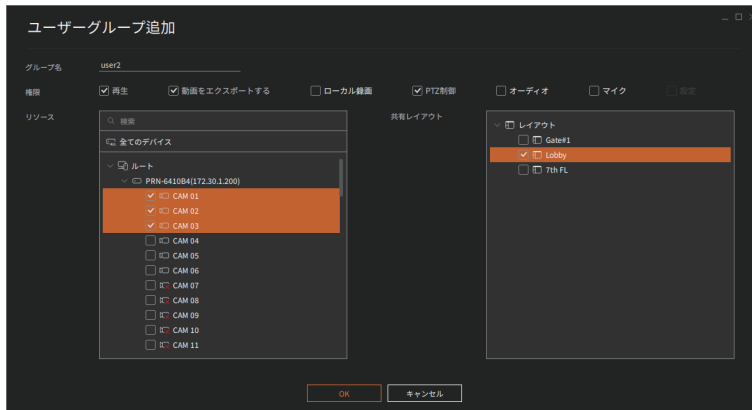
ユーザーグループ追加

ユーザーグループを追加できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー > ユーザーグループ**を選択します。
 - 設定ホーム画面の下段にある**ユーザーグループ追加**を選択すると、ユーザーグループ追加ウィンドウにすぐ移動できます。
3. **追加する**を選択します。



4. ユーザーグループ追加ウィンドウが表示されたら、グループ情報を選択します。



- **グループ名:** グループ名を入力します。

- **権限:** グループの使用権限を選択します。グループに属するユーザーは権限が付与されたメニューのみ使用でき、グループに割り当てられたすべてのユーザーは同じアクセス権限が付与されます。
 - **再生:** グループのユーザーが保存された録画映像を検索・再生できます。
 - **動画をエクスポートする:** グループのユーザーが検索した録画映像をPCにファイルで保存できます。
 - **ローカル録画:** グループのユーザーがライブ映像を保存できます。
 - **PTZ制御:** グループのユーザーがライブ映像のPTZモードを制御できます。
 - **オーディオ:** グループのユーザーが音響を制御できます。
 - **マイク:** グループのユーザーがマイクを制御できます。
 - **設定:** システムを設定できる権限で、管理者グループのみ使用できます。
- **リソース:** グループのユーザーがアクセスできるリソースリストが表示されます。
 - **全てのデバイス**を選択すると、Wisenet Viewerに登録されるすべてのデバイスにアクセスできます。
- **共有レイアウト:** グループのユーザーがアクセスできるレイアウトリストが表示されます。

5. **OK**ボタンを選択します。



参考

権限のマイク機能を使用するには、登録されたレコーダーの**設定 > カメラ > チャンネル設定**画面でオーディオ項目を**オン**に設定してください。マイク機能がアクティブ状態になると、映像タイルにが表示されます。

ユーザー及びグループの管理

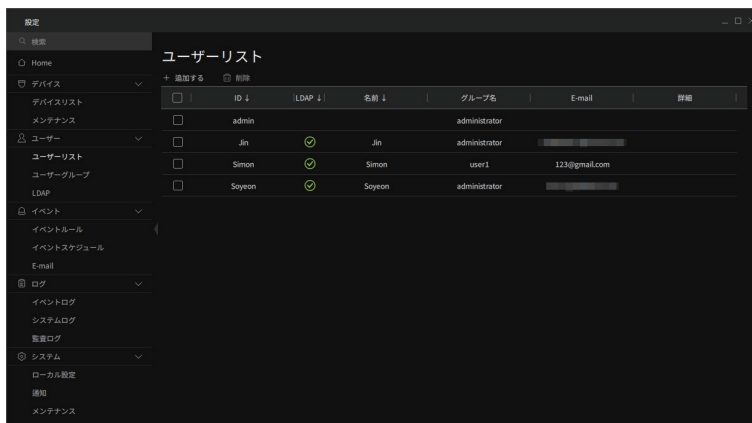
登録されたユーザー/グループ情報を変更・削除できます。

ユーザー/グループリストの確認

登録されたユーザーやユーザーグループを確認できます。

■ ユーザーリストの確認

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー** > **ユーザーリスト**を選択します。
3. 登録されたユーザーリストが表示されます。



- 登録されたユーザー情報を確認できます。リストのカラム上段をクリックすると、昇順/降順に自動ソートされます。
- **ID**: ユーザーIDを表示します。
- **LDAP**: LDAPサーバーから持ってきた情報で登録されたユーザーの場合、LDAP項目にアイコンが表示されます。
- **名前**: ユーザーの名前を表示します。
- **グループ名**: ユーザーが属するグループ名を表示します。
- **E-mail**: ユーザーのE-mailアドレスを表示します。
- **詳細**: ユーザーが登録時に入力した詳細説明を表示します。

■ ユーザーグループリストの確認

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー > ユーザーグループ**を選択します。
3. 登録されたユーザーグループリストが表示されます。



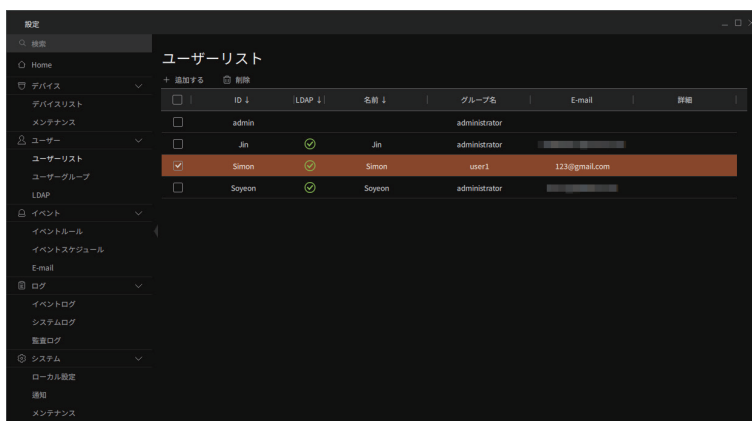
- 登録されたユーザーグループを確認できます。リストのカラム上段をクリックすると、昇順/降順に自動ソートされます。
- **ユーザーグループ:** ユーザーグループ名を表示します。
- **権限:** ユーザーグループに付与された詳細権限を表示します。
 - 詳細権限をすべて選択すると、**全権限**が表示され、特定の権限を選択時には、該当アイコンが表示されます。
 - : グループのユーザーが保存された録画映像を検索・再生できます。
 - : グループのユーザーが検索した録画映像をPCにファイルで保存できます。
 - : グループのユーザーがライブ映像を保存できます。
 - : グループのユーザーがライブ映像のPTZモードを制御できます。
 - : グループのユーザーが音響を制御できます。
 - : グループのユーザーがマイクを制御できます。
- **リソース:** ユーザーグループがアクセスできるリソース項目を表示します。
 - ルートに登録されたすべてのデバイスを選択すると、**全てのデバイス**が表示され、特定のチャンネルを選択すると、選択したチャンネル数が表示されます。
- **レイアウト:** ユーザーグループがアクセスできるレイアウト項目を表示します。
 - レイアウトの1つを選択すると、選択したレイアウト名が表示され、複数を選択するとレイアウト数が表示されます。

ユーザー/グループ情報の変更

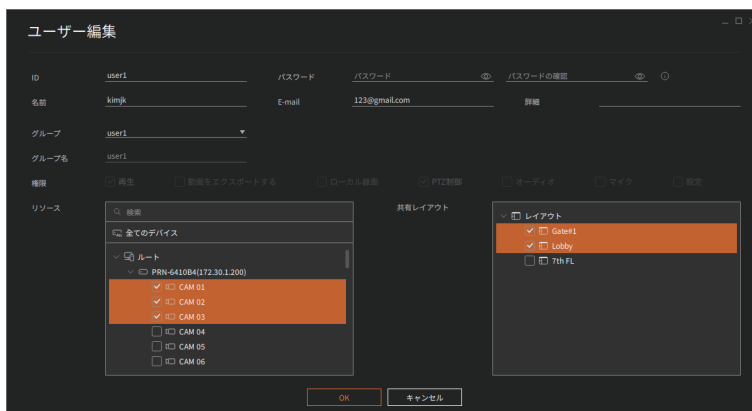
登録されたユーザーやユーザーグループ情報を変更できます。

■ ユーザー情報の変更

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー** > **ユーザーリスト**を選択します。
3. ユーザーリストから ユーザーをダブルクリックします。



4. **ユーザー編集**ウィンドウが表示されたら、情報を変更します。



- グループ項目で、該当ユーザーのユーザーグループを変更できます。
New user groupを選択すると、新しいグループを追加してグループ名の設定とユーザー登録ができます。新しいグループを追加する場合、権限、リソースまたはレイアウトを選択できます。
 - パスワード項目を入力しないと変更事項が保存されません。
 - ユーザー追加に関する詳細は、[ユーザー追加\(92 ページ\)](#)を参照してください。
5. **OK**ボタンを選択します。



参考

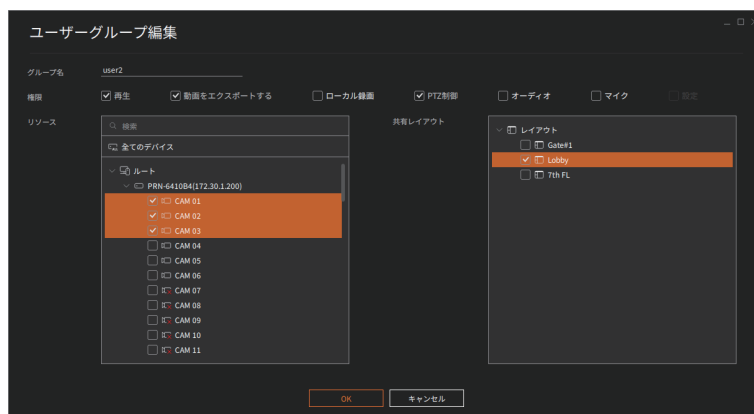
adminアカウントは、すべての機能を使用できる管理者アカウントです。グループ、リソース、レイアウト項目は設定できず、パスワード、名前、説明項目のみ変更できます。

■ ユーザーグループ情報の変更

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー > ユーザーグループ**を選択します。
3. ユーザーグループリストでグループをダブルクリックします。



4. **ユーザーグループ編集**ウィンドウが表示されたら、情報を変更します。



- ユーザーグループ追加に関する詳細は、[ユーザーグループ追加\(94 ページ\)](#)を参照してください。

5. **OK**ボタンを選択します。



参考

administrator グループは、すべての機能を使用できるため、別途にグループ権限を変更できません。

ユーザー/グループの削除

登録されたユーザーやユーザーグループを削除できます。

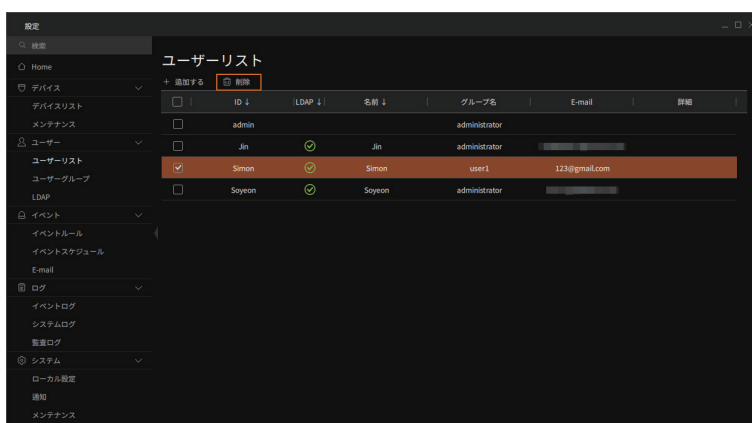


参考

adminアカウントやadministratorグループは削除できません。

■ ユーザー削除

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー** > **ユーザーリスト**を選択します。
3. ユーザーを選択したあと、**削除**を選択します。



4. 削除の確認ウィンドウが表示されたら、**OK**ボタンを選択します。
 - 画面の右上に削除結果が表示されます。

■ ユーザーグループ削除

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ユーザー > ユーザーグループ**を選択します。
3. ユーザーグループを選択した後、**削除**を選択します。



4. 削除の確認ウィンドウが表示されたら、**OK**ボタンを選択します。

- 画面の右上に削除結果が表示されます。



参考

ユーザーグループを削除すると、グループに含まれたユーザー情報も一緒に削除されます。

LDAPの使用

LDAP(Lightweight Directory Access Protocol)は、ネットワーク上でユーザー、ファイルまたはデバイス情報をツリー状の構造で保存して検索できるディレクトリサービスのことで、中央で特定のデータを一括管理する場合に使用します。

Wisenet Viewerでは、LDAPサーバーから既存のユーザー情報を持ってきてユーザーの役割やアクセス権限を指定できます。



参考

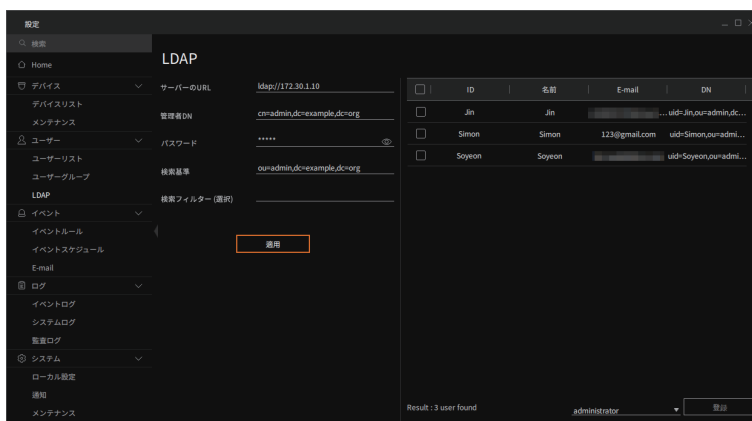
Wisenet Viewerで接続できるLDAPサーバーは次の通りです。

- Microsoft Active Directory
- Open LDAP Server

LDAPサーバーの接続

LDAPサーバー情報を入力してWisenet Viewerとサーバーを接続させられます。

1. 機能ボタンパネルで $\odot$ ボタンを選択します。
2. **設定** ウィンドウが表示されたら、**ユーザー** > **LDAP**を選択します。
3. **LDAP**ウィンドウが表示されたら、接続するLDAPサーバー情報を入力します。



- **サーバーのURL:** LDAPサーバーのURLを入力します。
 - **管理者DN:** LDAPサーバー管理者アカウントのDN(Distinguished Name)を入力します。
 - **パスワード:** LDAPサーバー管理者アカウントのパスワードを入力します。
 - **検索基準:** LDAPサーバーからユーザー情報を持ってくるグループのDNを入力します。
 - **検索フィルター (選択):** 属性値を指定すると、LDAPサーバーのユーザー検索結果に反映されて表示されます。
4. **適用**ボタンを選択します。

5. サーバー接続結果ウィンドウが表示されたら、**OK**ボタンを選択します。

- サーバー接続に成功したら結果ウィンドウに、サーバーに登録されてるユーザー数が表示されます。
- サーバー接続に失敗する場合、結果ウィンドウに失敗メッセージが表示されます。



参考

LDAPサーバー情報が変更されると、既存に登録されたLDAPユーザーのID情報が全て削除されます。

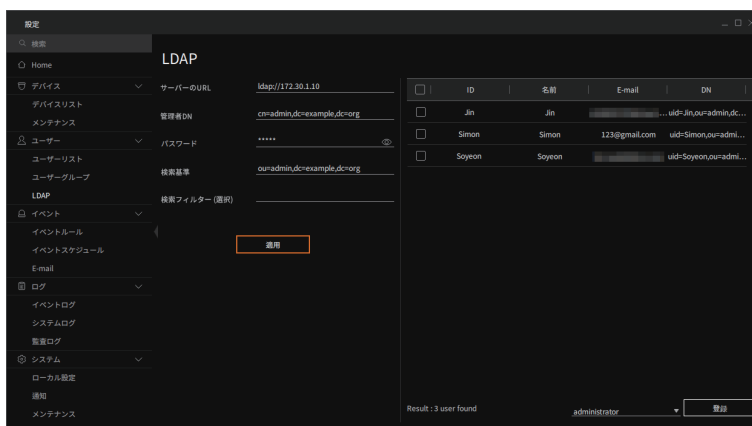
- LDAPユーザーがログインした状態で、LDAPサーバー情報を変更すると、既存ID情報の削除通知ポップアップウィンドウが表示されます。LDAPユーザーたちは、次回のログインから新しく登録されたLDAP IDで接続しなければなりません。

LDAPユーザーの追加

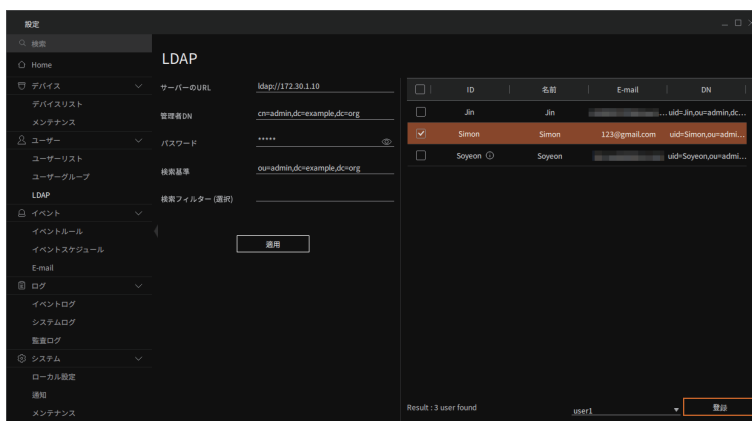
LDAPサーバーに登録されたユーザーをWisenet Viewerのユーザーに追加できます。ユーザーは、LDAP IDとパスワードでWisenet Viewerにログインできます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. **設定** ウィンドウが表示されたら、**ユーザー** > **LDAP**を選択します。
3. ユーザー情報を持ってくるLDAPサーバー情報を入力します。
4. **適用**ボタンを選択します。

サーバーに接続されると、ユーザー情報が右側に表示されます。



5. ユーザーリストからWisenet Viewerに登録するユーザーを選択します。



- **ID:** ユーザーのID情報が表示されます。
- **名前:** ユーザーの名前が表示されます。
- **E-mail:** ユーザーのE-mailが表示されます。
- **DN:** ユーザーのDN(Distinguished Name)が表示されます。
- 画面下部のリストから登録するユーザーグループを選択します。

6. **登録**ボタンを選択します。



参考

Wisenet Viewerに同じIDのユーザーが既に登録されていたり、同じユーザーを再登録する場合、ユーザー名の横に①が表示されます。

- 同じユーザーを再度登録する場合、ユーザー情報の上書き確認ウィンドウが表示されます。

イベント監視

映像とデバイスで発生した変化を検知し、事前に設定されたイベントが発生すると、監視者にアラーム音のような様々なイベントアクションでイベント状況を通知します。イベントはリアルタイムで確認でき、録画映像を条件に合わせて検索できます。このようなイベントは、目的に合わせて事前にルールを設定しておく、効率的に映像を監視できます。

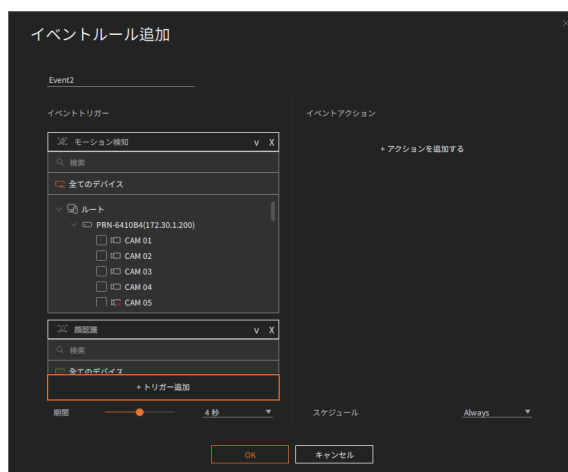
イベントルールの追加

Wisenet Viewerで使用するイベントルールを追加できます。デバイスに登録したイベントトリガーが検知されたら、イベントアクションでイベント発生を確認できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**イベント > イベントルール**を選択します。
 - 設定ホーム画面の下段にある**イベントルール追加**を選択すると、イベントルール追加ウィンドウにすぐ移動できます。
3. **追加する**を選択します。

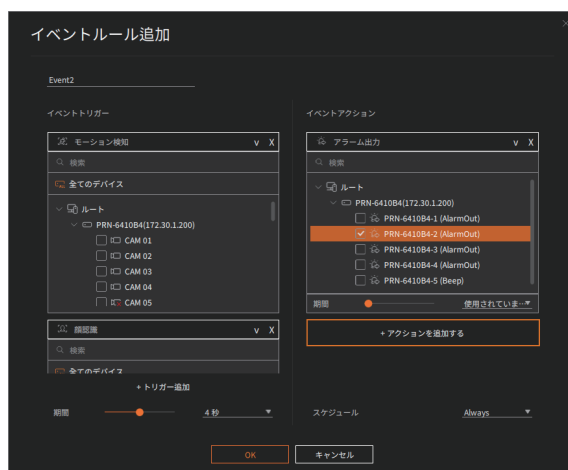


4. イベントルール追加ウィンドウが表示されたら、トリガー追加を選択します。



- イベントトリガーは、最大3つまで選択できます。
- イベントトリガー別に検知するデバイスを選択できます。
 - **検索:** 検索したい名前を入力すると、ルートに該当項目のみ表示されます。
 - **全てのデバイス:** ルートに登録されるすべてのデバイスのイベントを検知できます。
 - **ルート:** 登録されたデバイスの中からイベントトリガーを検知するデバイス/チャンネルを選択します。選択したイベントトリガーによって、ルートに表示される項目が異なります。
- イベントトリガーを2つ以上選択すると、**期間**項目でイベント発生間隔を設定できます。イベント発生間隔は最低3秒で、設定した時間内に選択したトリガーがすべて検知されないとイベントが発生しません。
- 各イベントトリガーに関する詳細は、[イベントトリガーの詳細\(109 ページ\)](#)を参照してください。

5. イベントアクション項目でアクションを追加するを選択します。



- 選択したイベントトリガーが検知されたら、実行するアクションを選択します。イベントアクションは、最大2つまで選択できます。
 - **アラーム出力**：アラームの発生持続時間を設定できます。
 - **優先通知**：優先通知イベントを発生させるチャンネルを選択できます。
 - **レイアウトを開く**：イベント発生時に表示するレイアウトを選択できます。
 - **E-mail**：イベントの発生時にイベント発生履歴を受信するE-mailアドレスを選択できます。
- イベントアクションに関する詳細は、[イベントアクションの詳細\(111 ページ\)](#)を参照してください。
- イベントトリガーの検知時に動作が実行されるスケジュールを選択します。イベントスケジュールに関する詳細は、[イベントスケジュールの設定\(115 ページ\)](#)を参照してください。

6. OKボタンを選択します。



参考

Wisenet Viewerのイベントルールを使用するには、接続されたレコーダーのイベントルールを有効に設定しなければなりません。

イベントトリガーの詳細

デバイス別に登録できるイベントトリガーを確認できます。



項目	詳細
アラーム入力	接続されたレコーダーにアラームが入力されたらイベントが発生します。
アラーム入力(カメラ)	接続されたカメラにアラームが入力されたらイベントが発生します。
オーディオ分析	オーディオ分析が検知されると、イベントが発生します。
オーディオ検知	レコーダーに接続されたカメラに設定したレベル以上のオーディオが検知される時にイベントが発生します。
焦点ぼけ検知	レコーダーに接続されたカメラレンズのフォーカスのぼやけを検知したらイベントが発生します。
デバイスのファン状態	レコーダーのファンが正常動作しない場合、イベントが発生します。
デバイスの電源状態	レコーダーの電源が復旧された場合、イベントが発生します。
デバイスの録画エラー状態	レコーダーで録画が正常動作しない場合、イベントが発生します。
デバイスのディスク状態	レコーダーのハードディスクに問題が発生すると、イベントが発生します。
デバイス接続	レコーダーが接続されるとイベントが発生します。
デバイスが切断されました	レコーダーの接続が解除されると、イベントが発生します。
顔認識	レコーダーに接続されたカメラの映像に人の顔が検知されると、イベントが発生します。
ファームウェア	システムアップデートができるソフトウェアが検知されると、イベントが発生します。
霧検知	レコーダーに接続されたカメラが曇ったり悪い天気の影響が検知されると、イベントが発生します。

項目	詳細
モーション検知	レコーダーに接続されたカメラで設定したエリア内でのモーションが検知されると、イベントが発生します。
過負荷	ネットワーク接続が不安定だったり接続が切れると、イベントが発生します。
不正操作	レコーダーに接続されたカメラの映像が遮られたり、カメラの位置が変更されると、イベントが発生します。
オートトラッキング	動く対象物がトラッキングされると、イベントが発生します。
映像分析	映像分析が検知されると、イベントが発生します。
ビデオロス	レコーダーでカメラの映像を受信できない時、イベントが発生します。
Queue	レコーダーに接続されたカメラに待機熱が検知されると、イベントが発生します。
Queue.Level.Medium	レコーダーに接続されたカメラに滞在人数が中レベルのキューが検知されると、イベントが発生します。
Queue.Level.High	レコーダーに接続されたカメラに滞在人数が高レベルのキューが検知されると、イベントが発生します。
Object Detection.Person	レコーダーに接続されたカメラに人が検知されると、イベントが発生します。
Object Detection.Vehicle	レコーダーに接続されたカメラに車両が検知されると、イベントが発生します。
Object Detection.Face	レコーダーに接続されたカメラに顔が検知されると、イベントが発生します。
Object Detection. LicensePlate	レコーダーに接続されたカメラにナンバープレートが検知されると、イベントが発生します。
Digital Auto Tracking	レコーダーに接続されたカメラの映像に動く特定の対象物がオートトラッキングされると、イベントが発生します。
Shock Detection	レコーダーに接続されたカメラに衝撃や振動、物理的な位置の変化が検知されると、イベントが発生します。

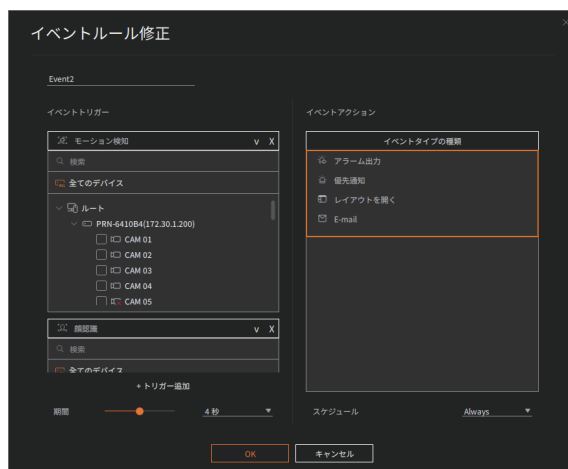


参考

Dynamic event項目は、レコーダーに接続されたカメラの仕様により異なる場合があります。

イベントアクションの詳細

デバイス別に設定できるイベントアクションを確認できます。



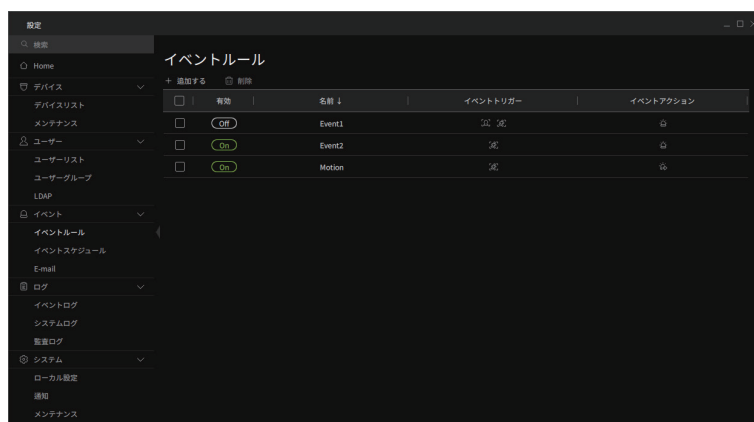
項目	詳細
アラーム出力	イベントトリガーが検知されると、設定期間中にデバイスからアラームが発生します。 アラーム出力を選択するとWisenet Viewerでイベント発生履歴を確認でき、Beep(アラーム音)に対応するデバイスでは、イベントトリガーが検知されたらアラーム音が発生します。 アラーム出力の設定時に期間項目を設定できます。使用されていませんに設定すれば、アラームが発生せず、5~30秒、連続の中から設定できます。
優先通知	イベントトリガーが検知されると、選択したチャンネルで優先通知イベントが発生します。 優先通知を指定したイベントが発生すると、イベントタブの上段に優先通知イベントが表示されます。 優先通知イベントアクションに関する詳細は、優先通知イベント(121 ページ)を参照してください。
レイアウトを開く	イベントトリガーが検知されると、選択したレイアウトがライブ画面に表示されます。
E-mail	イベントトリガーが検知されたら選択したユーザーのE-mailにイベント発生履歴を通知します。

イベントルールの管理

登録したイベントルールの有効可否を設定・削除できます。

イベントルールの確認

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**イベント > イベントルール**を選択します。
3. 登録されたイベントルールリストを確認します。



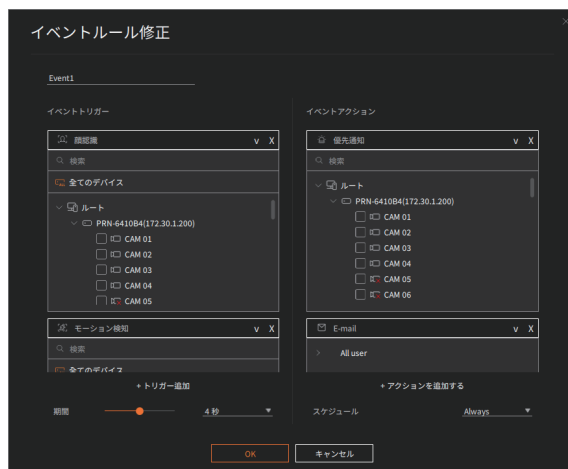
- リストのカラム上段をクリックすると、昇順/降順に自動ソートされます。
- **有効**: 登録したイベントルールの有効可否を選択します。
- **名前**: イベントルール名を表示します。
- **イベントトリガー**: イベントルールのイベントトリガータイプを表示します。
- **イベントアクション**: イベントルールのイベントアクションタイプを表示します。

イベントルールの変更

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、イベント > イベントルールを選択します。
3. イベントルールリストで希望する項目を選択します。



4. イベントトリガーとイベントアクションを変更します。



5. OKボタンを選択します。

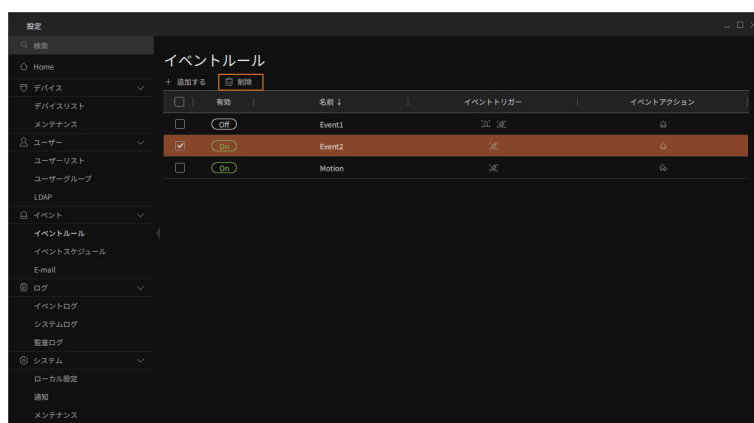
イベントルールの解除

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、イベント > イベントルールを選択します。
3. 解除したいイベントを選択したあと、有効項目をOffに選択します。



イベントルールの削除

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、イベント > イベントルールを選択します。
3. 削除したいイベントを選択したあと、削除を選択します。



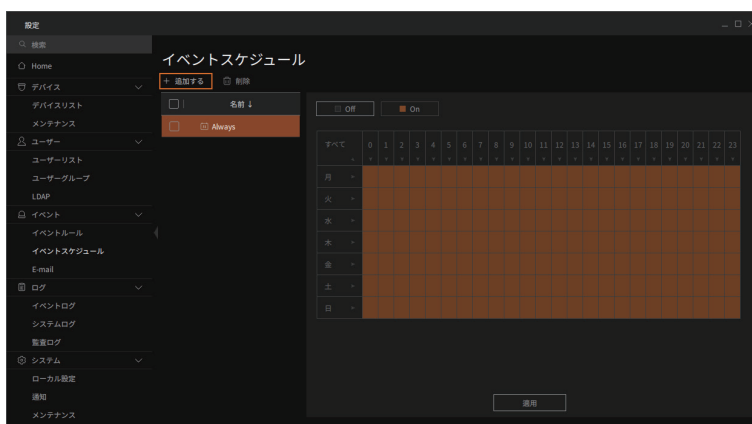
4. 削除の確認ウィンドウが表示されたら、OKボタンを選択します。
 - 今後確認しないをチェックすると、以降のイベント削除時に確認ウィンドウが表示されません。但し、Wisenet Viewerを再起動したら、削除の確認ウィンドウが再び表示されます。
 - 画面の右上に削除結果が表示されます。

イベントスケジュールの設定

イベントルール設定時、イベント動作の実行時間を設定できます。

イベントスケジュールの設定

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、イベント > イベントスケジュールを選択します。
3. 追加するを選択します。



4. イベントスケジュール追加ウィンドウが表示されたら、OKボタンを選択します。
5. イベントスケジュールがリストに表示されたら、Off/On項目を選択して、イベント動作が実行される曜日と時間をマウスでドラッグして選択します。

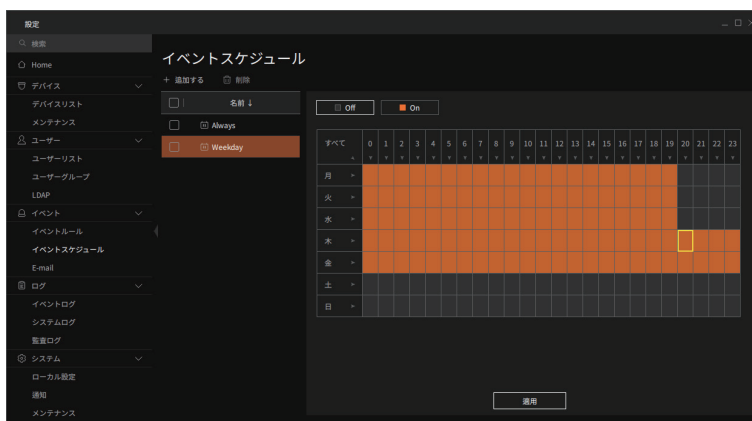


- **Off:** Offを選択してドラッグすると、選択したセルがグレーに表示されます。Offを選択した時間には、イベントが発生してもイベント動作が実行されません。
- **On:** Onを選択してドラッグすると、選択したセルがオレンジに表示されます。Onに選択した時間にイベントが発生すると、設定したイベント動作が実行されます。
- スケジュール設定表の時間、曜日を選択すると、該当する時間と曜日のセルがOn/Offに変更されます。設定表の左側の**すべて**を選択すると、すべてのセルがOn/Offに変更されます。

6. 適用ボタンを選択します。

イベントスケジュールの変更

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**イベント > イベントスケジュール**を選択します。
3. イベントスケジュールリストから希望する項目を選択します。
4. イベントスケジュールを変更します。



5. 適用ボタンを選択します。

イベントスケジュール名の変更

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**イベント > イベントスケジュール**を選択します。
3. イベントスケジュールリストから希望する項目をダブルクリックします。
4. **イベントスケジュール編集**のウィンドウが表示されたら、名前を変更します。
5. **OK**ボタンを選択します。

イベントスケジュールの削除

1. 機能ボタンパネルでボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**イベント > イベントスケジュール**を選択します。
3. イベントスケジュールリストから希望する項目を選択します。
4. **削除**を選択します。
 - **Always** 項目は、Wisenet Viewerの基本設定であるため、変更や削除ができません。
5. 削除の確認ウィンドウが表示されたら、**OK**ボタンを選択します。



参考

使用中のイベントスケジュールは削除できません。イベントスケジュールを削除するには、まず使用中のイベントルールから該当スケジュールを解除してください。

E-mailの設定

イベントが発生したらWisenet Viewerに登録されたユーザーに履歴をメールで発送できます。

SMTPの設定

E-mail発送のためのSMTPを設定できます。

■ Gmailアカウントの設定

1. **Google > Googleアカウント > セキュリティメニュー**を選択します。(https://myaccount.google.com/security)
2. セキュリティ画面で、**2段階認証プロセス > 2段階ログインに携帯電話を使用**を選択して認証を進めます。
3. 2段階認証設定が完了したら、**アプリのパスワード**を選択したあと、アプリ選択項目から**その他のイベント(カスタマイズ名)**を選択します。名前の入力欄に**Smtp Client**と入力して**生成**ボタンを選択します。
4. アプリのパスワード欄が表示されたら、生成された16桁のパスワードを確認し、**OK**を選択します。
 - 機器用アプリのパスワードは、Wisenet ViewerでSMTPログイン時に入力するパスワードです。
発行されたパスワードを忘れないように記録してください。

E-mail転送の確認

設定したメールアカウントにテストメールを送信できます。

1. 機能ボタンパネルでボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**イベント > E-mail**を選択します。

3. SMTPサーバーアドレス、認証可否などのSMTP情報を入力します。

- **サーバーアドレス:** 接続するSMTPサーバーアドレスを入力します。
- **認証:** SMTPサービスのユーザー認証可否を設定します。**有効**を選択すると、IDとパスワード入力欄がアクティブ状態になります。
 - **ID:** SMTP設定したメールアカウントのIDを入力します。
 - **パスワード:** 設定したSMTPサーバーの接続パスワードを入力します。Gmailユーザーは、アプリのパスワード16桁を入力してください。
- **ポート:** 接続ポートを入力します。
- **発信者:** メールを送るユーザーのE-mailアドレスを入力します。
- **テスト:** テストメールを受信するアドレスを入力し、**送信**ボタンを選択します。E-mail送信後、テスト結果が送信ボタンの右側に表示されます。
- **伝送間隔:** メールの伝送間隔を設定します。設定できる伝送間隔は、最小5秒～最大60分です。設定したイベントが発生するたびに、設定した間隔に従ってメールが送信されます。伝送間隔を短くしすぎると、各メールサービスプロバイダ(Gmail, Naverなど)の送信限度によってメールの送信が制限される場合があります

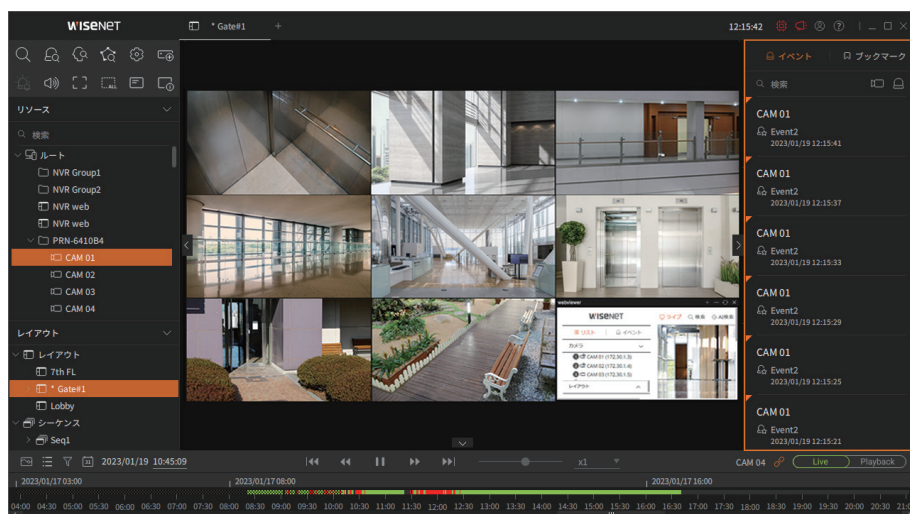
4. 適用ボタンをクリックします。

リアルタイムイベント監視

Wisenet Viewerに登録されたデバイスで発生するリアルタイムイベントをイベントタブで確認できます。

イベントの確認

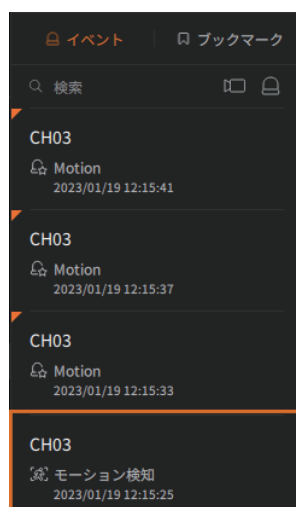
接続されたデバイスでリアルタイムイベントが発生すると、イベントタブでイベント情報を確認・再生できます。



■ 通常イベント

事前に設定されたイベントルールによって発生するリアルタイムイベント情報を確認できます。イベントタブには、チャンネル名とイベントタイプ、発生時間が表示されます。

イベントをダブルクリックすると、現在監視しているチャンネルでイベント映像をすぐに再生できます。



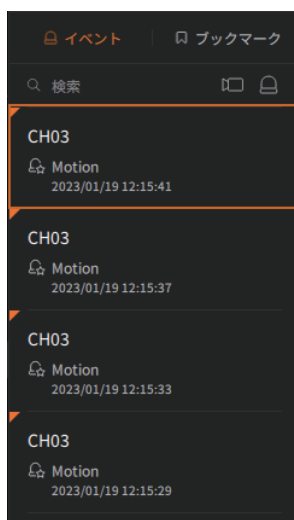
■ 優先通知イベント

優先通知イベントが発生すると、イベントタブの最上段に該当イベントが表示されます。

イベントタブには、チャンネル名と登録したイベントルート名、発生時間が表示され、設定されたイベントフィルターとは関係なく常に表示されます。

イベントをダブルクリックすると、現在監視しているチャンネルでイベント映像をすぐに再生できます。映像を再生して確認した優先通知イベントは、通常イベントと一緒に時間順に自動ソートされます。

- 優先通知イベント発生時にイベントタブが閉じられていると、機能ボタンパネルの  がアクティブ化されます。



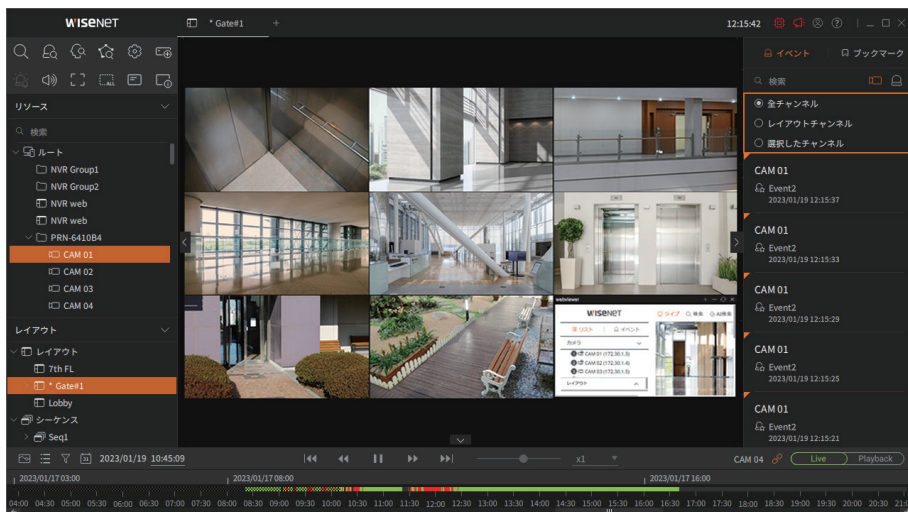
参考

- イベントタブでマウスの右ボタンをクリックすると、以下のショートカットメニューを使用できます。
 - イベント検索:** 選択したチャンネルのイベントのみ検索できます。
 - リスト全部削除:** イベントタブに表示されたすべてのイベントリストを削除できます。
- 優先通知イベント設定に関する詳細は、[イベントルールの追加\(106 ページ\)](#)を参照してください。

デバイス別に検索

イベントタブに表示されるリアルタイムイベントをデバイス別に検索できます。

- イベントタブの検索ウィンドウにデバイスやチャンネル名を入力し、リアルタイムイベントを検索できます。

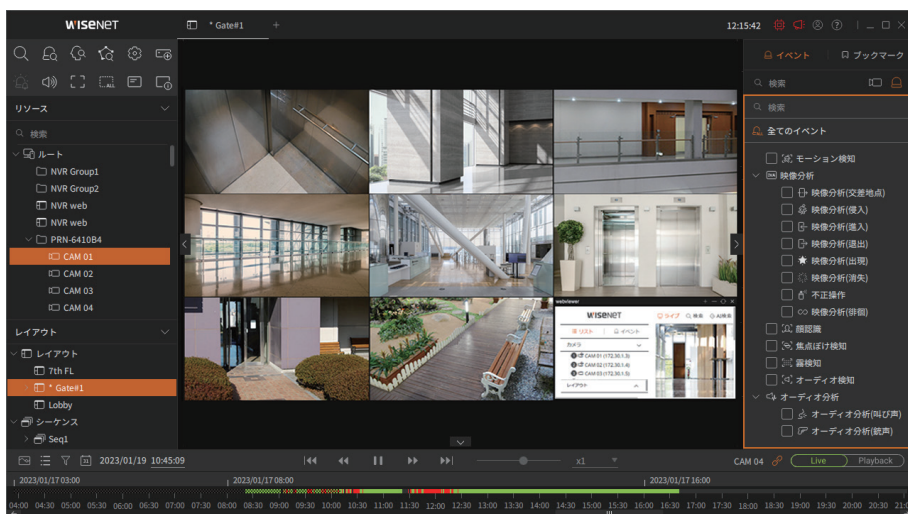


- イベントタブで  を選択します。
- イベントを検索するチャンネルを選択します。
 - 全チャンネル:** リソースツリーに登録されたすべてのチャンネルのイベントを表示します。
 - レイアウトチャンネル:** 現在レイアウトに含まれてるすべてのチャンネルのイベントを表示します。
 - 選択したチャンネル:** 現在レイアウトで選択されたチャンネルのイベントのみ表示します。
- 検索されたイベントをダブルクリックすると、映像が再生されます。
 - 現在レイアウトに含まれたチャンネルのイベントは該当タイルで再生されます。
 - レイアウトに含まれてないチャンネルのイベントは空のタイルで再生されます。

イベントタイプで検索

イベントタブに表示されるリアルタイムイベントをイベントタイプ別に検索できます。

- イベントタブの検索ウィンドウにイベントのタイプを入力し、リアルタイムイベントを検索できます。



1. イベントタブでを選択します。

2. イベントタイプを選択します。

- 全てのイベント: すべてのイベントを選択して検索します。
- モーション検知: モーションが検知されて発生したイベントです。
- 映像分析: インテリジェントビデオ分析が検知されて発生したイベントです。
 - 映像分析(交差点地点): 設定したエリア内に動く対象物が通り過ぎると、イベントが発生します。
 - 映像分析(侵入): 設定したエリア内で動く対象物を検知すると、イベントが発生します。
 - 映像分析(進入): 動く対象物が指定エリアの外側から内側に入ってくる時、イベントが発生します。
 - 映像分析(退出): 指定エリアの内側から外側に出ていく時、イベントが発生します。
 - 映像分析(出現): 指定エリア内に存在しなかった対象物が、エリアラインを通過せずにエリア内に現れて一定時間を留まると、イベントが発生します。
 - 映像分析(消失): 指定エリア内に存在していた対象物が消えると、イベントが発生します。
 - 不正操作: レコーダーに接続されたカメラの映像が遮られたり、位置が変更されるとイベントが発生します。
 - 映像分析(徘徊): 設定した仮想エリア内を徘徊するモーションが検知されたら、イベントが発生します。
- 顔認識: 映像から顔が検知されて発生したイベントです。

- **焦点ぼけ検知**: 映像のフォーカスがぼけることが検知されて発生したイベントです。
- **霧検知**: 映像に霧がかかったり曇ってる映像が検知されて発生したイベントです。
- **オーディオ検知**: レコーダーに接続されたカメラで設定したレベル以上のオーディオが検知されて発生したイベントです。
- **オーディオ分析**: オーディオ分析が検知されて発生したイベントです。オーディオタイプから**叫び声/銃声/爆発/ガラス破壊**項目を選択できます。
- **オートトラッキング**: 映像で動く対象物がトラッキングされて発生したイベントです。オートトラッキングの開始/終了時点を選択できます。
- **ビデオロス**: レコーダーでカメラ映像を受信できなくて発生したイベントです。ビデオロス/修復時点を選択できます。
- **アラーム入力(カメラ)**: カメラにアラームが入力されて発生したイベントです。
- **DynamicEvent**: 映像で特定の動きや状況が検知されて発生したイベントです。
Wisenet Viewerに登録されたデバイスによってDynamic Event表示項目が異なる場合があります。
 - **Queue**: 待機熱が検知されて発生したイベントです。
 - **Queue.Level.Medium**: レコーダーに接続されたカメラに滞在人数が中レベルのキューが検知されて発生したイベントです。
 - **Queue.Level.High**: レコーダーに接続されたカメラに滞在人数が高レベルのキューが検知されて発生したイベントです。
 - **ObjectDetection.Person**: レコーダーに接続されたカメラに人が検知されて発生したイベントです。
 - **ObjectDetection.Vehicle**: レコーダーに接続されたカメラに車両が検知されて発生したイベントです。
 - **ObjectDetection.Face**: レコーダーに接続されたカメラに顔が検知されて発生したイベントです。
 - **ObjectDetection.LicensePlate**: レコーダーに接続されたカメラにナンバープレートが検知されて発生したイベントです。
 - **ShockDetection**: レコーダーに接続されたカメラに衝撃や振動、物理的な位置の変化が検知されて発生したイベントです。
 - **DigitalAutoTracking**: 動く特定の対象物がオートトラッキングされて発生したイベントです。

3. 検索されたイベントをダブルクリックすると、映像が再生されます。

- 現在レイアウトに含まれたチャンネルのイベントは該当タイルで再生されます。
レイアウトに含まれていないチャンネルのイベントは空のタイルで再生されます。

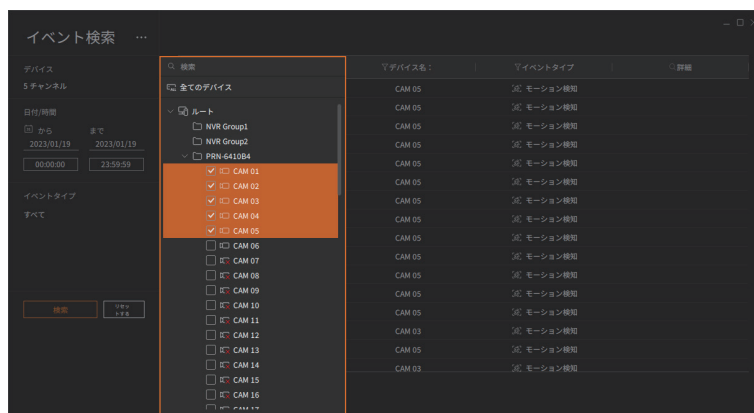
イベント映像の検索

保存された録画映像をデバイス、イベントや客体など、様々な条件を選択して検索できます。検索結果の映像をダイナミックレイアウトで再生し、PCに保存できます。

イベント録画映像の検索

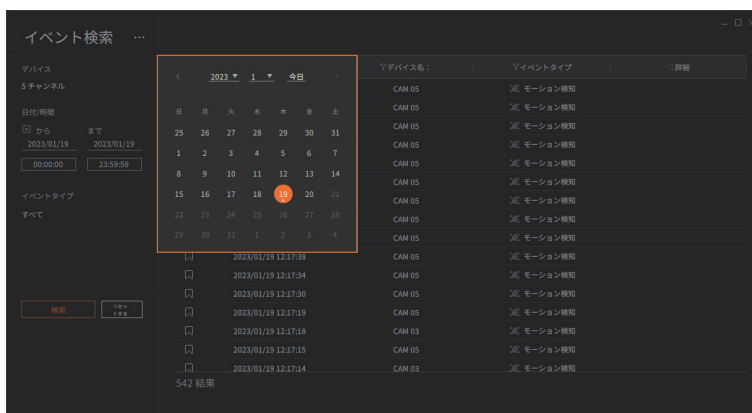
保存されたイベント録画映像をデバイス、日付、イベントタイプを選択して検索できます。

- 機能ボタンパネルで **EQ** ボタンを選択します。
 - タイムラインのショートカットメニューで **イベント検索** を選択すると、イベント検索ウィンドウが表示されます。
- イベント検索** ウィンドウが表示されると、**デバイス** 項目を選択します。
デバイスリストでチャンネルを選択します。

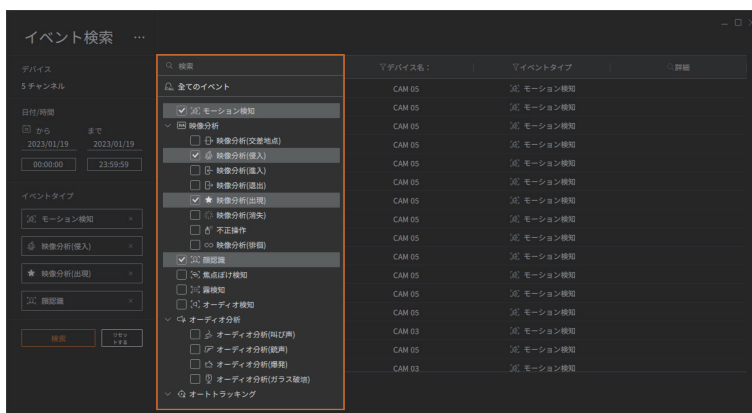


- 検索:** デバイス項目の検索ボックスにデバイス名を入力すると、該当デバイスのみ表示されます。
- 全てのデバイス:** リソースツリーに登録されたすべてのデバイスを選択します。

3. 日付/時間項目の[31]を押して検索したい開始日と終了日を選択します。
時間項目は日付を選択したあと、キーボードで直接入力できます。



4. イベントタイプ項目を押して検索するイベントを選択します。

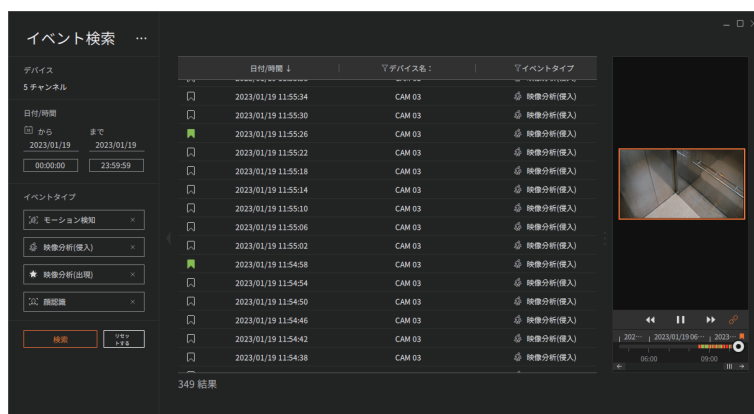


- 選択したイベントは、イベントタイプ項目の下に表示されます。
- 全てのイベント: すべてのイベントを選択します。

5. 検索ボタンを選択します。

- リセット: 現在選択したイベント検索条件をすべて削除します。

6. 検索結果をダブルクリックすると、右側の再生ウィンドウから映像が再生されます。



- 同じチャンネルに複数の映像が検索される場合、該当チャンネルのタイルで映像が再生されます。映像の再生中に他の映像を選択すると、ダイナミックレイアウト基準によって追加されます。
- 検索結果で左側の ☐ を選択すると、該当イベントがブックマークに保存されます。保存されたブックマークは、ブックマークタブで確認できます。
- 設定されたブックマークアイコンを再度選択すると、保存されたブックマーク映像を削除できます。
 - ブックマークアイコンを選択してブックマーク削除ウィンドウが表示されたら、**OK**を選択します。
- 検索結果のカラム項目をクリックすると、昇順/降順に自動ソートされます。



参考

録画映像の再生に関する詳細は、[タイムラインの使用\(136 ページ\)](#)を参照してください。

AI検索

レコーダーに接続されたAIカメラで録画された映像がある場合、人、顔、車両などの条件で映像を検索できます。また、選択した客体によって、詳細項目で検索結果をフィルタリングできます。

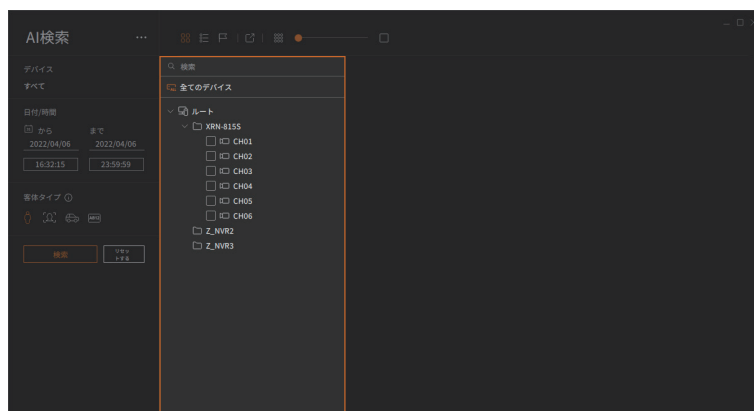


参考

Wisenet Viewerに接続されたレコーダーがAI検索機能に対応する場合にのみAI検索を使用できます。

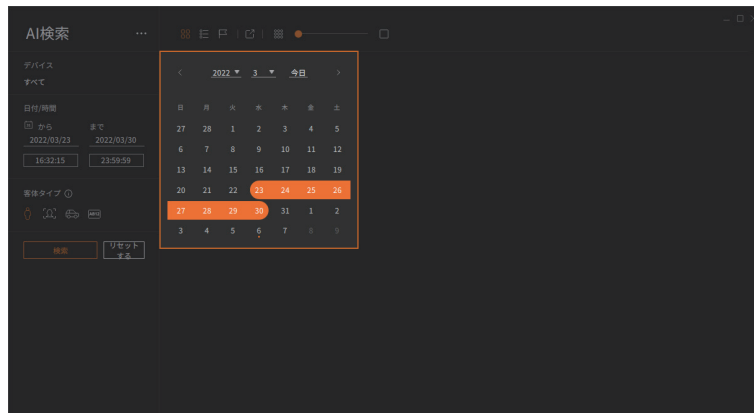
AI映像の検索

1. 機能ボタンパネルで🔍ボタンを選択します。
 - イベント検索ウィンドウの上段にある…を押してから、**AI検索**を選択すると、AI検索画面に移動します。
2. **AI検索**ウィンドウが表示されると、**デバイス**項目を選択します。
デバイスリストでチャンネルを選択します。

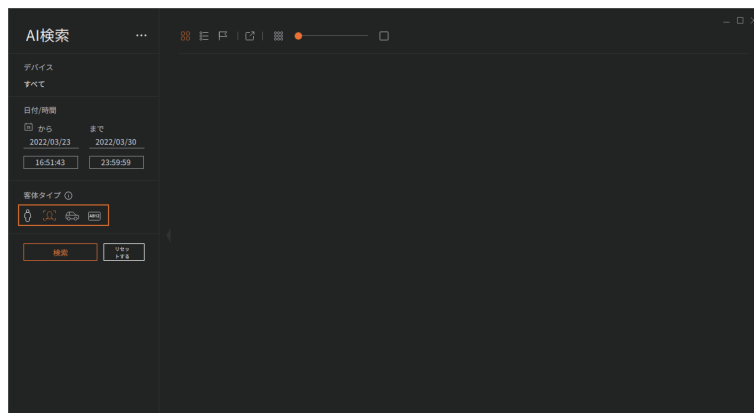


- **検索:** デバイ項目の検索ボックスにデバイス名を入力すると、該当デバイスのみ表示されます。
- **全てのデバイス:** リソースツリーに登録されたすべてのデバイスを選択します。

3. 日付/時間項目の「31」を押して開始日と終了日を選択します。
時間項目は日付を選択したあと、キーボードで直接入力できます。

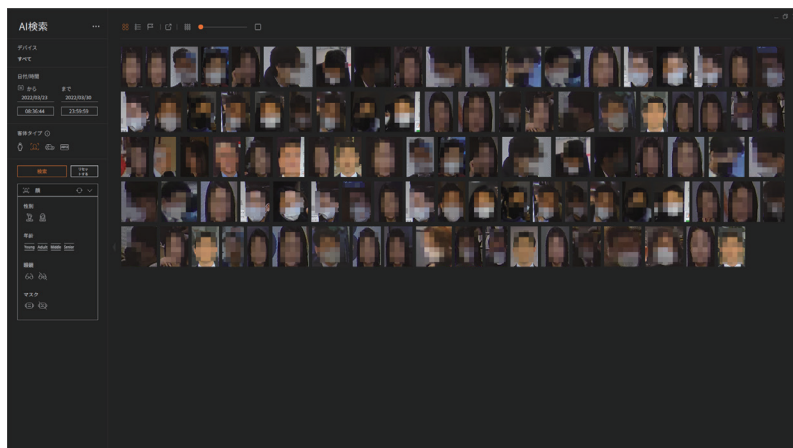


4. 検索する客体タイプを選択します。

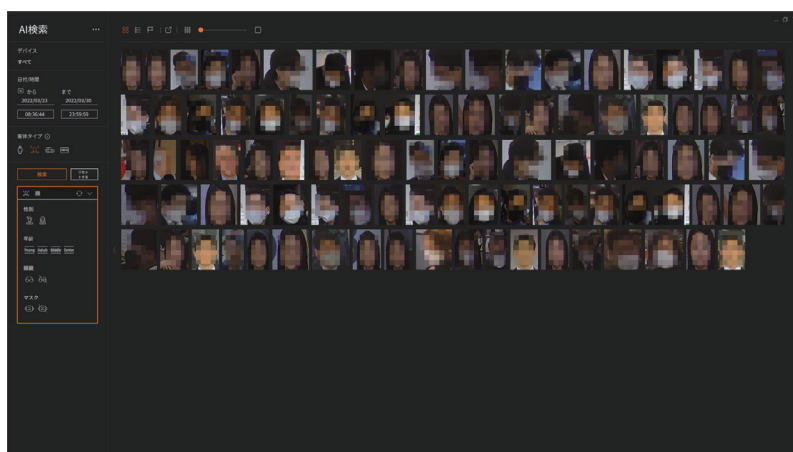


- 検索可能な客体の種類は、デバイスによって異なることがあります。

5. **検索**ボタンを選択します。
検索結果がサムネイルで表示されます。

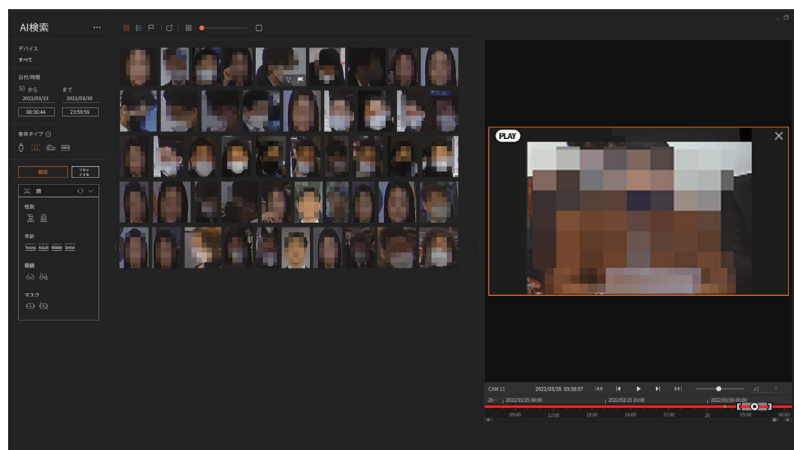


- **リセット**: 現在選択したイベント検索条件をすべて削除します。
 - : 検索結果をサムネイルで確認できます。上段のスライドバーを動かしたり、Ctrlキーを押したままマウスのスクロールホイールを回してサムネイルのサイズを調整できます。
 - : 検索結果をリストで確認できます。
6. 検索結果から希望するフィルター項目を選択します。
該当フィルターが適用された検索結果リストを確認できます。



- 客体によって適用できるフィルター項目は以下の通りです。
 - **人**: 性別、服(トップス/ボトムス)のカラー、カバン
 - **顔**: 性別、年齢、眼鏡、マスク
 - **車両**: タイプ、車両カラー
 - **LPR**: 車両ナンバー入力

- : 検索結果でフラグを指定できます。フラグ指定は、検索結果をサムネイルに表示した場合にのみ使用できます。
 - : 検索結果を.jpgファイルで保存できます。
7. 検索結果からサムネイルまたはリストをダブルクリックすると、画面の右側で録画映像が再生されます。

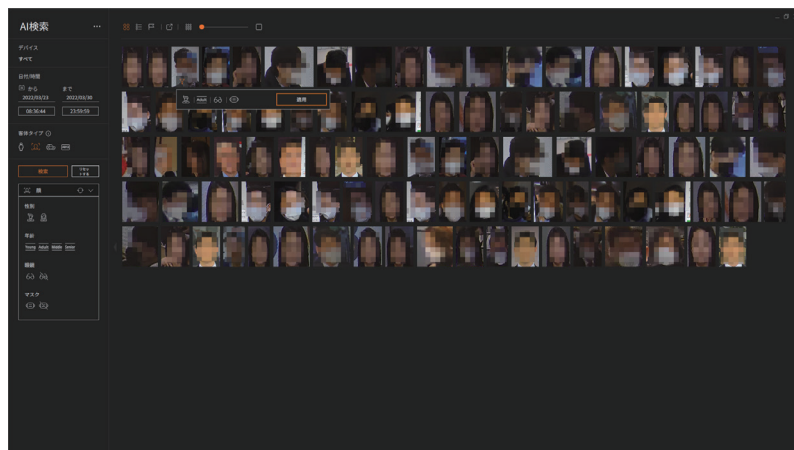


参考

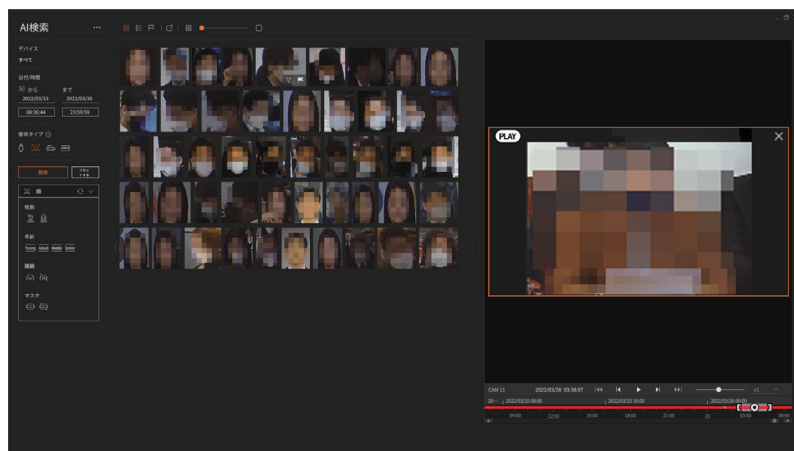
- 検索結果でフラグを指定すると、上段のを選択してフラグが指定された結果のみ確認できます。但し、検索をし直すとフラグ指定結果は削除されます。
- 検索結果項目のを選択すると、該当映像をブックマークに保存できます。保存されたブックマークは、ブックマークタブで確認できます。
- 録画映像の再生に関する詳細は、[タイムラインの使用\(136 ページ\)](#)を参照してください。

特定のBestShotプロパティにフィルタリング

1. 検索条件に最も適した映像の上にマウスを持っていき、ボタンを選択します。



2. 希望するプロパティを選択した後、**適用**ボタンを選択します。
 - 該当BestShotが持つプロパティを選択して客体をフィルタリングできます。
3. 検索結果からサムネイルまたはリストをダブルクリックすると、画面の右側で録画映像が再生されます。



参考

- 検索結果のBestShotの上でマウスをクリックすると、映像の情報ボックスが表示されます。情報ボックスの中のを選択すると、ボックスの位置を変更して固定できます。ボックスの位置固定を解除するには、を再度選択します。
- 検索結果項目のを選択すると、該当映像をブックマークに保存できます。保存されたブックマークは、ブックマークタブで確認できます。
- 録画映像の再生に関する詳細は、[タイムラインの使用\(136ページ\)](#)を参照してください。

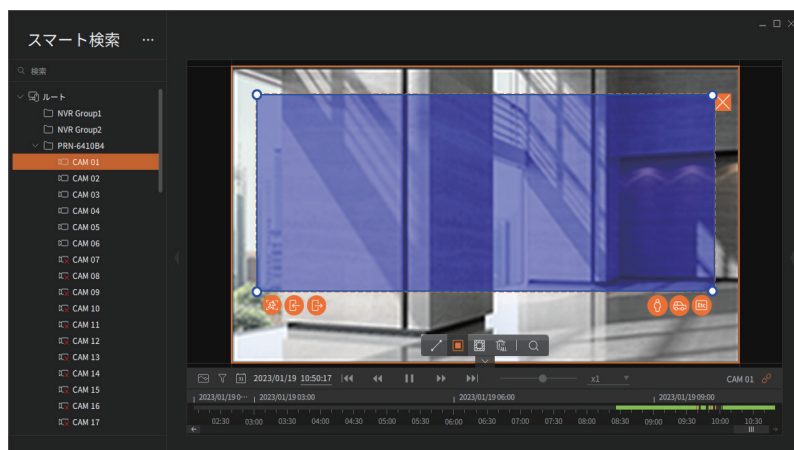
スマート検索

特定時間の録画映像で含有エリア、除外エリア、仮想ラインを設定してイベントを検索できます。

- 機能ボタンパネルで🔍を選択します。
 - イベント検索ウィンドウの上段にある…を押してから、**スマート検索**を選択すると、スマート検索画面に移動します。
- スマート検索**ウィンドウが表示されたら、イベントを検索するチャンネルを選択します。



- 映像タイルが表示されたら、下の検索エリア設定のアイコンを選択したあと、希望するエリアをマウスで設定します。



- 📏 **仮想ライン**: 映像の上で設定した仮想ラインと方向を基準に対象物が通り過ぎることを検知します。マウスで希望する位置に仮想ラインの開始点と終了点をクリックするかドラッグをして設定します。仮想ラインが生成されたら、矢印をクリックして双方向または一方向の検知可否を選択します。

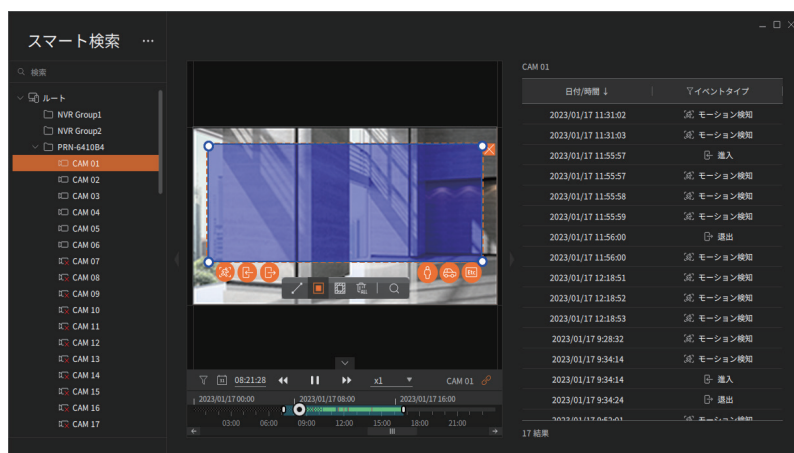
- **■ 含有エリア:** 映像の上で特定のエリアをモーション検知エリアに指定します。映像の上でマウスをドラッグしたり、点をクリックして希望する位置を検知エリアに設定します。
 - エリアを設定すると、指定されたエリアの下段にイベント/対象物のオプションアイコンが表示されます。検索から該当するイベント/対象物を外したければ、アイコンをクリックしてください。
 - **モーション検知:** 含有エリアの中で動きを検知してイベントを検索します。
 - **進入:** 含有エリアの外側から内側へ入ってくる動きを検知してイベントを検索します。
 - **退出:** 含有エリアの内側から外側へ出ていく動きを検知してイベントを検索します。
 - **人:** 含有エリアの中で人が含まれたイベントを検索します。
 - **車両:** 含有エリアの中で車両が含まれたイベントを検索します。
 - **その他:** 含有エリアの中で人、車両を除いた他の対象物が含まれたイベントを検索します。
- **■ 除外エリア:** 映像の上で特定のエリアを検知除外エリアに指定します。映像の上でマウスをドラッグしたり、点をクリックして希望する位置を検知除外エリアに設定します。



参考

- スマート検索の項目別に最大3つまで設定できます。
- 映像の上の **✖** を選択したら、設定したスマート検索の項目を削除できます。
- **🗑** を選択すると、映像の上で設定したことがすべて削除されます。

4. タイムラインで検索したい日付と時間の範囲を設定し、**Q**を選択します。
イベントの検索結果が右側のリストに表示され、検索結果を選択すると、イベント映像が再生されます。



- タイムラインの **[1]** を選択すると、日付を選択できます。
- タイムラインの **▽** を選択すると通過、モーション検知、進入、退出のうち、希望する項目をフィルタリングして再生できます。
- タイムラインと右側の検索結果リストには、現在選択したタイトルの検索結果のみ表示されます。
- 同じチャンネルに複数の映像が検索される場合、該当チャンネルのタイトルで映像が再生されます。映像の再生中に他のチャンネルを選択すると、ダイナミックレイアウト基準によって追加されます。

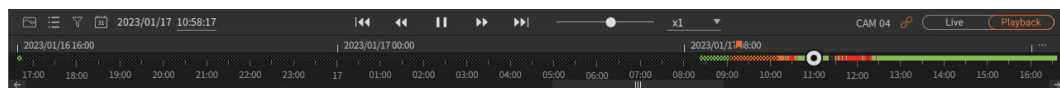
録画映像の管理

Wisenet Viewerに登録されたデバイスの録画映像を日付やイベントタイプ別に検索・再生できます。気になる部分をブックマークに追加すると、映像を素早く検索できます。また、特定の区間やチャンネルの映像をPCにファイルタイプを指定して保存できます。

再生モードに切り替え

ライブ映像の監視中に再生モードに切り替えてデバイスに保存された録画映像を検索したり再生できます。

タイムラインの**Playback**ボタンを選択したり、該当チャンネルのタイムラインを選択して再生モードに切り替えます。



参考

- レイアウトツリーで複数のチャンネルが選択されていても、現在レイアウト画面で選択されたチャンネルのタイムラインのみ表示されます。全チャンネルのタイムラインを確認するには、☰を選択してください。
- 再生モードで**Live**ボタンを選択すると、ライブモードに切り替えられます。

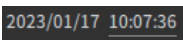
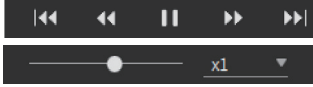
タイムラインの使用

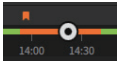
再生モードに切り替えると、録画された映像を該当チャンネルで再生できます。映像を再生する時、タイムラインで再生を制御でき、ショートカットメニューを使用できます。

タイムラインの詳細

タイルを選択すると、タイムラインに区間表示バーが表示されます。区間表示バーは、録画映像のある区間のみ表示されます。タイムラインの基本的な時間表示範囲は1日(24時間)で、マウスのスクロールホイールで時間表示倍率を拡大・縮小できます。希望の時間をクリックすると、該当時点の録画映像が再生されます。



番号	画面構成	機能詳細
①		現在再生中の映像のサムネイルを表示するか非表示にします。タイムラインの表示範囲を均等に分割し、各分割区間の1番目の時間のサムネイルをタイムラインに表示します。
②		マルチタイムラインまたはシングルタイムラインに切り替えます。マルチタイムラインを選択すると、現在のレイアウトに含まれている全チャンネルのタイムラインが表示されます。マルチタイムラインの場合、一日中のタイムラインのみ確認できます。
③		録画タイプフィルタリングの選択ウィンドウが表示されたら、検索する録画タイプを選択します。 詳細は、 録画タイプで検索(143 ページ) を参照してください。
④		カレンダーウィンドウが表示されたら、映像を検索したい日付を選択します。 詳細は、 日付で検索(142 ページ) を参照してください。
⑤		現在再生中の映像の日付と時間を表示します。日付をクリックすると、カレンダーウィンドウから検索したい日付を選択でき、時間をクリックすると、検索時間を直接入力できます。
⑥		映像の再生、再生速度を制御します。 詳細は、 再生機能の使用(139 ページ) を参照してください。
⑦		現在選択されたチャンネル名を表示します。
⑧		複数の再生映像を同じ時間に同期化して再生したり、同期再生を解除できます。

番号	画面構成	機能詳細
9		ライブモードまたは再生モードに切り替えます。同期再生中には、レイアウトに含まれてる全チャンネルがライブまたは再生モードに切り替えます。
10		録画映像があれば、区間表示バーが表示されます。マウスでタイムラインの特定地点を選択すると、その地点から映像が再生され、キーフレームが表示されます。キーフレームをドラッグすると、再生位置を変更できます。



参考

- 録画データタイプによって色違いで表示されます。
通常録画映像は緑で、イベント録画映像は赤で区分されます。
- タイムライン下部のスライダーを選択して時間を移動できます。または、タイムラインの上でマウスのスクロールホイールを使用して、時間表示倍率を拡大・縮小できます。
- ブックマークが設定されている場合、タイムラインの該当地点にブックマークアイコンが表示されます。ブックマークアイコンを選択すると、設定された区間がオレンジで表示され、ブックマークタブから該当ブックマークを確認できます。ブックマークの使用に関する詳細は、[ブックマークの使用 \(148 ページ\)](#)を参照してください。

■ タイムラインのショートカットメニューの使用

映像の再生中に、タイムラインの上でマウスを右クリックすると、ショートカットメニューを使用できます。



重複トラック	デバイスの時間や時間帯を変更すると、同一な時間に録画映像が重複して保存されます。重複する映像がある場合、タイムラインにモザイクで表示され、重複リストから選択して再生できます。
スタート点に表示 / 終了点に表示	タイムラインで区間のスタート点と終了点を選択します。Ctrlキーを押したあと、希望の地点をクリックすると区間のスタート点と終了点を設定できます。区間設定に関する詳細は、 区間の選択(141 ページ) を参照してください。
削除	タイムラインで選択した区間ボックスを解除できます。
ズームイン	タイムラインで選択した区間をズームインして見ることができます。
ブックマークを追加	タイムラインで希望する区間を選択して、ブックマークを追加できます。ブックマーク設定に関する詳細は、 ブックマークの追加(148 ページ) を参照してください。
動画をエクスポートする	タイムラインで希望する区間を選択して、PCに動画ファイルで保存できます。動画のエクスポートに関する詳細は、 録画映像のエクスポート(145 ページ) を参照してください。
イベント検索	該当チャンネルのイベントを検索できます。イベント検索に関する詳細は、 イベント録画映像の検索(125 ページ) を参照してください。
イベントログ	該当チャンネルのイベントログを検索できます。イベントログ検索に関する詳細は、 イベントログの確認(161 ページ) を参照してください。



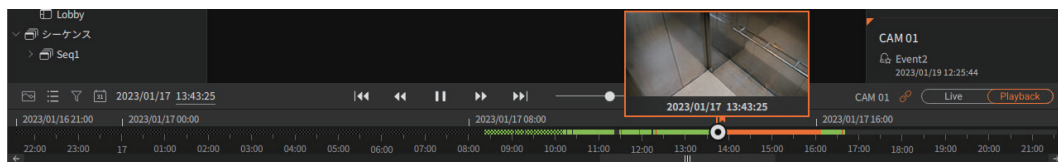
参考

区間を選択すると、ショートカットメニューで区間に関するメニューが追加・表示されます。区間の選択後に使用できるショートカットメニューに関する詳細は、[区間の選択\(141 ページ\)](#)を参照してください。

再生の制御

選択したチャンネルの映像再生中に速度を制御したり、タイムラインをズームイン・ズームアウトできます。

1. レイアウト画面でチャンネルを選択します。
2. タイムラインの**Playback**ボタンを選択します。
 - または、タイムラインをクリックして、再生モードに切り替えられます。
3. 希望する地点をマウスで選択して再生します。



- 再生中にキーフレームをドラッグしたり、希望する地点をマウスで選択して再生位置を変更できます。サムネールに対応するデバイスが接続された場合、シングルタイムラインモードを選択すると、キーフレームのドラッグ中にサムネールが表示されます。
- タイムラインの再生時間エリアを選択したあと、希望する時間を直接入力して再生位置を変更できます。

再生機能の使用

⏮	前のイベント	前のイベントに移動できます。
⏪	早戻し	逆方向に素早く再生できます。
▶/⏸	再生/一時停止	映像を再生したり一時停止できます。
⏩	早送り	順方向に素早く再生できます。
⏭	次のイベント	次のイベントに移動できます。
	再生速度スライダー	映像の再生速度を選択できます。 • 順方向再生時の倍速：x1/8、x1/4、x1/2、x0、x1、x2、x4、x8、x16、x32、x64、x128、x256 • 逆方向再生時の倍速：-x1/8、-x1/4、-x1/2、x0、-x1、-x2、-x4、-x8、-x16、-x32、-x64、-x128、-x256

■ タイムラインの移動

マウスでタイムラインをクリックしてドラッグしたり、下段のスクロールバーをドラッグすると、他の時間帯に移動できます。または、タイムラインの両サイドに表示される◀ / ▶ ボタンを選択しても時間帯を移動できます。

■ タイムラインの時間表示の変更

タイムライン上でマウスのスクロールホイールを回すと、時間表示倍率を変更できます。または、タイムラインの時間帯が表示されている部分をダブルクリックすると、該当区間が拡大されます。

■ 再生時間の同期

映像の再生中に🔗を選択すると、複数の再生映像を同じ時間に同期して再生できます。

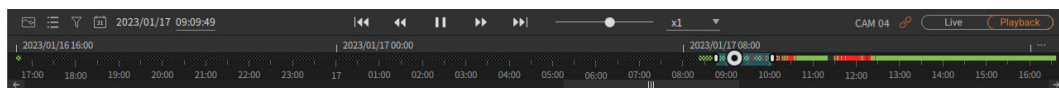
🔗をもう一度選択すると、映像同期が解除され、チャンネル別に再生されます。

- 同期中に実行するすべての再生制御動作は、レイアウトの全チャンネルに同じく適用されます。

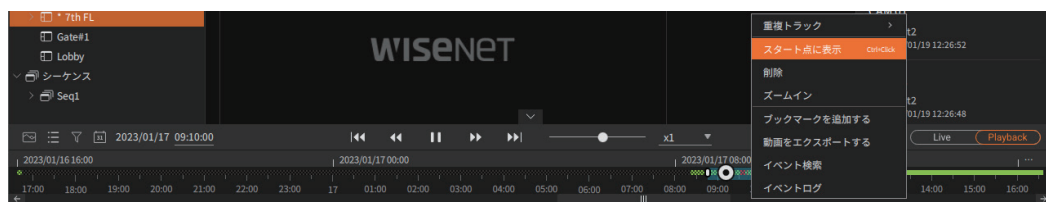
区間の選択

タイムラインの特定区間をスタート点と終了点に選択してブックマーク設定したり、PCにファイルで保存できます。

1. タイムライン上の希望の地点をマウスで選択します。
区間ボックスが表示されます。



- Ctrlキーを押してマウスで区間のスタート点と終了点を直接選択することもできます。
2. マウスを左右に動かし、区間のスタート点と終了点を選択します。
 3. タイムラインのショートカットメニューで希望するメニューを選択します。



- **重複トラック**: 選択された時間に時間や時間帯を変更し、1つのチャンネルに重複するデータがある場合、該当リストが表示されます。
- **スタート点に表示 / 終了点に表示**: 区間のスタート点/終了点を選択できます。
- **削除**: 選択した区間ボックスを解除できます。
- **ズームイン**: 選択した区間をズームインして見ることができます。
- **ブックマークを追加する**: 選択した区間をブックマークに追加できます。
- **動画をエクスポートする**: 選択した区間をPCにファイルで保存できます。
- **イベント検索**: イベント検索ウィンドウで選択されたチャンネル/区間内のイベントを検索できます。
- **イベントログ**: イベントログウィンドウで選択された区間内のイベントログを検索できます。

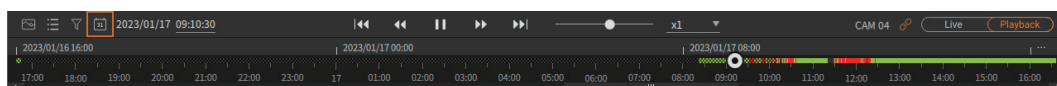
録画映像の検索

Wisenet Viewerに登録されたデバイスの録画映像を日付や録画タイプ別に検索・再生できます。

日付で検索

選択したチャンネルのタイムラインで日付を選択して、録画映像を検索できます。

1. タイムラインの**Playback**ボタンを選択します。
2. タイムラインで「31」を選択します。



3. カレンダーウィンドウが表示されたら、検索したい日付を選択します。

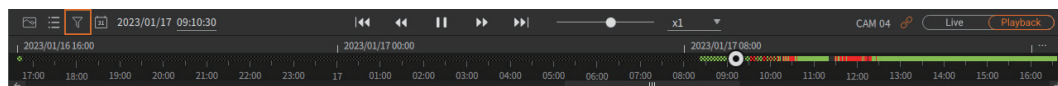


- 録画映像がある日はオレンジに表示されます。
今日の日付の下にオレンジ色の点が表示されます。
 - 日付を選択すると、該当日の24時間タイムラインが表示されます。
4. タイムラインで希望する時間帯の映像を選択して再生します。
カレンダーウィンドウを閉じるには、「31」を選択します。

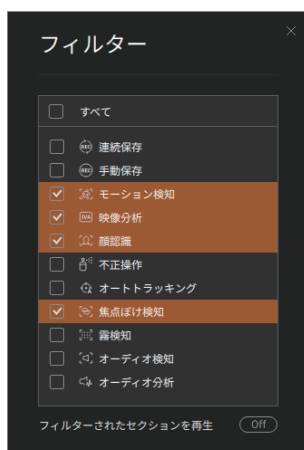
録画タイプで検索

選択したチャンネルのタイムラインで録画タイプを選択して、録画映像を検索できます。

1. タイムラインの**Playback**ボタンを選択します。
2. タイムラインで  を選択します。



3. フィルターウィンドウが表示されたら、検索したい録画タイプを選択します。



- **全て**: 選択したチャンネルのタイムラインで全てのイベントを検索できます。
- **連続保存**: 連続で録画された通常録画映像です。
- **手動保存**: 手動で録画された映像です。
- **モーション検知**: モーションを検知して録画されたイベント映像です。
- **映像分析**: インテリジェントビデオ分析が検知されて録画したイベント映像です。
- **顔認識**: 映像で顔を検知して録画されたイベント映像です。
- **不正操作**: カメラの映像が遮られたり、位置が変更されて録画されたイベント映像です。
- **オートトラッキング**: 映像で動く対象物をトラッキングして録画されたイベント映像です。

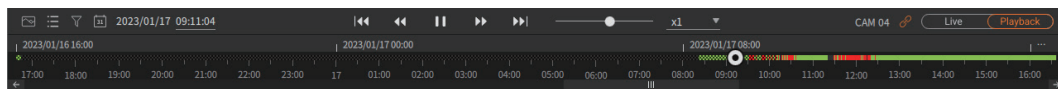
- **焦点ぼけ検知**：映像のフォーカスがぼけることを検知して録画されたイベント映像です。
 - **霧検知**：映像に霧がかかったり映像の曇りを検知して録画されたイベント映像です。
 - **オーディオ検知**：カメラに設定したレベル以上のオーディオを検知して録画されたイベント映像です。
 - **オーディオ分析**：オーディオ分析を検知して録画されたイベント映像です。
 - **アラーム入力**：アラーム入力を検知して録画されたイベント映像です。
 - **人(AI)**：人を検知して録画されたイベント映像です。
 - **車両(AI)**：車両を検知して録画されたイベント映像です。
 - **フィルター区間の再生**：**On**ボタンを選択すると、選択した録画タイプのみ再生され、**Off**ボタンを選択すると、録画タイプとは関係なくすべてのタイプの映像が再生されます。
4. タイムラインで希望する映像を選択して再生します。

録画映像のエクスポート

Wisenet Viewerに登録されたデバイスの録画映像をPCにファイルで保存できます。

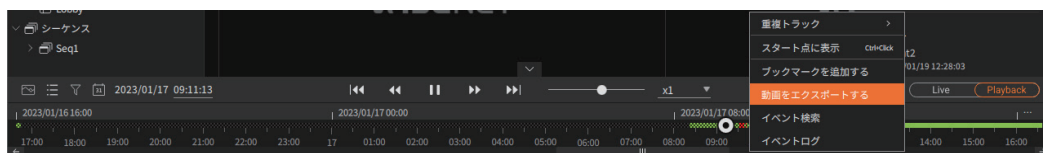
タイムラインで希望する区間を選択したり、複数のチャンネルを選択して保存します。また、ファイルにパスワードを設定して保存できます。

1. タイムラインの上の右クリックします。

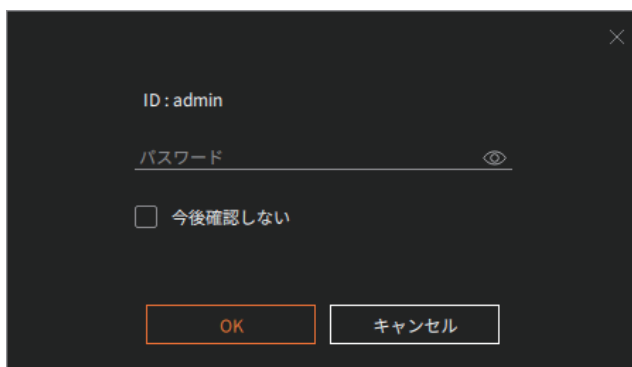


- 特定区間を選択して映像をエクスポートできます。区間選択に関する詳細は、[区間の選択\(141 ページ\)](#)を参照してください。

2. ショートカットメニューで動画をエクスポートするを選択します。



3. 入力ウィンドウが表示されると、パスワードを入力してOKを選択します。



- **今後確認しない**をチェックすると、動画をエクスポートする時にパスワードの入力ウィンドウが表示されません。
但し、Wisenet Viewerを再起動したあとは、パスワード入力ウィンドウが再び表示されます。
- パスワードを正確に入力しないと映像を保存できません。

4. 動画をエクスポートするウィンドウが表示されたら、保存したい映像情報を選択します。



- **単一チャンネル:** 現在選択した1つのチャンネルの映像のみエクスポートします。選択された映像をプレビューできます。
- **多チャンネル:** レイアウトに含まれた複数のチャンネルの映像をエクスポートします。
- **日付/時間:** エクスポートする映像の開始/終了時間を選択します。
- **高解像度:** 映像を高解像度で保存するかを選択します。**有効**をチェックすると、デュアルプロファイルで録画された映像の場合、高解像度で保存されます。
- **ファイル名:** 単一チャンネルの選択時、PCに保存するファイル名を入力します。
- **フォルダ名:** 多チャンネルの選択時、PCに保存するフォルダ名を入力します。

- **ファイル形式:** PCに保存する映像のファイル形式を選択します。WNM形式を選択すると、デジタル署名と暗号化項目がアクティブ状態になります。
- **デジタル署名:** WNM形式で映像を保存する時、デジタル署名を追加できます。
- **暗号化:** WNM形式で映像を保存する時、パスワード設定可否を選択します。**有効**をチェックすると、パスワードを入力できます。
- **エクスポート:** 映像ファイルが保存されるフォルダを選択します。
 - **メディアファイルフォルダ:** **設定 > システム > ローカル設定**で選択したメディアファイルフォルダに映像が保存されます。
 - **後で選択:** PCに映像を保存するフォルダを選択できます。

5. **OK**ボタンを選択します。

6. **動画をエクスポートする**進行ウィンドウで保存状況を確認します。
保存が完了されると、進行ウィンドウの**閉じる**ボタンを選択します。



- 動画をエクスポートする途中にキャンセルしたり、ウィンドウを閉じると、進行された区間までのみファイルで保存されます。
- 映像のエクスポートを完了した後、を選択すると映像が保存されたフォルダが開かれます。
- 多チャンネル映像をエクスポートする場合、指定されたフォルダの中に多チャンネル映像のフォルダが生成され、映像が保存されます。



参考

映像が保存されたフォルダには、Wisenet Playerも一緒に保存されます。Wisenet Playerは、Wisenet ViewerをインストールしなくてもWNM、SECファイル及び汎用のメディアファイルを再生できるプログラムです。

- Wisenet Playerを実行すると、該当フォルダ内のすべてのメディアファイルリストを自動的に読み込みます。
- その他、Wisenet Playerの利用方法は、Wisenet Viewerのメディアファイル再生時の実行方法と同じです。

ブックマークの使用

再生モードで気になる区間の映像をブックマークに追加できます。追加したブックマークは、ブックマークタブで確認・再生できます。また、ブックマーク情報を修正したり削除できます。



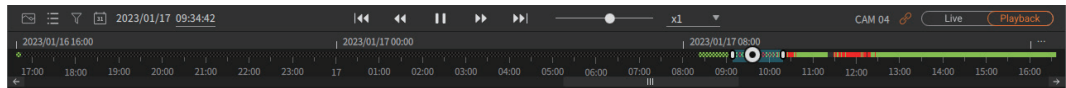
参考

ブックマーク情報はWisenet ViewerがインストールされたPCではなく、レコーダーに保存されます。レコーダーでも同じブックマークを確認できます。

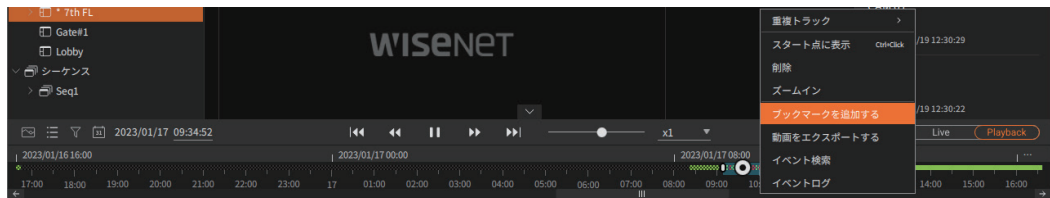
ブックマークの追加

保存された映像で気になる区間をブックマークに追加できます。

1. レイアウトでチャンネルを選択します。
2. タイムライン上の希望の地点をマウスで選択します。
区間ボックスが表示されます。



- Ctrlキーを押してマウスで区間のスタート点と終了点を直接することもできます。
3. マウスを左右に動かし、区間のスタート点と終了点を選択します。
 4. タイムラインのショートカットメニューで**ブックマークを追加する**を選択します。



5. ブックマークウィンドウが表示されたら、ブックマーク情報を入力します。



ブックマーク - CAM 04

名前: Bookmark

から: 2023/01/17 09:08:17

まで: 2023/01/17 10:18:07

詳細:

OK キャンセル

- **名前:** 保存するブックマーク名を入力します。
- **から:** ブックマークを始める日付と時間を入力します。日付/時間項目にキーボードで直接入力すると、タイムラインに選択区間が変更・表示されます。
- **まで:** ブックマークが終了する日付と時間を入力します。
- **詳細:** ブックマークの説明を入力できます。

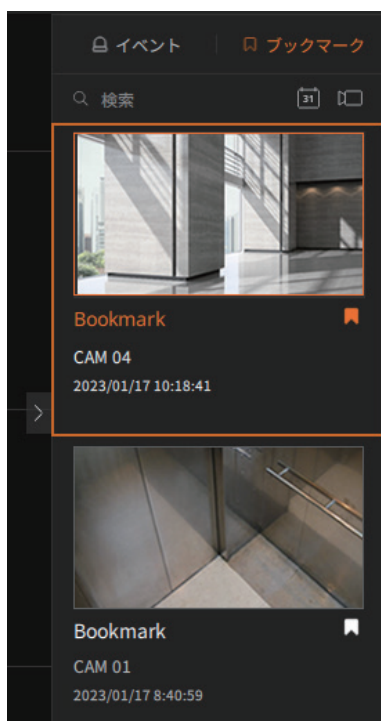
6. **OK**ボタンを選択します。

ブックマークの管理

ブックマークに追加した映像をブックマークタブで確認して再生できます。また、ブックマークの情報を修正したり削除できます。

■ ブックマークの再生

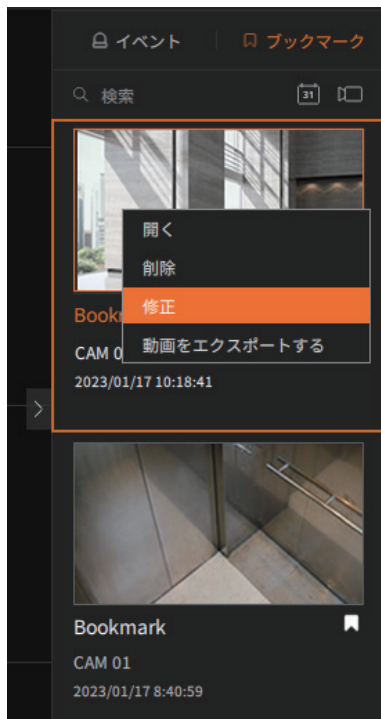
1. イベントパネルで**ブックマーク**タブを選択します。
2. **ブックマーク**タブのリストからブックマークをダブルクリックすると、映像が再生されます。



- ブックマークの上で右クリックし、ショートカットメニューの**開く**を選択してもブックマークを再生できます。
- タイムラインに表示されたブックマークアイコンをクリックすると、ブックマークが保存された区間がオレンジに表示されます。ブックマークアイコンをダブルクリックすると、ブックマークを再生できます。
- 現在レイアウトに含まれたチャンネルのブックマークは、該当タイルで再生されます。レイアウトに含まれてないチャンネルのブックマークは、空のタイルで再生されます。
- レイアウトにチャンネルが重複して割り当てられた場合、画面の上か左側に位置するタイルでブックマーク映像が再生されます。
- 映像の再生中、ブックマークされたトラックになると、ブックマークタブの該当ブックマークがオレンジ色に表示されます。

■ ブックマークの修正

1. イベントパネルで**ブックマーク**タブを選択します。
2. **ブックマーク**タブが表示されたら、希望するブックマークの上で右クリックします。
3. ブックマークショートカットメニューの**修正**を選択します。



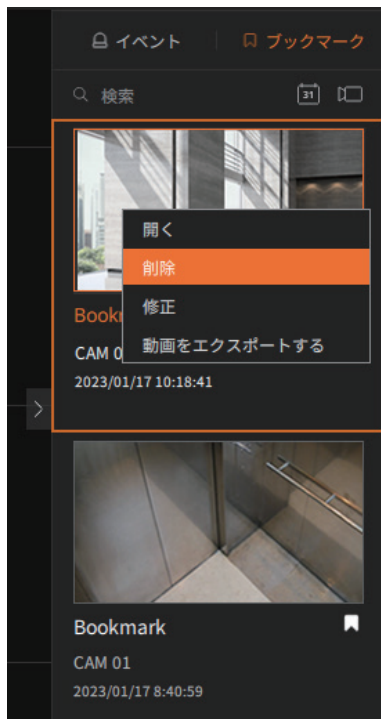
4. **ブックマーク**ウィンドウが表示されると、名前や説明を修正します。



5. **OK**ボタンを選択します。

■ ブックマークの削除

1. イベントパネルで**ブックマーク**タブを選択します。
2. **ブックマーク**タブが表示されたら、希望するブックマークの上で右クリックします。
3. ブックマークショートカットメニューの**削除**を選択します。

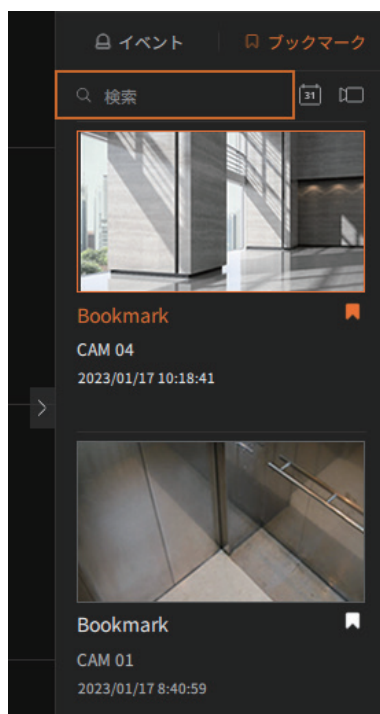


ブックマークの検索

ブックマークタブで、ブックマーク名や日付、デバイス別にブックマークを検索・再生できます。

■ ブックマークタブで名前で検索

1. イベントパネルで**ブックマーク**タブを選択します。
2. **ブックマーク**タブの検索ボックスに検索したい内容を入力します。



- 入力する内容に該当するブックマークのみリストに表示されます。
3. 検索されたブックマークをダブルクリックすると、映像が再生されます。

■ ブックマークタブで日付で検索

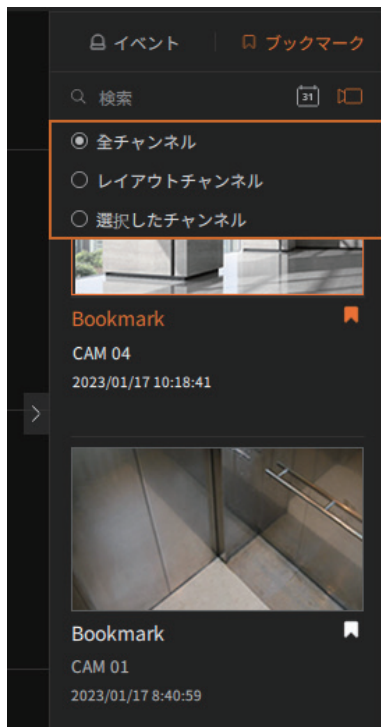
1. イベントパネルで**ブックマーク**タブを選択します。
2. **ブックマーク**タブが表示されたら、**[31]**をクリックします。
3. ブックマークを検索する時間の範囲を選択します。



- **常に:** すべての時間帯のブックマークを表示します。
 - **この2日間:** 昨日 0 時から現在の検索時点まで保存されたブックマークを表示します。
 - **この7日間:** 7 日間保存されたブックマークを表示します。
 - **この30日間:** 30 日間保存されたブックマークを表示します。
 - **選択した時間:** 選択されたタイムラインのブックマークを表示します。
4. 検索されたブックマークをダブルクリックすると、映像が再生されます。

■ ブックマークタブでデバイスで検索

1. イベントパネルで**ブックマーク**タブを選択します。
2. **ブックマーク**タブが表示されたら、 **検索**をクリックします。
3. ブックマークを検索するチャンネルを選択します。

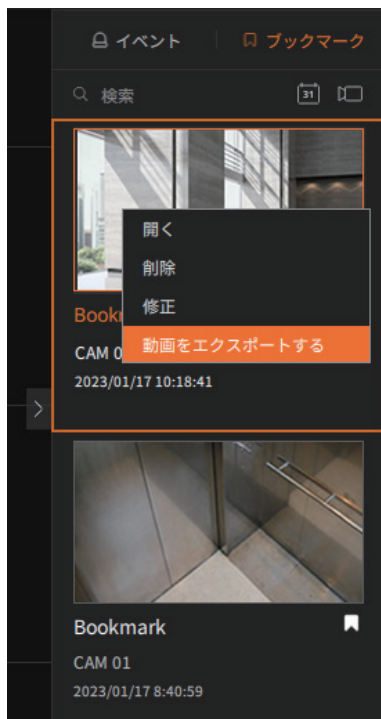


- **全チャンネル**: リソースツリーに登録された全チャンネルのブックマークを表示します。
 - **レイアウトチャンネル**: 現在レイアウトに含まれた全チャンネルのブックマークを表示します。
 - **選択したチャンネル**: 現在レイアウトで選択されたブックマークのみ表示します。
4. 検索されたブックマークをダブルクリックすると、映像が再生されます。

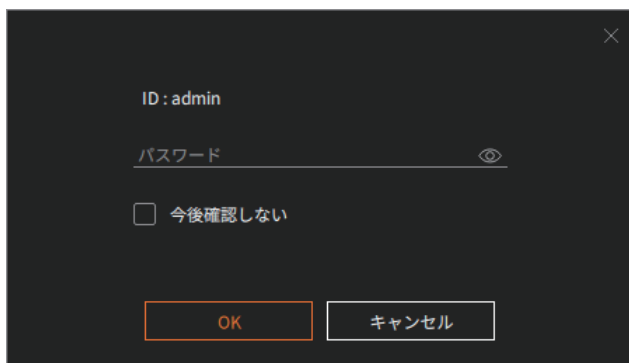
ブックマーク映像のエクスポート

ブックマークに登録された映像をPCにファイルで保存できます。

1. イベントパネルで**ブックマーク**タブを選択します。
2. **ブックマーク**タブが表示されたら、希望するブックマークの上で右クリックします。
3. ブックマークのショートカットメニューの**動画をエクスポートする**を選択します。



4. 入力ウィンドウが表示されると、パスワードを入力して**OK**を選択します。



5. 動画をエクスポートするウィンドウが表示されたら、保存したい映像情報を選択します。



6. OKボタンを選択します。
7. 動画をエクスポートする進行ウィンドウで保存状況を確認します。
保存が完了されると、進行ウィンドウの閉じるボタンを選択します。



参考

動画のエクスポートに関する詳細は、[録画映像のエクスポート\(145 ページ\)](#)を参照してください。

ローカル録画ファイルの設定

Wisenet Viewerのローカル録画機能でライブ映像を録画する時、適用される最大録画間隔、ファイルのタイプ及び保存ルートを設定できます。

ローカル録画ファイルの位置設定

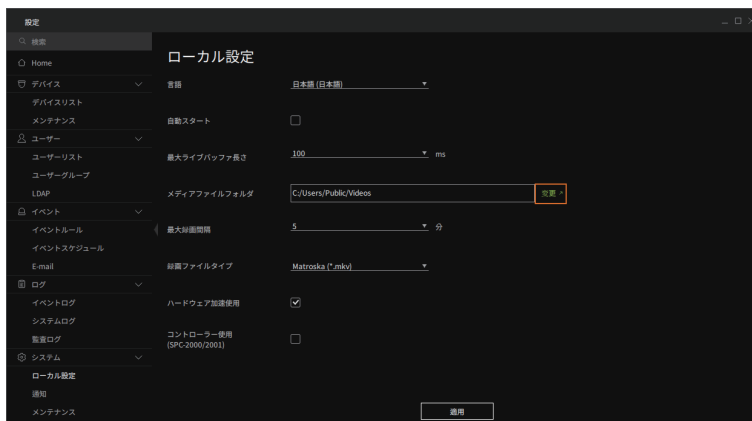
Wisenet Viewerのローカル録画機能を使用する時、ファイルが保存されるフォルダを設定できます。



参考

リソースツリー > **メディアファイル**項目に表示されるファイルが保管される共通フォルダとして使用されます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > ローカル設定**を選択します。
3. **ローカル設定**ウィンドウが表示されたら、**メディアファイルフォルダの変更**を選択します。

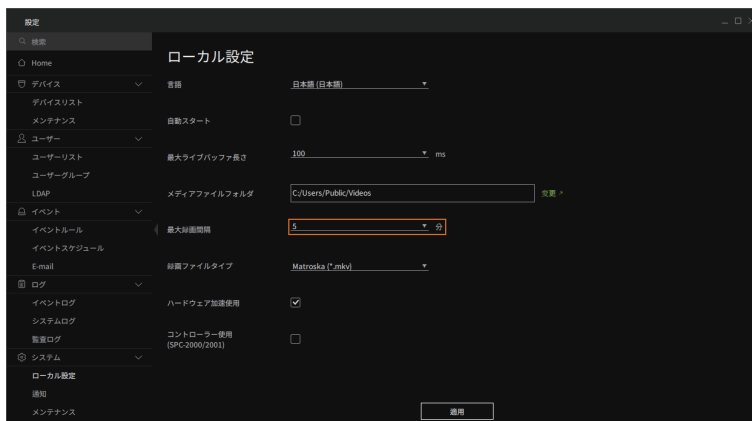


4. ファイルが保存されるフォルダを選択したあと、**フォルダ選択**を選択します。
 - 保存フォルダが選択されると、該当ルートが表示されます。
5. **適用**ボタンを選択します。

ローカル録画時間の設定

Wisenet Viewerのローカル録画機能を使用する時、ファイルの最大録画時間を設定できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > ローカル設定**を選択します。
3. **ローカル設定**ウィンドウが表示されたら、希望する**最大録画間隔**を選択します。



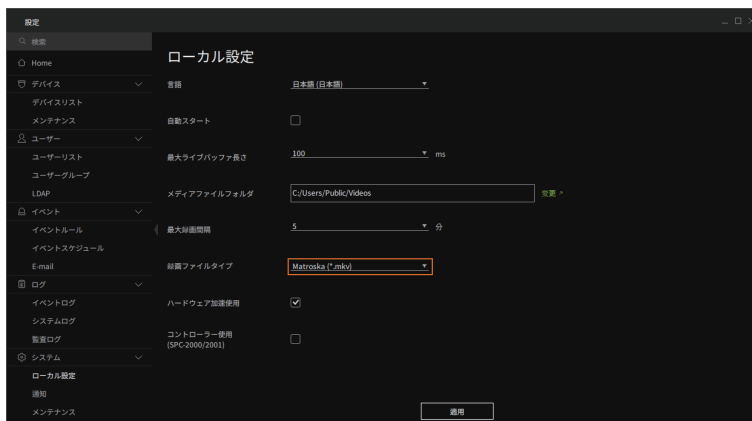
- 最大録画間隔は、5～120分の範囲内で設定できます。

4. **適用**ボタンを選択します。

ローカル録画ファイルのタイプ設定

Wisenet Viewerのローカル録画機能を使用する時のファイルタイプを設定できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > ローカル設定**を選択します。
3. **ローカル設定**ウィンドウが表示されたら、**録画ファイルタイプ**のファイルタイプを選択します。



- **Matroska (*.mkv)**：映像と音声を含む動画タイプで保存されます。
- **Wisenet Media(*.wnm)**：Wisenet Viewer専用の動画タイプで保存されます。

4. **適用**ボタンを選択します。

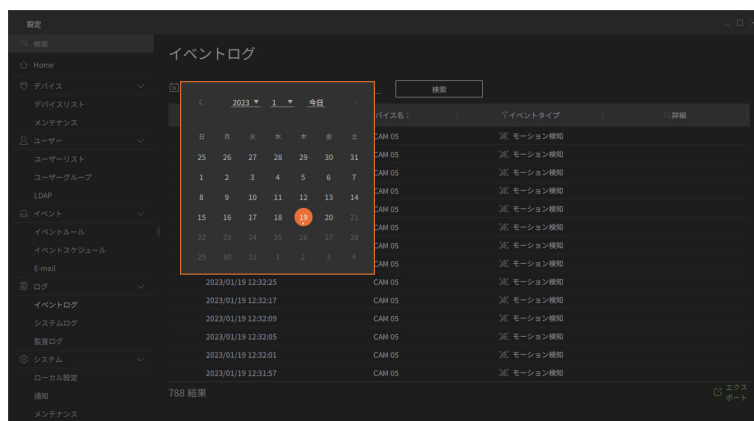
ログの確認

Wisenet Viewerに接続されたデバイスで発生したイベント、システム及び監査ログを確認できます。

イベントログの確認

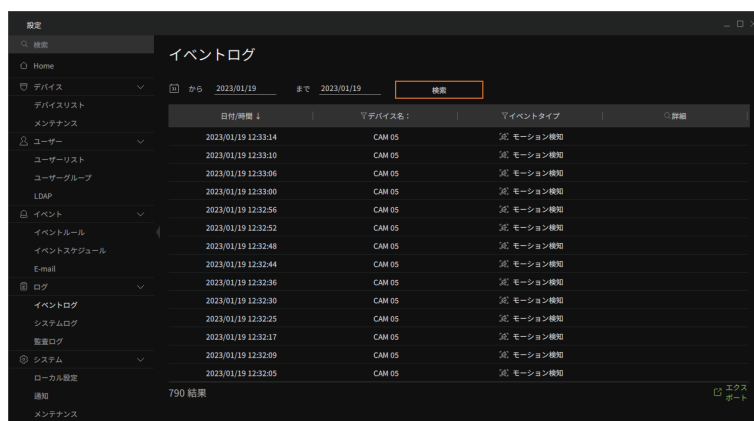
デバイスで発生したイベントログを検索したり、ログ情報を保存できます。映像とデバイスで検知された変化やユーザーが登録した事前設定イベントのログ内容と発生日付及び時間を確認できます。

1. 機能ボタンパネルで $\odot$ ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ログ > イベントログ**を選択します。
3. **イベントログ**ウィンドウが表示されたら、 $\boxed{31}$ を押して検索したい開始日と終了日を選択します。



- 日付はキーボードで直接入力できます。

4. 検索ボタンを選択します。

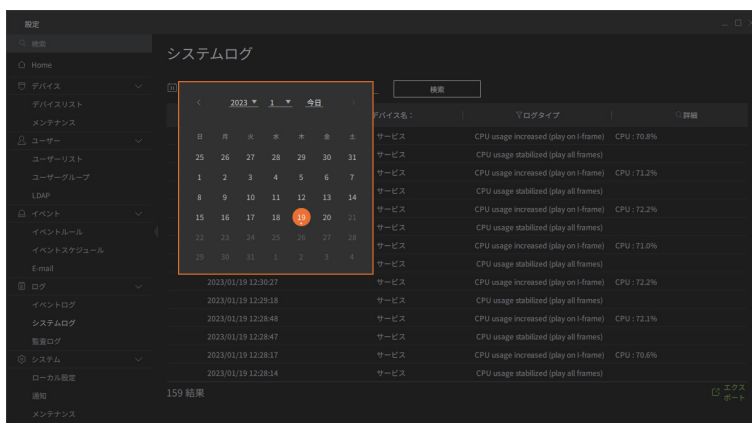


- 検索結果が表示されたら、カラムのフィルターを選択したり検索して特定項目のみ確認できます。検索結果のカラム項目をクリックすると、昇順/降順に自動ソートされます。
- 検索結果をファイルでエクスポートするには、画面下部の**エクスポート**を選択します。ファイルでエクスポートに関する詳細は、[ログデータのエクスポート\(165 ページ\)](#)を参照してください。

システムログの確認

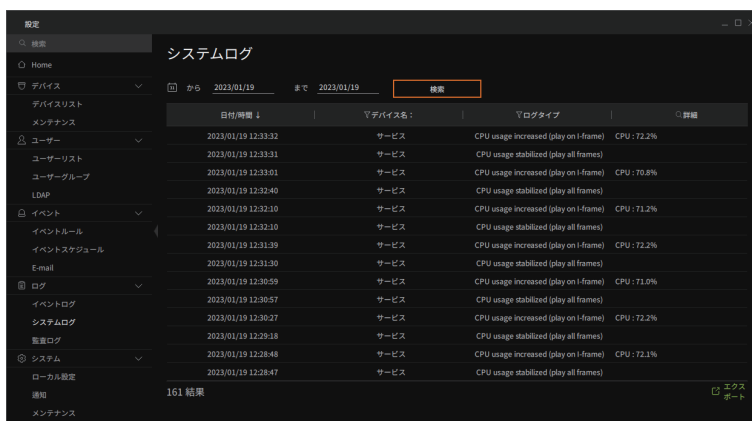
デバイスで発生したシステムログを検索したり、ログ情報を保存できます。システムのデバイス、電源及び録音エラーなど、システムに関するログ内容と実行された日付と時間を確認できます。

1. 機能ボタンパネルで ⚙ ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ログ > システムログ**を選択します。
3. システムログウィンドウが表示されたら、 [31] を押して検索したい開始日と終了日を選択します。



- 日付はキーボードで直接入力できます。

4. 検索ボタンを選択します。



- 検索結果が表示されたら、カラムのフィルターを選択したり検索して特定項目のみ確認できます。検索結果のカラム項目をクリックすると、昇順/降順に自動ソートされます。
- 検索結果をファイルでエクスポートするには、画面下部の**エクスポート**を選択します。ファイルでエクスポートに関する詳細は、[ログデータのエクスポート\(165 ページ\)](#)を参照してください。
- システムログに関する詳細は、[システム状態の確認\(26 ページ\)](#)を参照してください。

監査ログの確認

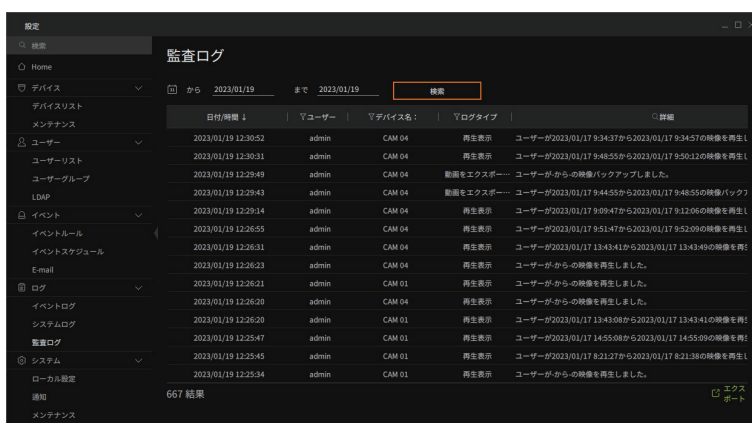
デバイスで発生した監査ログを検索したり、ログ情報を保存できます。監査ログは、Wisenet Viewerが実行されている間に発生したログのことです。ユーザー別ログイン、システム設定及びライブ映像の確認など、全てのログ内容を発生日付と時間を確認できます。

1. 機能ボタンパネルで🔍ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**ログ > 監査ログ**を選択します。
3. **監査ログ**ウィンドウが表示されたら、**[31]**を押して検索したい開始日と終了日を選択します。



- 日付はキーボードで直接入力できます。

4. **検索**ボタンを選択します。

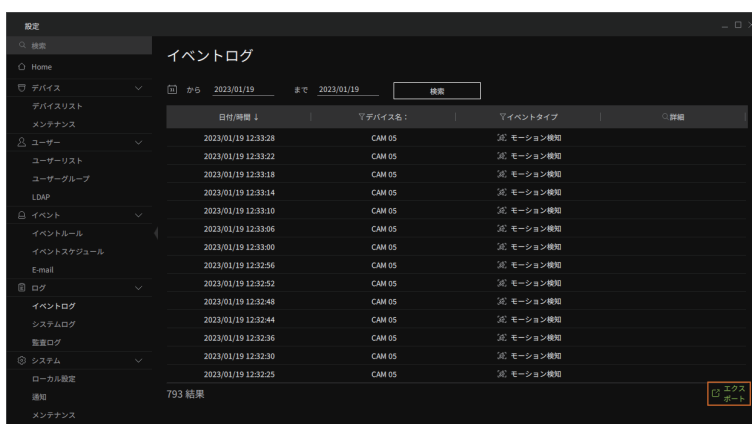


- 検索結果が表示されたら、カラムのフィルターを選択したり検索して特定項目のみ確認できます。検索結果のカラム項目をクリックすると、昇順/降順に自動ソートされます。
- 検索結果をファイルでエクスポートするには、画面下部の**エクスポート**を選択します。ファイルでエクスポートに関する詳細は、[ログデータのエクスポート\(165 ページ\)](#)を参照してください。

ログデータのエクスポート

デバイスで発生したログ情報をPCに保存できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、希望するログメニューを選択します。
3. ログの検索ボックスが表示されたら、[Ctrl]を押して検索したい開始日と終了日を選択します。
4. 検索ボタンを選択します。
5. ログ検索ボックス下部のエクスポートを選択します。



6. エクスポートウィンドウが表示されたら、csvファイルが保存されるルートを選択してエクスポートボタンを選択します。
- 選択したルートにログデータファイルが保存されます。

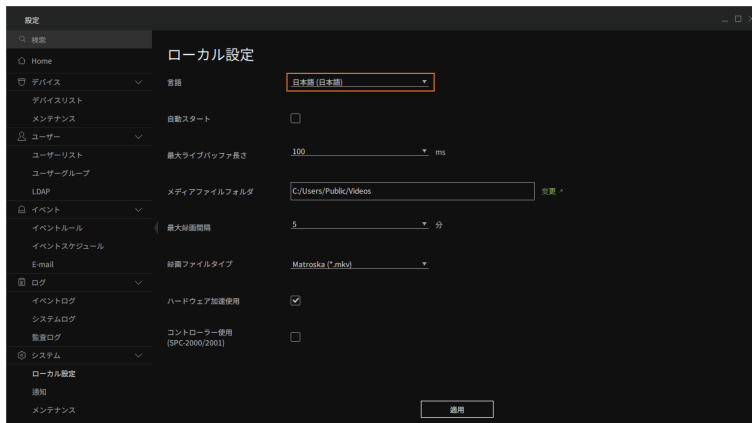
システム設定

Wisenet Viewerの使用言語を設定したり、自動スタート、ハードウェア加速使用を設定できます。また、設定情報をバックアップ/リストアしたり、リセットできます。

言語設定

Wisenet Viewerで使用する言語を設定できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > ローカル設定**を選択します。
3. **ローカル設定**ウィンドウが表示されたら、使用する言語を選択します。

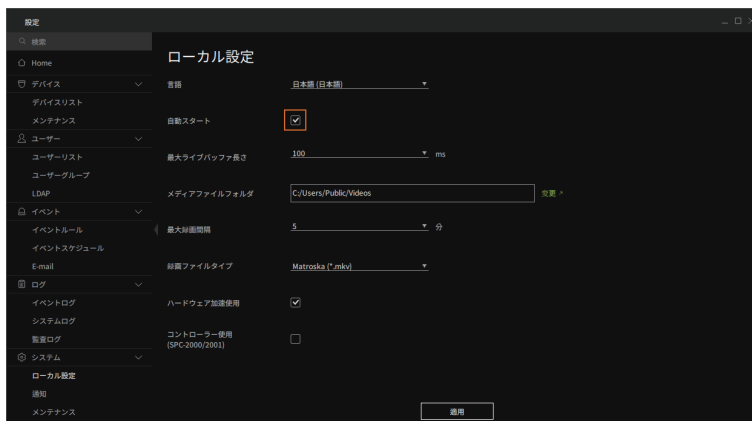


4. **適用**ボタンを選択します。
5. ポップアップウィンドウの**OK**ボタンを選択します。
6. システム再起動確認ウィンドウの閉じるボタンを選択します。
プログラムが自動で再起動されます。

自動スタートの設定

Windowsが起動したら、Wisenet Viewerが自動的にスタートするように設定できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > ローカル設定**を選択します。
3. **ローカル設定**ウィンドウが表示されたら自動スタートの使用可否を選択します。



4. **適用**ボタンを選択します。
5. ポップアップウィンドウの**閉じる**ボタンを選択します。

ハードウェア加速使用の設定

PCにIntel Quick Syncに対応するインテルグラフィックカードやNVIDIA CUVIDに対応するグラフィックカードが装着されている場合、ハードウェア加速機能を使用できます。

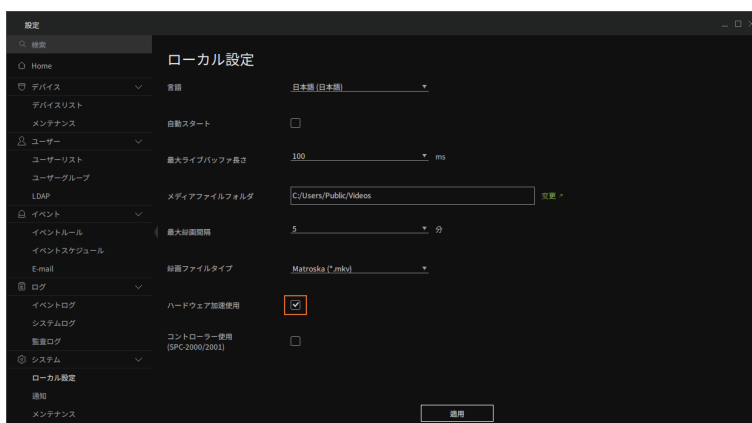
ハードウェア加速機能を設定すると、GPUを使用してより多くの映像を再生できます。



参考

ハードウェア加速使用の項目は、PCにIntel Quick SyncまたはNVIDIAグラフィックカードが装着された場合にのみ表示されます。

1. 機能ボタンパネルで $\odot$ ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム** > **ローカル設定**を選択します。
3. **ローカル設定**ウィンドウが表示されたら、ハードウェア加速使用可否を選択します。



- PCにIntel Quick SyncまたはNVIDIA CUVIDに対応するグラフィックカードが装着されていると自動的に使用設定されます。

4. **適用**ボタンを選択します。

コントローラーの使用設定

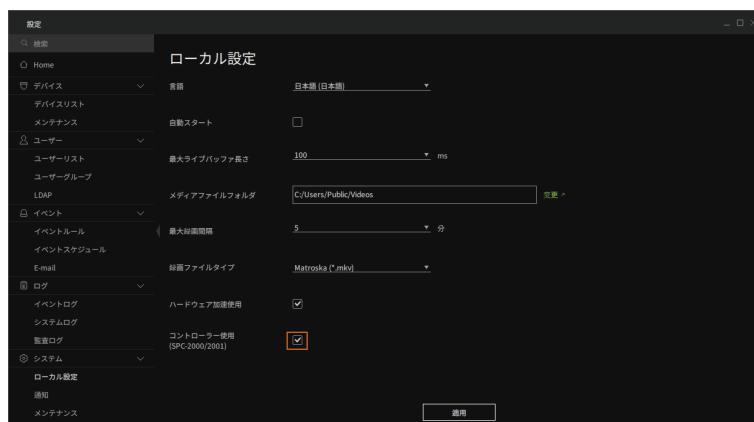
Wisenet Viewerで使用するコントローラーを設定できます。



参考

- Wisenet Viewerで利用できるコントローラーは次の通りです。
 - [Techwin] SPC-2000/SPC-2001
- コントローラーの使用設定は、Windows/Linux ubuntu OSのみ対応します。

- 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
- 設定ウィンドウが表示されたら、**システム** > **ローカル設定**を選択します。
- ローカル設定**ウィンドウが表示されたら、コントローラーの使用可否を選択します。



- 適用**ボタンを選択します。



参考

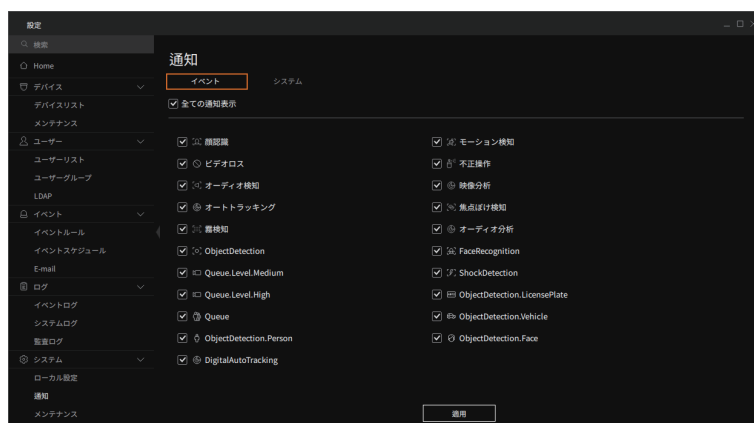
システムコントローラー使用に関する詳細は、[システムコントローラーの使用\(184 ページ\)](#)を参照してください。

通知設定

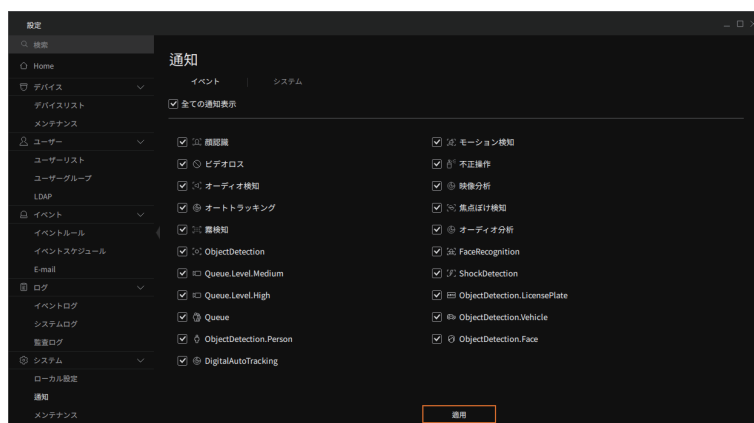
レコーダーや接続されたカメラがイベントを検知した時の通知可否を設定できます。選択したイベントが発生すると、リアルタイム監視中にイベントタブに該当イベントが表示されます。

イベント通知設定

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > 通知**を選択します。
3. 通知ウィンドウが表示されたら、**イベント**タブを選択します。



4. 表示するイベントを選択します。

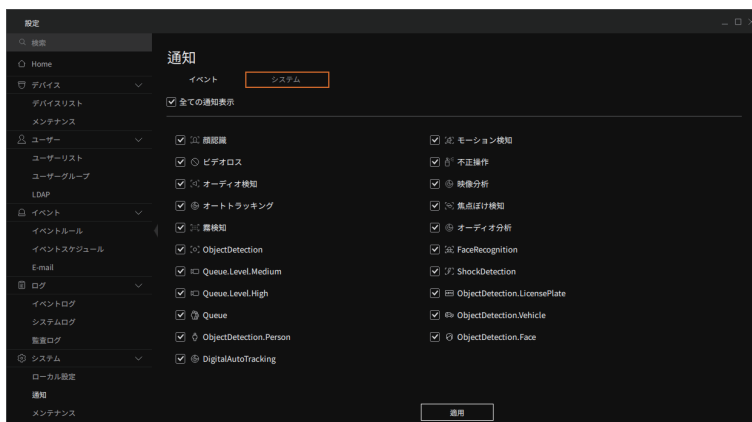


- 全ての通知表示をチェックすると、全てのイベントに関する通知を受けられます。
- イベント項目に関する詳細は、[イベントトリガーの詳細\(109 ページ\)](#)を参照してください。

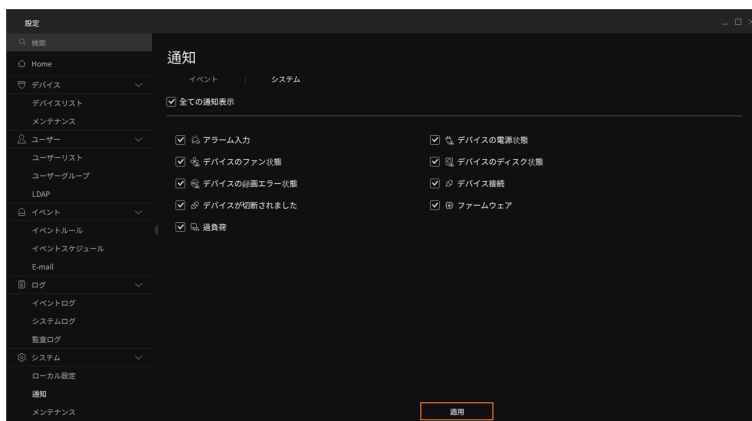
5. 適用ボタンを選択します。

システム通知設定

1. 機能ボタンパネルで  ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > 通知** を選択します。
3. 通知ウィンドウが表示されると、**システムタブ** を選択します。



4. 表示するイベントを選択します。



- **全ての通知表示**をチェックすると、全てのシステムイベントに関する通知を受けられます。
- イベント項目に関する詳細は、[イベントトリガーの詳細\(109 ページ\)](#)を参照してください。

5. **適用**ボタンを選択します。

システム管理

Wisenet Viewerをアップデートして設定情報をバックアップしたり、バックアップしておいた時点に設定を戻すことができます。また、プログラムを最初にインストールした状態の設定にリセットしたり、ログファイルを確認できます。

ソフトウェアのアップデート

Wisenet Viewerのソフトウェアを自動的にアップデートできます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > メンテナンス**を選択します。
3. **メンテナンス**ウィンドウが表示されると、**最新バージョン**項目の**アップデート**を選択します。

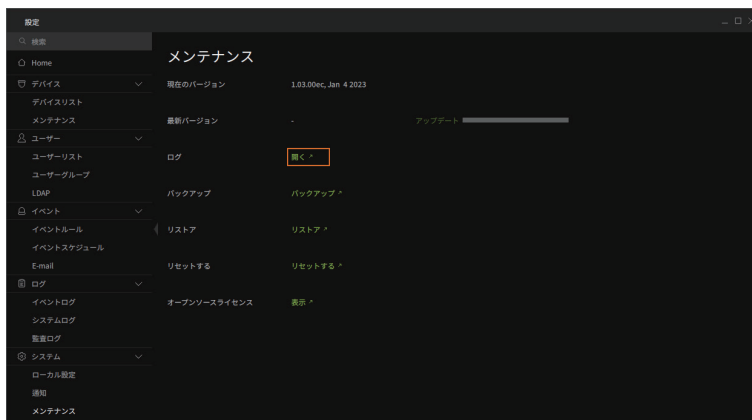


4. Wisenet Viewerが終了され、アップデートが始まります。

システムログの確認

Wisenet Viewerプログラムのログファイル、管理情報が保存されたフォルダを確認できます。Wisenet Viewer使用中にシステムエラーが発生する場合、ログフォルダをカスタマーセンターに伝えてください。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > メンテナンス**を選択します。
3. **メンテナンス**ウィンドウが表示されると、**ログ**項目の**開く**を選択します。

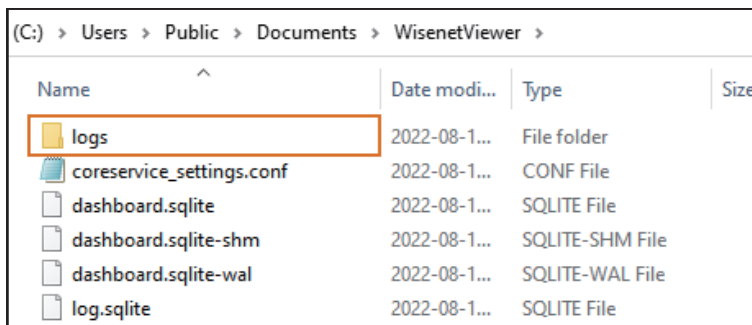


- Wisenet Viewerプログラムのログファイル、管理情報が保存されたフォルダを確認できます。

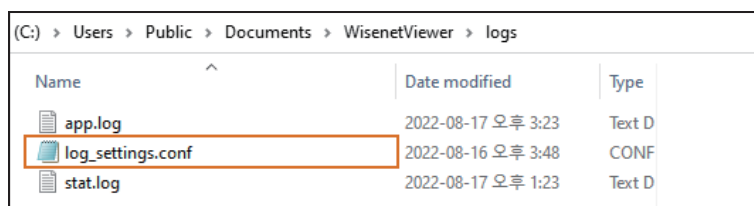
■ システムログ収集設定

Wisenet Viewerプログラムのログを収集するようにシステム設定を変更できます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > メンテナンス**を選択します。
3. **メンテナンス**ウィンドウが表示されると、**ログ**項目の**開く**を選択します。
4. Wisenet Viewerフォルダが表示されたら**logs**フォルダを選択します。

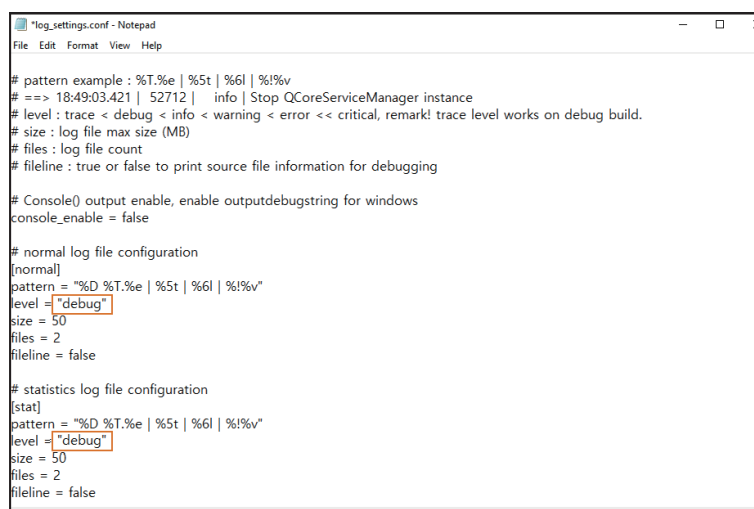


5. log_settings.confをメモ帳プログラムで開きます。



Name	Date modified	Type
app.log	2022-08-17 오후 3:23	Text D
log_settings.conf	2022-08-16 오후 3:48	CONF
stat.log	2022-08-17 오후 1:23	Text D

6. [normal]、[stat]項目のlevelを debugに変更して保存します。



```
# pattern example : %T.%e | %5t | %6l | %!%v
# ==> 18:49:03.421 | 52712 | info | Stop QCoreServiceManager instance
# level : trace < debug < info < warning < error < critical, remark! trace level works on debug build.
# size : log file max size (MB)
# files : log file count
# filename : true or false to print source file information for debugging

# Console() output enable, enable outputdebugstring for windows
console_enable = false

# normal log file configuration
[normal]
pattern = "%D %T.%e | %5t | %6l | %!%v"
level = "debug"
size = 50
files = 2
filename = false

# statistics log file configuration
[stat]
pattern = "%D %T.%e | %5t | %6l | %!%v"
level = "debug"
size = 50
files = 2
filename = false
```

7. Wisenet Viewerを再起動します。

8. エラー状況のログを収集するには、繰り返して問題が発生する機能を実行します。

- エラー報告時に以下の内容を作成して伝達します。
 - エラー発生状況に関する説明
 - エラー発生時間
 - エラー発生デバイスのIP/チャンネルNo./チャンネル名
- エラー状況を正確に確認できるように動画で録画したり、該当画面をキャプチャーします。

9. ログ収集が完了されたらWisenetViewerフォルダを圧縮してカスタマーセンターに伝達します。

10. ログ収集完了後には [normal]、[stat]項目の levelをinfoに変更して保存します。

システムバックアップ

Wisenet Viewerに保存されたデバイス、ユーザー、レイアウト及びイベントルール情報をバックアップファイルで保存できます。

但し、ログ情報はバックアップファイルに含まれません。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > メンテナンス**を選択します。
3. **メンテナンス**ウィンドウが表示されたら、**バックアップ**を選択します。

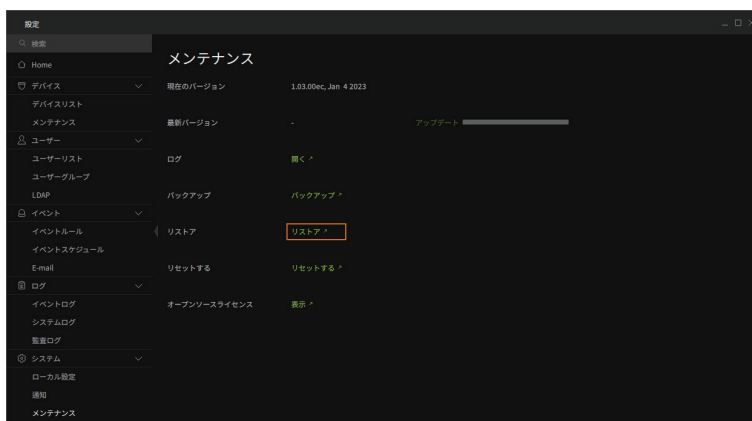


4. バックアップファイルを保存するフォルダを指定して、**フォルダ選択**ボタンを選択します。
 - バックアップファイルは、.wdbファイルタイプで保存されます。
5. ポップアップウィンドウが表示されたら、**閉じる**ボタンを選択します。

システムリストア

PCに保存されたバックアップファイルで、Wisenet Viewerの設定情報をバックアップした時点に戻せます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > メンテナンス**を選択します。
3. **メンテナンス**ウィンドウが表示されたら、**リストア**を選択します。



4. 保存されたバックアップファイル選択して、**開く**ボタンを選択します。
 - wdbタイプのバックアップファイルのみ適用できます。
5. ポップアップウィンドウが表示されたら、**閉じる**ボタンを選択します。
 - リストアが完了されると、プログラムが自動で再起動されます。



参考

システムのリストア後にWisenet Viewerプログラムが再起動されたら、以下の項目はリセットされるので、再設定を行ってください。

- **設定 > システム > ローカル設定**の項目
 - 言語
 - 最大ライブバッファ長さ
 - メディアファイルフォルダ
 - 最大録画間隔
 - 録画ファイルタイプ
- デバイス登録時に使用するデバイスログインIDとパスワード情報
- Wisenet Viewer自動ログイン時に保存されたIDとパスワード情報

システムリセット

Wisenet Viewerを最初にインストールした状態の設定にリセットできます。

1. 機能ボタンパネルで⚙️ボタンを選択します。
2. 設定ウィンドウが表示されたら、**システム > メンテナンス**を選択します。
3. **メンテナンス**ウィンドウが表示されたら、**リセットする**を選択します。



4. ポップアップウィンドウが表示されたら、**OK**ボタンを選択します。
 - リストアが完了されると、プログラムが自動で再起動されます。
ログを除くすべての設定情報がリセットされるので、管理者パスワードの設定またはデバイス登録など、プログラムしように必要な項目の再設定を行ってください。

問題解決

問題症状	確認事項及び対処
デバイスが接続できません。	Wisenet Viewerでデバイスの登録時に入力したIPとPort情報をウェブブラウザに入力して、ウェブブラウザが正常に開くか確認してください。 • http://IPに接続する際、Port項目に80(基本ポート)を入力してください。 • https://IPに接続する際、Port項目に443(基本ポート)を入力してください。
	Wisenet Viewerはセキュリティを強化するため、デバイスのIP情報がhttpsで設定されている場合、httpsに優先接続します。 • 一部の以前のレコーダーファームウェアの場合、誤ったhttpsポート番号を伝達してデバイスと接続されないことがあります。 • 一部の以前のレコーダーファームウェアの場合、httpsにアクセスできないため、デバイスに接続されないことがあります。
デバイスの検索時、リストに表示されません。	Device Managerでデバイスリストが正常に表示されるか確認してください。 • Device Managerでは、デバイスリストが表示されていますが、Wisenet Viewerでは表示されない場合、Wisenet Viewerプログラムの最初の実行時に実行権限をいいえに選択したか確認してください。
	WindowsのファイヤーウォールにWisenet Viewerが登録されて、実行が遮断されていないか確認してください。
Wisenet Viewerの詳細なログ内訳が必要です。	Wisenet Viewerの使用中に問題が継続的に発生し、カスタマーセンターに問い合わせたい場合、システムログを収集して送ってください。 システムログを収集したフォルダを圧縮してカスタマーセンターに送ると、問題を正確に診断して解決できます。 • システムログの収集に関する詳細は、システムログ収集設定(173 ページ)を参照してください。
機能ボタンパネルで  ボタンを押した時に表示される情報は何か？	現在受信されたフレームレートを表示します。フレームレートは、映像の均等性のためにバッファリングするフレームの数を意味します。
イベントパネルでイベントが発生すると同時にダブルクリックして該当の録画映像を再生したいのですが、映像が出力されません。	レコーダーのプラットフォームによって多少の差はありますが、レコーダーは2Mbyteまたは4Mbyte容量のデータが蓄積されるとHDDに映像を保存します。データが小さい映像の場合、最大15秒でHDDに映像を保存します。 データがHDDに保存されないと、クライアントから映像を再生できません。
以前のDVRモデルは対応しませんか？	Wisenet ViewerはSUNAPI 2.3.1以上のバージョンに対応するDVRとNVR製品と互換できます。以前のDVRは、SUNAPIプロトコルに対応しないため、Wisenet Viewerと互換性がありません。 ただ、以前のDVRでもファームウェアアップグレードを通じてSUNAPI 2.3.1以上のバージョンに対応すれば、Wisenet Viewerと互換できます。

問題症状	確認事項及び対処
設定メニューのバックアップとリストアで処理する情報は何か？	ブックマーク、チャンネル、デバイス、イベントスケジュール、デバイスグループ、レイアウト、ユーザー、ユーザーグループ、ウェブページ情報、イベントルール、E-mailをバックアップしてリストアします。
デバイスの手動登録画面にある製品IDは何ですか？	デバイス登録時にDDNS/P2Pを選択すると、製品IDを入力しなければなりません。これはリモート接続のためにDDNSサイトに登録した製品IDでDDNSにデバイス登録時に使用します。
録画映像の再生時にスライダーコントロールを固定して使用したいです。	タイムラインの再生速度スライダーは、一時的に倍速再生する時に使用できます。倍速再生を固定して使用するには、再生速度スライダーの横にあるコンボボックスから倍速を選択してください。

付録

製品仕様

一般		
メディア	ビデオストリーミングプロトコル	RTP/RTSP (UDP/TCP/HTTP/HTTPS)
	ビデオフォーマット	H.265、H.264、MJPEG
	ビデオ解像度	デバイスの仕様による
	ディスプレイ	マルチモニター対応
	オーディオフォーマット	G.711 u-law (PCM)、G.726 (ADPCM)、AAC、2-Way audio
	オーディオ制御	オーディオ音量制御
	デコード	ハードウェア加速(NVIDIA CUVID、Intel Quick Sync)
ビデオ	機能	PTZ、Fisheye歪み補正、フォーカス、輝度/コントラスト、クロップ、キャプチャー、ビデオ状態確認
	PTZ制御	PTZ、プリセット、フォーカス制御、スウィング、グループ、ツアー、トラッキング
	ライブ映像保存	最大2時間、mkv、wnm(Wisenetメディアファイル)
	ビデオ回転	90°、180°、270°
	Fisheye	Fisheyeビューモード(オリジナル、シングル、クワッド、パノラマ)、PTZ
	映像比率	16:9、4:3、映像サイズに合わせる/映像比率固定
	ビデオプロファイルの変更	高解像度/低解像度の変更
再生	ビデオ状態	解像度、フレームレート、ビットレート、ビデオフォーマット、プロファイル情報、オーディオフォーマット
	ビデオ制御	再生/一時停止 早送り/早戻し、前/次のイベント、ショートカットキー対応、同期再生/個別再生
	再生速度	1x、2x、4x、8x、16x、32x、64x、128x、256x
	タイムライン	イベントフィルター、ブックマーク、サムネイル、マルチタイムライン(最大64個)
	エクスポート	最大24時間、単一/多チャンネルエクスポート、mkv、wnm(Wisenetメディアファイル及びプレーヤー)、パスワード暗号化(wnmフォーマット)、デジタル署名
	検索モード	カレンダー、タイムライン、イベント、AI、ブックマーク、スマート検索

ビデオタイトル	タイトルのパターン	フレキシブルグリッド(ズームイン/アウト、ドラッグ)、オートフィット、ショートカットキー対応
	対応タイプ	ビデオチャンネル、メディアファイル、ブラウザ
	メディアファイル	画像: jpeg、png、jpg、bmp
		ビデオ: avi、mkv、mp4、wnm(Wisenetメディアファイル)、SEC
	ブラウザ	ウェブページ
	レイアウト	複数のタブ、レイアウト管理、レイアウトシーケンス
イベント	通知	デバイス分析イベント、デバイスシステムイベント
	イベントルール	イベントトリガー、発生間隔時間、イベントスケジュール、イベントアクション組み合わせ
	イベントトリガー *	デバイス分析イベント、デバイスシステムイベント
	イベントアクション	優先通知、アラーム出力、レイアウトを開く、E-mail
	デバイス分析イベント	モーション検知、映像分析(交差点、侵入、進入、退出、出現、消失、不正操作、徘徊)、顔認識、焦点ぼけ検知、霧検知、オーディオ検知、オーディオ分析(叫び声、銃声、爆発、ガラス破壊)、オートトラッキング、ビデオロス、アラーム入力、ダイナミックイベント
	デバイスシステムイベント	電源状態、ファン状態、録画状態、設定変更、システム状態
管理		
デバイス	対応デバイス	Wisenet NVR/DVR (SUNAPI v2.3.1以上)
	対応するコントローラー	SPC-2000、SPC-2001
	メンテナンス	デバイス設定(デバイスウェブページ)、デバイスF/Wアップデート、リストア/バックアップ、パスワード変更
ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6、TCP/IP、UDP/IP、RTP (UDP)、RTP (TCP)、RTSP、HTTP、DDNS、HTTPS、SUNAPI、P2P	
ユーザー	ユーザーグループ別権限/デバイス/レイアウト割り当て、LDAP	
ログ	イベントログ、システムログ、監査ログ、データのエクスポート(CSV)	
システム設定	設定バックアップ/リストア/リセット	
メンテナンス	ソフトウェアアップデート通知	
言語	23カ国語対応 英語、韓国語、中国語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、セルビア語、スペイン語、台湾語、トルコ語	
性能		
最大チャンネル	最大3000チャンネル(S/W制約なし)	
最大DDNS/P2Pチャンネル	最大128チャンネル	
レイアウト当たり最大チャンネル	最大64チャンネル	

システム		
システム要求事項	推奨仕様	CPU: Intel i7-11700 2.5GHz以上 RAM: 16 Gb以上、Video Memory 1 GB以上 HDD: Performance SSD、128 GB以上 VGA: NVIDIA T600 (OpenGL 2.1 対応必要) LAN: 1 GB NIC Display Resolution : 1366X768以上、OpenGL互換
	最小仕様	CPU: Intel i3以上 RAM: 4 GB以上 HDD: 128 GB以上 VGA: 512 MB以上(OpenGL 2.1 対応必要) LAN: 1 GB NIC Display Resolution : 1366X768以上、OpenGL互換
	OS	Windows 8.1/10/11 64 bit、macOS 11/12/13、 Ubuntu 22.04 LTS/ 20.04 LTS



参考

* Wisenet Viewerはデバイスが対応するイベントのみ対応します。

対応デバイス

対応している製品リストをご参考ください。

NVR

■ 4チャンネル

ARN-410S、XRN-420S、XRN-410S、QRN-430S、QRN-420S、QRN-410S、QRN-410、LRN-410S

■ 8チャンネル

ARN-810S、XRN-820S、XRN-810S、XRN-815S、QRN-820S、QRN-810S、QRN-810、QRN-830S、LRN-810S、KRN-V810S

■ 16チャンネル

ARN-1610S、XRN-1620SB1、XRN-1620B2、XRN-1610SA、XRN-1610S、XRN-1610A、XRN-1610、QRN-1620S、QRN-1610S、QRN-1630S、LRN-1610S

■ 32チャンネル

XRN-3210RB2、XRN-3210B4、XRN-3210B2、XRN-2011A、XRN-2011、XRN-2010A、XRN-2010

■ 64チャンネル

PRN-4011、XRN-6410RB2、XRN-6410DB4、XRN-6410B4、XRN-6410B2、XRN-3010A、XRN-3010

■ AI NVR

PRN-6400DB4、PRN-6400B4、PRN-3200B4、PRN-3200B2、PRN-1600B2、PRN-6405DB4、PRN-6405B4、PRN-3205B4、PRN-3205B2、PRN-1605B2、PRN-6410DB4、PRN-6410B4、PRN-3210B4、PRN-3210B2、PRN-1610B2

DVR

■ 4チャンネル

HRX-435L、HRX-435、HRX-435FN/TE、HRX-434、HRX-421FN/TE、HRX-421、HRX-420、ARD-410

■ 8チャンネル

HRX-835A、HRX-835/TE、HRX-835、HRX-821、HRX-820、HRX-821/TE、ARD-810

■ 16チャンネル

HRX-1635、HRX-1635/TE、HRX-1635/TU、HRX-1634、HRX-1632、HRX-1621/TE、HRX-1621、HRX-1620、ARD-1610

システムコントローラーの使用

Wisenet Viewer > ⚙️ > システム > ローカル設定でコントローラー使用を設定したり解除できます。



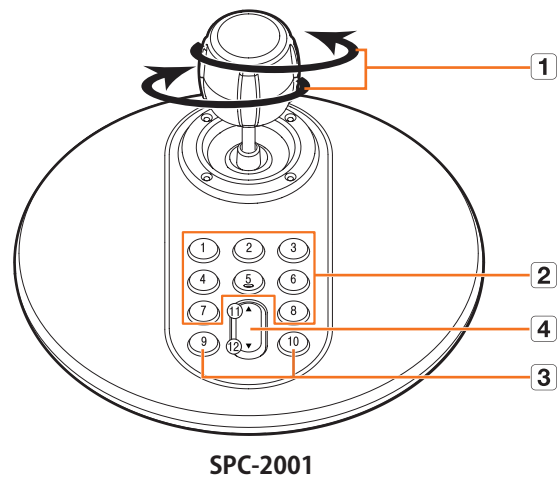
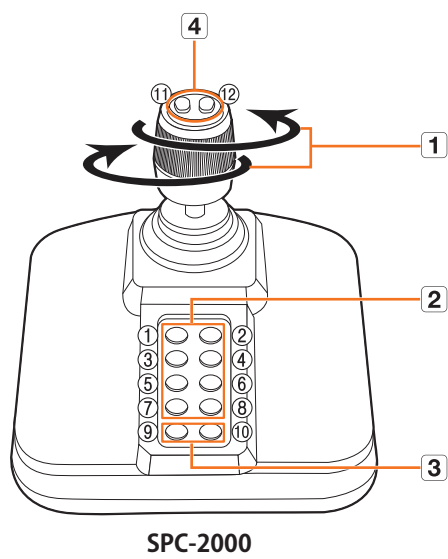
参考

- Wisenet Viewerに接続して使用できるコントローラーモデルはSPC-2000/2001です。
- SPC-2000/2001コントローラーはWindows/Linux ubuntu OSでのみ使用できます。

SPC-2000/2001

SPC-2000/2001コントローラーを接続したときの動作仕様は次の通りです。

- SPC-2000/2001は、Wisenet Viewerを実行する前にPCに接続されてないと認識されません。
- SPC-2000/2001はPTZまたはスクリーンモードで実行できます。



名称		機能	
		PTZモード	スクリーンモード
1	ジョイスティック	Pan、Tilt、Zoom動作を制御します。	レイアウトのグリッドタイルを移動できます。ジョイスティック方向の一直線にあったり、一番近い位置のタイルへ移動します。

名称		機能	
		PTZモード	スクリーンモード
②	1~8	- 選択したカメラのプリセット1~8を実行します。 - 魚眼DPTZを使用できる場合、 1~4は画面モード選択 5~8は4分割画面選択	Wisenet Viewerで実行中のレイアウトタブを切り替えます。左側から1~8番タブの順に切り替えます。
③	9、10	9を押すとPTZモードに変更されます。 10を押すとスクリーンモードに変更されます。	
④	11、12	11を押すと単一チャンネルモードに変更されます。 12を押すとマルチチャンネルモードに変更されます。	Wisenet Viewerで複数のウィンドウを実行中の場合、ウィンドウを切り替えます。ボタンを押してウィンドウの切り替え方向を選択します。



参考

正しい画像を設定するには、軸補正が必要です。

PCを経由して、 > **設定** > **コントロールパネル** > **ゲームコントローラー** > **プロパティ** > **設定**を選択し、**調整**ボタンをクリックして、**デバイスの調整ウィザード**を実行し、次に画面に表示される指示に従って軸補正を完了させます。

